

Canon

PowerShot G9X

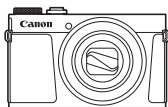
カメラユーザーガイド

- ご使用前に必ず本書および、本書の「安全上のご注意」(📖 13)をお読みください。
- 本書をよく読んで、正しくお使いください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

日本語

カメラと付属品の確認

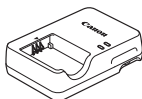
お使いになる前に、次のものが入っていることを確認してください。
万が一、不足のものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



カメラ



バッテリーパック
NB-13L*



バッテリーチャージャー
CB-2LH



リストストラップ

* バッテリーに外装として貼り付けられているラベルは、はがさないでください。

- 上記のほか、印刷物一式が入っています。
- メモリーカードは付属されていません (📖3)。

使えるカード（市販品）について

以下のカードが容量に制限なくお使いになれます。

- SD（エスディー）メモリーカード *¹
- SDHC（エスディーエイチシー）メモリーカード *¹*²
- SDXC（エスディーエックスシー）メモリーカード *¹*²



*¹ SD 規格に準拠したカードです。カードによっては、正しく動作しないことがあります。

*² UHS-I 対応のメモリーカードも使えます。

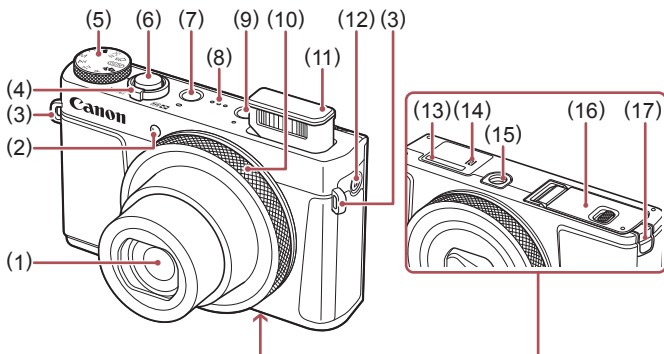
お使いになる前にお読みください

- 必ず事前に試し撮りをし、撮影後は画像を再生して画像が正常に記録されていることを確認してください。万が一、カメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みができなかったときの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- このカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限していることがありますのでご注意ください。
- このカメラの保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、別紙の修理受付センターへご相談ください。
- 画面（モニター）は、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。
- このカメラは、長い時間お使いになっていると、カメラの温度が高くなる場合があります。これは故障ではありません。

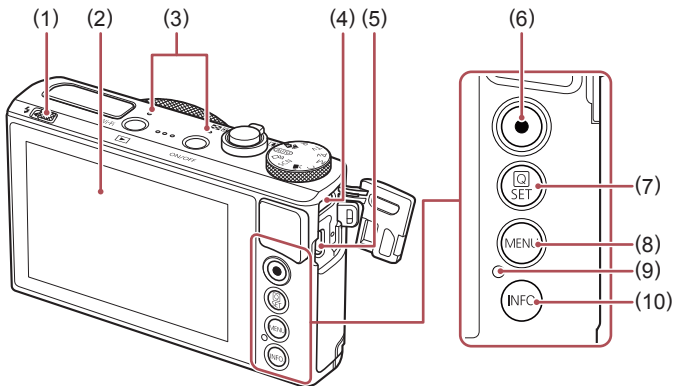
このガイドの記載について

- カメラのボタンやダイヤルは、ボタンやダイヤルに表記されている絵文字を使って示しています。
- 次の操作部材は、絵文字で示しています。また、()内は「各部のなまえ」(6)にある該当する操作部材の番号を示しています。
[10] 前面 (10) コントローラーリング
- 撮影モード、画面に表示される絵文字や文言は、[] つきで示しています。
- ①：知っておいていただきたい重要事項を示しています。
- ②：上手に使うためのヒントや補足事項を示しています。
- ③：画面をタッチして操作する方法を示しています。
- ④xx：参照ページを示しています。xx はページ数を示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。
- このカメラで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。
- タイトルの下にある「▶ 静止画」「▶ 動画」は、その機能が静止画や動画を撮るときや見るときに使えるかを示しています。

各部のなまえ



- | | |
|-----------------|-------------------------|
| (1) レンズ | (8) スピーカー |
| (2) ランプ (前面) | (9) [▶ (再生)] ボタン |
| (3) ストラップ取り付け部 | (10) コントローラーリング |
| (4) ズームレバー | (11) ストロボ |
| 撮影時: [☐ (望遠)] / | (12) [☐ (ワンタッチスマホ)] ボタン |
| [☐ (広角)] | (13) シリアル番号 (機番) |
| 再生時: [Q (拡大)] / | (14) [N] (N マーク) *1 |
| [☐ (インデックス)] | (15) 三脚ねじ穴 |
| (5) モードダイヤル | (16) カード/バッテリー収納部ふた |
| (6) シャッターボタン | (17) DC カプラー端子カバー |
| (7) 電源ボタン | |



- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| (1) [⚡ (ストロボポップアップ)] スイッチ | (7) [⚙️ (クイック設定メニュー／設定)] ボタン |
| (2) 画面 (モニター) *2 | (8) [MENU (メニュー)] ボタン |
| (3) マイク | (9) ランプ (背面) / USB 充電ランプ |
| (4) DIGITAL (デジタル) 端子 | (10) [i (インフォメーション)] ボタン |
| (5) HDMI™ 端子 | |
| (6) 動画ボタン | |

*1 NFC 機能 (📖239) で使います。

*2 画面に保護シートを貼るとタッチ操作が感知されにくいことがあります。このときは、タッチパネルの感度を上げてください (📖302)。

カメラと付属品の確認	2	自分好みの画像を撮るための 機能を使う	77
使えるカード（市販品）に ついて	3	撮影の手助けとなる機能を 使う	82
お使いになる前にお読み ください	4	自分好みに機能を変える	87
このガイドの記載について	5	いろいろな撮影モード	91
各部のなまえ	6	多彩な写真や動画を撮る （クリエイティブショット）	92
やりたいこと目次	10	いろいろなシーンで撮る	95
安全上のご注意	13	効果をつけて撮る	97
基本編	17	特殊なモードでいろいろな 画像を撮る	107
カメラの基本操作	17	いろいろな動画を撮る	119
画面をタッチして操作する	18	Pモード	125
準備する	19	プログラム AE で撮る （[P] モード）	126
使ってみる	27	明るさ（露出）に関する 機能を使う	127
活用編	33	色に関する機能を使う	135
カメラを知る	33	撮影範囲やピント合わせに 関する機能を使う	140
電源の入れかた／切りかた	34	ストロボに関する機能を 使う	153
シャッターボタンの押しかた	36	撮影スタイルにあわせて 機能を変える	158
撮影モードの切り換えかた	37	Tv、Av、M、Cモード	161
撮影時の画面表示の切り換え かた	38	シャッタースピードを決めて 撮る（[Tv] モード）	162
クイック設定メニューの表示と 操作方法	39	絞り数値を決めて撮る （[Av] モード）	163
MENU（メニュー）の表示と 操作方法	41	シャッタースピードと絞り数値を 決めて撮る（[M] モード）	164
文字の入力方法	44	長時間露光（バルブ）撮影	166
ランプの表示	47	ストロボ発光量を設定する	167
時計機能	48	シャッタースピードと絞り数値を 決めて動画を撮る	168
オートモード/プラスムービー オートモード	49		
カメラまかせで撮る	50		
よく使う機能や便利な機能を 使う	62		
個人認証機能を使って撮る	70		

撮影スタイルにあわせてカメラを カスタマイズする	170	スマートフォンでカメラ内の 画像やカメラを操作する	284
クイック設定メニューの 表示を変える	177	Wi-Fi の設定を編集 / 消去する	287
撮影の設定を登録する	179	設定メニュー	291
再生モード	183	カメラの基本機能を変える	292
見る	184	アクセサリ	307
画像を探したり、特定の 画像だけを見る	191	システムマップ	308
個人認証情報を編集する	198	別売アクセサリ	310
いろいろな方法で画像を 見る	200	別売アクセサリーの 使いかた	313
保護する	203	バッテリーを入れて 充電する	317
消す	207	ソフトウェアを使う	320
回転する	211	印刷する	324
お気に入り設定をする	213	付録	337
タッチアクションでかんたんに 操作する	215	故障かな？と思ったら	338
静止画を編集する	217	画面に表示されるメッセージ 一覧	345
動画を編集する	225	画面の表示内容一覧	349
アルバムを見る (ストーリーハイライト)	229	機能／メニュー 一覧	353
ショートクリップ動画を 結合して動画作品を作る	235	日ごろの取り扱いについて	385
Wi-Fi 機能	237	主な仕様	386
Wi-Fi でできること	238	索引	392
スマートフォンに画像を 送る	239	Wi-Fi (無線 LAN) に ついて	398
パソコンに画像を取り込む	252		
Web サービスを登録して 画像を送る	263		
プリンターにつないで画像を 印刷する	270		
別のカメラに画像を送る	272		
画像送信について	274		
画像を自動で送る (クラウドシンクロ)	279		

やりたいこと目次

📷 撮る

- カメラまかせで写真を撮りたい（オートモード、プラスムービーオートモード）
 - 📖 50、📖 53
- カメラまかせで多彩な写真を撮りたい（クリエイティブショット）
 - 📖 92

人を上手に撮りたい



人をきれいに
(📖 95)

いろいろなシーンにあわせて撮りたい



夜景
(📖 95)



星空
(📖 107)



花火
(📖 96)

効果をつけて撮りたい



鮮烈な色で
(📖 97)



イラスト風に
(📖 97)



色あせた写真のように
(📖 99)



魚眼レンズのように
(📖 100)



ミニチュア模型のように
(📖 101)



トイカメラ風に
(📖 103)



背景をぼかして
(📖 104)



柔らかな雰囲気
(📖 105)



モノクロで
(📖 106)

- 人の顔を上手に撮りたい
 - 50、95、147
- ストロボ禁止の場所で撮りたい（ストロボ発光禁止）
 - 50
- 自分も一緒に写りたい（セルフタイマー撮影）
 - 64
- 写真と一緒に動画を記録したい
 - 53

▶ 見る

- 画像を見たい
 - 184
- 自動再生で見たい（スライドショー）
 - 202
- テレビで見たい
 - 313
- パソコンで見たい
 - 321
- 画像を素早く探したい
 - 191
- 画像を消したい
 - 207
- 自動でアルバムを作りたい
 - 229

🎥 動画を撮る／見る

- 動画を撮りたい
 - 50、119、168
- 動画を見たい
 - 184

印刷する

- 写真を印刷したい
 -  324

残す

- パソコンに画像を取り込みたい
 -  321

Wi-Fi 機能を使う

- スマートフォンに画像を送りたい
 -  239
- Web サービスで画像を共有したい
 -  263
- パソコンに画像を送りたい
 -  279

安全上のご注意

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
- 別売アクセサリをお持ちのときは、付属の使用説明書もあわせて参照してください。



警告

死亡または重傷を負う可能性がある内容です。

- ストロボを人の目に近づけて発光しない。

視力障害の原因となります。特に、乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。

- お子様や幼児の手の届くところで保管しない。

ストラップを誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

電源コードを使用する製品では、電源コードを誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

- 指定外の電源は使わない。
- 分解、改造したり、加熱しない。
- 外装としてラベルが貼り付けられているバッテリーでは、ラベルをはがさない。
- 落とすなどして強い衝撃を与えない。
- 落下などで破損したときは、内部には触れない。
- 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。
- 液体で濡らしたり、内部に液体や異物を入れない。

感電、火災の原因となります。

液体で濡れたり、内部に液体や異物が入ったときは、バッテリーや電池を使用する製品では、それらを取り外し、家庭用電源を使用する製品では、コンセントから抜いてください。

- ファインダーがある製品でファインダーを通して、または交換式レンズを使う製品でレンズを通して、強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）を見ない。

視力障害の原因となることがあります。

- 交換式レンズを使う製品では、レンズを取り付けたカメラやレンズを日光のもとにレンズキャップを取り付けずに放置しない。火災の原因になることがあります。

- 家庭用電源を使用する製品では、雷が鳴り出したら製品に触れない。感電、火災の原因となります。すぐに使用をやめ、製品から離れてください。

- 指定外のバッテリーや電池は使わない。

- バッテリーや電池は火に近づけたり、火の中に投げ込まない。バッテリーや電池が破裂や液漏れし、感電、けが、火災の原因となることがあります。漏れた電解液が、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。

- バッテリーチャージャーを使用する製品では、次のことに注意する。

- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを乾いた布で拭き取る。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない。また、電源プラグが傷んでいたり、差し込みが不十分なまま使わない。
- 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを付着させない。
- 電源コードを使用する製品では、電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工しない。

感電、火災の原因となります。

- カメラの使用が禁止されている場所では、カメラの電源を切る。

カメラが発生する電磁波により、計器や機器に影響を与える恐れがあります。特に飛行機内や医療機関など、電子機器の使用が制限されている場所では十分注意してください。

- 長時間、身体と同じ部位に触れたまま使わない

熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。気温の高い場所で使うときや、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使うときは、三脚などを使ってください。



注意

傷害を負う可能性がある内容です。

- ストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。

- レンズを強く押したり、ぶつけたりしない。
けがやカメラの故障の原因となることがあります。

- 画面に強い衝撃を与えない。
画面が割れると、破片でけがをすることがあります。

- ストロボを指や布などで覆ったまま、発光させない。
やけどや故障の原因となることがあります。

- 次の場所で使用・保管しない。
 - 直射日光のあたるところ
 - 40℃を超える高温になる場所
 - 湿気やホコリの多いところ

バッテリーや電池の液漏れ、発熱、破裂により、感電、やけど、けが、火災の原因となることがあります。

発熱、破損により、感電、やけど、けが、火災の原因となることがあります。

- 長時間画面を見ていると、不快感を感じることがありますのでご注意ください。
- 別売のオプションレンズ、レンズフィルター、フィルターアダプターを使用する製品では、確実に取り付ける。

緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。

- ストロボが自動昇降する製品では、ストロボが下がる時に指をはさまないようにする。

けがの原因となることがあります。

注意

物的損害を負う可能性がある内容です。

- カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けない。
撮像素子やカメラの内部が損傷することがあります。

- 砂浜や風の強い場所で使用するときは、カメラの内部にホコリや砂が入らないようにする。

- ストロボが自動昇降する製品では、ストロボを押し込んだり、つまみ上げたりしない。

故障の原因となることがあります。

- ストロボに汚れやホコリなどの異物がついたときは、綿棒などで取り除く。

そのまま発光させると、発光熱により、付着物の発煙や故障の原因となることがあります。

- 使用しないときは、製品からバッテリーや電池を取り外して保管する。液漏れにより故障の原因となることがあります。

- バッテリーや電池を廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。

他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となることがあります。

- バッテリーチャージャーを使用する製品では、使用しないときはコンセントから外す。また、布などをかけたまま使用しない。

長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となることがあります。

- 専用バッテリーを使用する製品では、ペットの近くにバッテリーを置かない。

バッテリーに噛みついたとき、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、故障や火災の原因となることがあります。

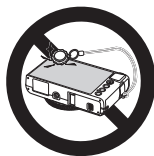
- 複数の電池を使用する製品では、充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使用しない。また、電池の「+」「-」端子を逆にして入れない。

故障の原因となることがあります。

- かばんにカメラを入れるときは、硬いものが画面にあたらないようにする。また、画面が閉じられる製品では、画面を内側に向けて閉じる。

- ストラップにアクセサリを付けない。

硬いものが画面にあたると破損の原因になります。



カメラの基本操作

準備から、撮影、再生までの説明や、各種の基本情報を掲載しています。

画面をタッチして操作する

このカメラの画面はタッチパネルになっているため、指で画面をタッチ（触れて）して直感的に操作できます。

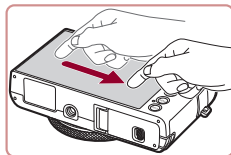
■ タッチ



画面を指で押して放す

- いろいろな機能の設定や、撮影するときなどに使います。

■ ドラッグ



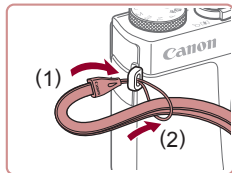
指を画面に触れたまま移動する

- 再生モードで、次の画像に表示を切り換えるときや、拡大表示する範囲を変えるときなどに使います。

準備する

ここでは、撮影前の準備について説明します。

■ ストラップを取り付ける



- (1) ストラップの先端を取り付け部に通して、(2) 通した先端にストラップを通します。



- ストラップは左手側に取り付けることもできます。

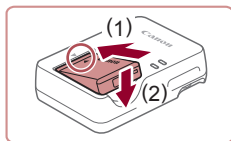
■ カメラを構える



- ストラップを手首に通します。
- 撮影するときは、脇をしめてカメラが動かないようにしっかりと構え、ストロボを上げているときは、ストロボに指がかからないようにしてください。

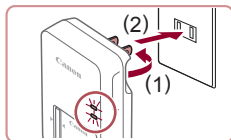
■ バッテリーを充電する

カメラに付属のバッテリーチャージャー（充電器）を使って、付属のバッテリーを充電します。お買い上げ時はバッテリーが充電されていないので、必ず充電してからお使いください。



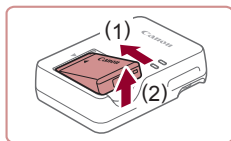
1 バッテリーを取り付ける

- バッテリーとバッテリーチャージャーの▲をあわせて、(1) の方向へ押しながら、(2) の方向へ取り付けます。



2 充電する

- プラグを(1) の方向へおこして、(2) コンセントに差し込みます。
- 充電がはじまり、ランプがオレンジ色に点灯します。
- 充電が完了すると、ランプが緑色に点灯します。



3 バッテリーを取り外す

- バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、(1) の方向へ押しながら、(2) の方向へ取り外します。



- バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24 時間以上連続して充電しないでください。

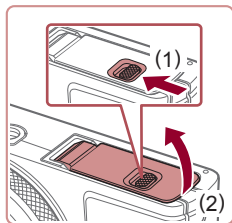


- 充電に必要な時間、フル充電したバッテリーで撮影できる枚数と時間については、「撮影できる枚数・時間、再生できる時間」(P.388)を参照してください。
- 充電したバッテリーは、使わなくても自然放電によって少しずつ残量が減るため、充電は使う前日か当日にしてください。
- バッテリーのカバーを取り付けるときは、充電したバッテリーは▲が見えるように、充電前のバッテリーは▲が隠れるようにすると、充電状態を見分けることができます。
- バッテリーチャージャーは、AC100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

■ バッテリーとカード（市販品）を入れる

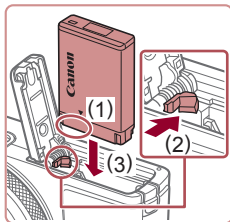
付属のバッテリーとカード（市販品）をカメラに入れます。

なお、新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）(P.293)することをおすすめします。



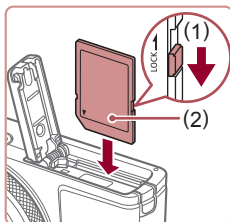
1 ふたを開ける

- (1) の方向にスイッチを動かして、(2) の方向へふたを開けます。



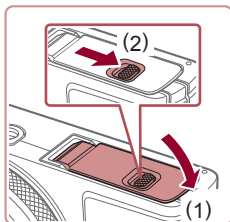
2 バッテリーを入れる

- バッテリーの端子部 (1) を図の位置にして、バッテリーロックを (2) の方向へ動かしたまま、バッテリーを (3) の方向に「カチッ」と音がしてロックされるまで入れます。
- 間違った向きでバッテリーを入れるとロックされません。必ずバッテリーがロックされる正しい向きで入れてください。



3 カードのスイッチを確認して、カードを入れる

- スイッチがあるカードでは、スイッチが「LOCK」側になっていると撮影できません。スイッチを (1) の方向に動かします。
- カードのラベル面 (2) を図の向きにして、「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- カードは、必ず正しい向きで入れてください。間違った向きで入れると、カメラの故障の原因となります。



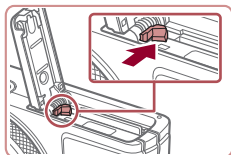
4 ふたを閉める

- ふたを (1) の方向にたおして押さえたまま、スイッチを (2) の方向へ「カチッ」と音がするまで動かして閉めます。



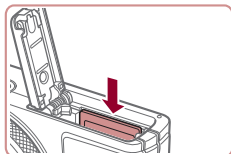
- 1 枚のカードに撮影できる枚数や時間については、「1 枚のカードに撮影できる枚数」(P.389) を参照してください。

バッテリーとカードを取り出す



バッテリーを取り出す

- ふたを開け、バッテリーロックを矢印の方向に動かします。
- バッテリーが出てきます。

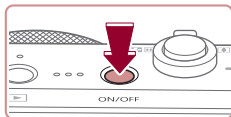


カードを取り出す

- 「カチッ」と音がするまでカードを押し込み、ゆっくり指を放します。
- カードが出てきます。

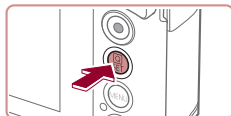
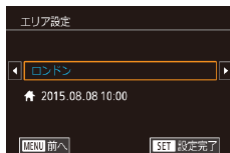
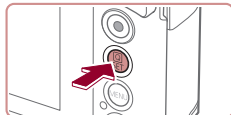
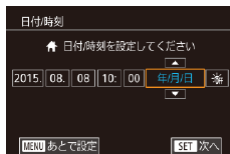
■ 日付／時刻を設定する

電源を入れたときに「日付／時刻」画面が表示されたときは、現在の日時に正しく設定してください。ここで設定した情報は撮影する画像に記録され、撮影日による管理や、日付を入れて印刷するときなどに使用できます。



1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- 「日付／時刻」画面が表示されます。



2 日付／時刻を設定する

- 設定する項目をタッチしたあと、[▲] か [▼] をタッチして設定します。
- すべての項目を設定したら、[SET] ボタンを押します。

3 自宅のエリアを設定する

- [◀] か [▶] をタッチして自宅のあるエリアを選びます。

4 設定を終える

- [SET] ボタンを押すと設定され、確認画面が表示されたあと、設定画面が消えます。
- 電源ボタンを押すと電源が切れます。



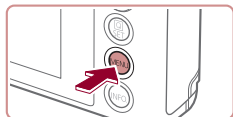
- 日付／時刻や自宅エリアを設定しないと、電源を入れるたびに「日付／時刻」画面が表示されます。正しく設定してください。



- 手順2で [※] をタッチして [※] にすると、サマータイム（1時間プラスされます）に設定されます。

日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変更されます。



1 メニューを表示する

- [MENU] ボタンを押します。



2 [日付／時刻] を選ぶ

- [F] をタッチしたあと、[2] をタッチします。
- [日付／時刻] をタッチしたあと、[OK/SET] ボタンを押します。

3 日付／時刻を変える

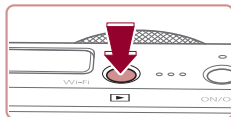
- 「日付／時刻を設定する」の手順 2 (23) の操作で設定します。
- [MENU] ボタンを押すと、メニュー画面が消えます。



- カメラには日付／時刻用電池（バックアップ電池）が内蔵されています。バッテリーを取り出してから約 3 週間は、設定した日付／時刻が保持されます。
- 日付／時刻用電池は、充電したバッテリーをカメラに入れるか、AC アダプターキット（別売）(310) を使うと、カメラの電源を入れなくても約 4 時間で充電されます。
- 日付／時刻用電池がなくなると、カメラの電源を入れたときに [日付／時刻] 画面が表示されます。「日付／時刻を設定する」(23) の操作で正しく設定してください。

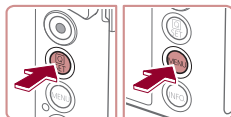
■ 表示言語を選ぶ

画面に表示される言語を変えられます。



1 再生モードにする

- [▶] ボタンを押します。



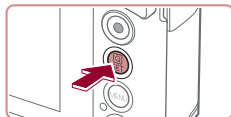
2 設定画面を表示する

- [SET] ボタンを押したまま、すぐに [MENU] ボタンを押します。



3 言語を設定する

- 表示したい言語をタッチして選び、[SET] ボタンを押します。
- 表示言語が設定され、設定画面が消えます。



- 手順2の操作で [SET] ボタンを押してから、[MENU] ボタンを押すまでの間隔が長いと、時計表示になります。時計表示になったときは [SET] ボタンを押して時計表示を消して、もう一度手順2の操作を行います。
- 言語設定は、[MENU] ボタンを押すと表示されるメニュー画面で、[🔊 3] タブの [言語] を選んで設定することもできます。

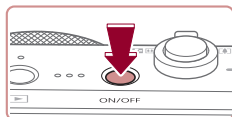


- 手順3で表示したい言語をタッチして選び、もう一度同じ言語をタッチすることでも設定できます。

ここでは、電源を入れてから静止画や動画を撮影し、その画像を見るまでの手順について説明しています。

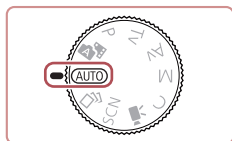
撮る（こだわりオート）

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。



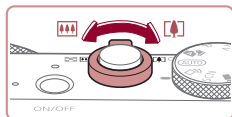
1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- 起動画面が表示されます。



2 [AUTO] モードにする

- モードダイヤルを [AUTO] にします。
- カメラを被写体に向けると、シーンを判別するため動作音（カチカチ）がします。
- 画面の左上にカメラが判別したシーンと手ブレ補正のアイコンが表示されます。
- 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。



3 撮りたいものの大きさを決める

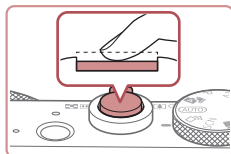
- ズームレバーを [1x] 側に押すと撮りたいものが大きくなり、[4x] 側に押すと小さくなります。

4 撮影する

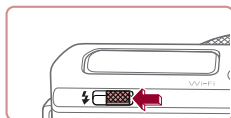
静止画を撮る

1) ピントを合わせる

- シャッターボタンを浅く押して、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されます。

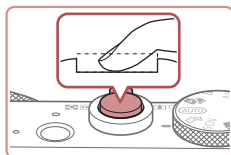


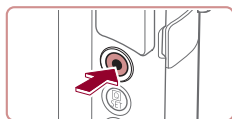
- [ストロボを上げてください] のメッセージが表示されたときは、[⚡] スイッチを動かして、ストロボを上げてください。撮影時にストロボが光ります。ストロボを指で押し下げて収納すると、ストロボは光りません。



2) 撮影する

- シャッターボタンを深く押し込みます。
- シャッター音が鳴り、撮影されます（暗いところでストロボを上げているときは、自動的にストロボが光ります）。
- シャッター音が鳴っている間はカメラをしっかりとってください。
- 撮影した画像が表示されたあと、撮影画面に戻ります。





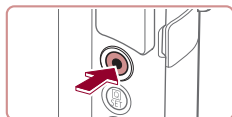
(1)



動画を撮る

1) 撮影をはじめる

- 動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」と1回鳴って撮影が始まり、[●録画]と撮影時間(1)が表示されます。
- 画面上下に黒い帯が表示され、被写体が少し大きく表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影されません。
- 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。
- 撮影が始まったら動画ボタンから指を放します。

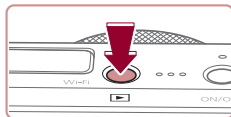


2) 撮影を終える

- もう一度動画ボタンを押すと、電子音が「ピピッ」と2回鳴り、撮影が終わります。

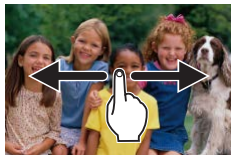
見る

撮影した画像を画面で見ることができます。



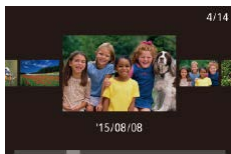
1 再生モードにする

- [▶] ボタンを押します。
- 最後に撮影した画像が表示されます。

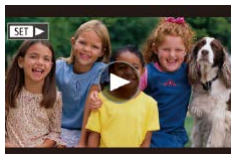


2 画像を選ぶ

- 画面を左方向にドラッグすると次の画像が表示され、右方向にドラッグすると前の画像が表示されます。



- 連続して素早くドラッグするとこの画面が表示されます（スクロール再生）。この状態でドラッグして画像を選びます。
- [(SET)] ボタンを押すと 1 枚表示に戻ります。



- 動画では、[SET ▶] が表示されます。動画を再生するときは手順 3 に進みます。



3 動画を再生する

- [(SET)] ボタンを押したあと、[▶] を選び [(SET)] ボタンを押します。
- 動画が再生され、再生が終わると [⏮] が表示されます。
- 音量は、再生中に画面を上下方向に素早くドラッグして調節します。



- 再生モードの状態でシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。



- [▶] をタッチすることでも動画を再生できます。

消す

不要な画像を 1 枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。

1 消したい画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選びます。



2 消す

- [Ⓢ] ボタンを押したあと、[🗑️] を選び [Ⓢ] ボタンを押します。
- [消去しますか?] が表示されたら、[消去] をタッチします。
- 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、[キャンセル] をタッチします。

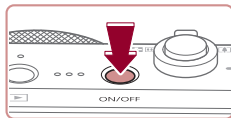


- タッチアクションで消すこともできます (📖 215)
- 画像をまとめて消すこともできます (📖 208)。

カメラを知る

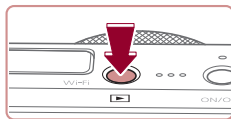
カメラの基本操作をはじめ各種の撮影や再生のほか、カメラを活用するための情報などを内容ごとに章分けして説明しています。

電源の入れかた／切りかた



撮影モード

- 電源ボタンを押すと電源が入り、撮影できます。
- 電源ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。



再生モード

- [▶] ボタンを押すと電源が入り、撮影した画像を見ることができます。
- [▶] ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。



- 撮影モードの状態で [▶] ボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生モードの状態でシャッターボタンを半押し (36) すると、撮影モードになります。
- 再生モードでは、約 1 分経過するとレンズが収納されます。レンズが収納されているときは、[▶] ボタンを押すと電源が切れず。

■ 節電機能（オートパワーオフ）

バッテリーの消耗を防ぐため、カメラを操作しない状態で一定の時間がたつと、自動的に画面を消したり（ディスプレイオフ）、電源を切ったりする機能です。

撮影モードでの節電機能

約 1 分間カメラを操作しないと画面が消え、さらに約 2 分たつとレンズが収納されて電源が切れます。画面が消えた状態でもレンズが出ているときは、シャッターボタンを半押し（ 36）すると画面が表示され、撮影できます。

再生モードでの節電機能

約 5 分間カメラを操作しないと、電源が切れます。

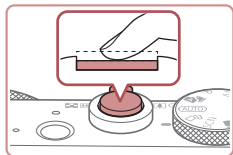


- 節電機能を切ったり、画面が消えるまでの時間を変えたりすることができます（ 297）。
- Wi-Fi でほかの機器と接続しているとき（ 237）、パソコンとつながっていないとき（ 321）は、節電機能は動きません。

シャッターボタンの押しかた

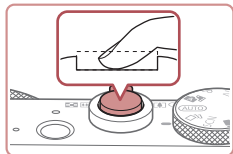
ピントが合った画像を撮るために、必ずシャッターボタンを浅く押す「半押し」をしてピントを合わせてから、そのまま深く押す「全押し」をして撮影します。

なお、シャッターボタンの操作に関する記載は以降「半押し」、「全押し」と表記しています。



1 半押し（浅く押してピントを合わせる）

- 電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されるまで、浅く押します。



2 全押し（そのまま深く押して撮影する）

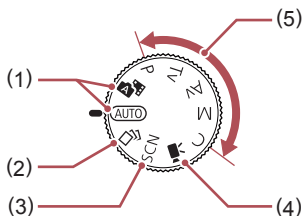
- シャッター音が鳴り、撮影されます。
- シャッター音が鳴っている間は撮影中のため、カメラを動かさないように注意してください。



- シャッターボタンを半押ししないで撮影すると、ピントが合わない画像になることがあります。
- シャッター音は撮影にかかる時間に応じて長さが変わります。そのため、撮影シーンによってはシャッター音が長くなり、シャッター音が鳴っている間にカメラを動かしたり、被写体が動いたりすると、ブレの原因になりますので注意してください。

撮影モードの切り換えかた

撮影モードの切り換えは、モードダイヤルで行います。



- (1) オートモード／
プラスムービーオートモード
カメラまかせの全自動撮影がで
きます (27、 50、
 53)。
- (2) クリエイティブショットモード
カメラまかせで多彩な画像が撮影
できます (92)。
- (3) スペシャルシーンモード
撮影シーンにあわせた撮影やいろ
いろな効果をつけた撮影ができま
す (95)。
- (4) 動画モード
動画が撮影できます (119、
 168)。
なお、動画モード以外でも動画ボ
タンを押すだけで動画撮影できま
す。
- (5) P、Tv、Av、M、Cモード
各種機能を設定して、さまざま
な撮影ができます (125、
 161)。

撮影時の画面表示の切り換えかた

〔INFO〕ボタンを押すとグリッドラインと水準器の表示 / 非表示が切り換わります。

〔📷 1〕タブの〔撮影情報表示設定〕で、より詳しく表示内容を設定することができます (📖 174)。

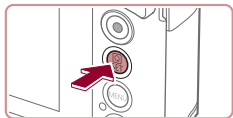


- 暗い場所では、自動的に画面が明るくなって構図を確認しやすくなります (ナイトビュー機能)。ただし、撮影される画像の明るさとは異なるほか、粗い感じ、またはややごちない表示になることがあります (記録される画像に影響はありません)。
- 再生時の画面表示については、「表示を切り換える」(📖 186)を参照してください。

クイック設定メニューの表示と操作方法

よく使う機能は、**Q**（クイック設定）メニューで設定できます。

なお、表示されるメニュー項目や項目は、選んでいる撮影モード（ 359）によって変わります。



1 Qメニューのメニュー項目を表示する

-  ボタンを押します。



(1)

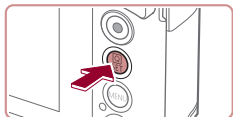
(2)

2 メニュー項目を選ぶ

- メニュー項目 (1) をタッチして選びます。
- 選んだメニュー項目の項目 (2) が、画面の下部に表示されます。

3 項目を選ぶ

- 項目を左右方向にドラッグして選びます。
- **[MENU]** が表示される項目では、**[MENU]** ボタンを押して設定することができます。
- **[INFO.]** が表示される項目では、**[INFO.]** ボタンを押して設定することができます。



4 設定を終える

-  ボタンを押します。
- 手順 1 で  ボタンを押す前の画面に戻り、設定した項目が画面に表示されます。



- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます (P306)。
- メニュー項目で [↶] をタッチすることでも、設定を終えることができます。

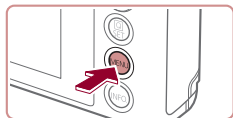
画面をタッチして設定する



- 画面右上の [Q] をタッチしてクイック設定メニューを表示します。
- メニュー項目、項目の順にタッチして設定します。
- メニュー項目の [↶] をタッチするか、選択中の項目をもう一度タッチするとともに画面に戻ります。
- [MENU] が表示される項目では、[MENU] をタッチして画面を切り換えることができます。
- [INFO.] が表示される項目では、[INFO.] をタッチして画面を切り換えることができます。

MENU（メニュー）の表示と操作方法

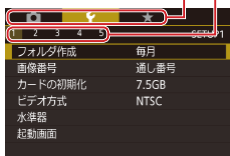
カメラの各種機能をメニューで設定できます。



1 メニューを表示する

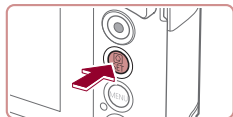
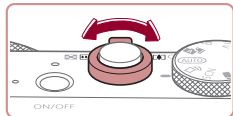
- [MENU] ボタンを押します。

(1) (2)



2 タブを選ぶ

- タブをタッチして選びます。
- タブには、撮影 [📷]、再生 [▶]、設定 [⚙️] などの系統タブ (1) と、系統ごとのページタブ (2) があります。なお、本文中では、系統タブとページタブをつなげて「[⚙️ 1] タブ」のように表記しています。
- ページタブは、ズームレバーを動かすか画面を左右方向にドラッグして選ぶこともできます。



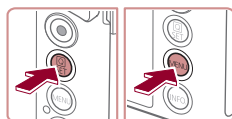
3 項目を選ぶ

- タッチして項目を選び、[OK/SET] ボタンを押します。
- 項目は、[L] リングを回して選ぶこともできます。
- 内容が表示されていない項目では、[OK/SET] ボタンを押して画面を切り換えたあと、さらにタッチして項目を選びます。
- [MENU] ボタンを押すと切り換える前の画面に戻ります。



4 内容を選ぶ

- タッチして内容を選びます。



5 設定を終える

- **[SET]** ボタンを押すと設定されて項目を選ぶ画面に戻ります。
- **[MENU]** ボタンを押すと、手順 1 で **[MENU]** ボタンを押す前の画面に戻ります。



- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます (📖306)。
- 表示される項目は、選んでいる撮影モードや再生モード (📖365 ~ 📖383) によって変わります。

■ 画面をタッチして操作する

- **〔MENU〕** ボタンを押してメニューを表示したあと、系統タブ、ページタブの順にタッチして、タブを選びます。
- 画面を上下方向にドラッグするか、項目をタッチして選びます。
- 内容をタッチすると設定されて項目を選ぶ画面に戻ります。
- バーが表示される項目では、バーの上で設定したい位置をタッチします。
- 内容が表示されていない項目では、項目をタッチして画面を切り換えて設定します。切り換えたあとの画面で、ドラッグかタッチで項目を選んだあと、タッチして内容を選びます。**〔MENU↶〕** をタッチすると、切り換える前の画面に戻ります。
- チェックボックスや文字の入力欄をタッチして選んだり、キーボードをタッチして文字を入力することもできます。
- **〔SET〕** が表示されているときは、**〔SET〕** をタッチすると **〔〕** ボタンと同じ操作ができます。
- **〔MENU〕** が表示されているときは、**〔MENU〕** をタッチすると **〔MENU〕** ボタンと同じ操作ができます。
- **〔INFO〕** が表示されているときは、**〔INFO〕** をタッチすると **〔INFO〕** ボタンと同じ操作ができます。
- メニュー表示を消すには、もう一度 **〔MENU〕** ボタンを押します。

文字の入力方法

個人認証機能（ 70）や Wi-Fi 機能（ 237）などで文字を入力するときは、キーボード画面を使います。入力できる文字数や文字の種類は、機能によって異なります。

(1) 文字を入力する



- 文字が表示されているキーを何回かタッチして目的の文字を入力します。
- **確定** をタッチして文字を確定します。
- 入力できる文字数 (1) は機能によって異なります。

入力位置を移動する

- **←** か **→** をタッチします。

改行する

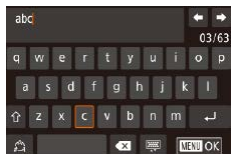
- **↵** をタッチします。

文字の種類を変える

- **[ABC]** **[123]** **[\$%#]** をタッチします。
- 文字の種類は機能によって異なります。

文字を消す

- **✕** をタッチすると前の 1 文字が消去されます。
- **✕** をタッチしたままにすると、5 文字ずつ消去されます。



キーボードの種類を変える

- [📄] をタッチするとこの画面が表示されます。
- 文字をタッチして入力します。
- この画面で [🔍] をタッチすると、数字や記号など文字の種類を切り換えることができます。
- [⇧] をタッチすると、大文字を入力できます。

もとの画面に戻る

- [MENU] ボタンを押します。



- 一部の機能では、[↩] は表示されず使えません。

漢字やひらがなを入力する

個人認証機能の人物名(📖70)とWi-Fi機能のコメント入力(📖278)にはひらがなや漢字も使うことができます。



文字の種類を変える

- [あいう] をタッチします。

文字を入力する

- 文字が表示されているキーを何回かタッチして目的の文字を入力します。

文字を変換する

- [変換] をタッチします。

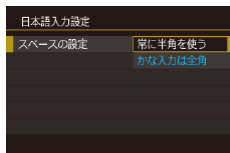
文字を確定する

- [確定] をタッチします。

文字入力の設定を変える

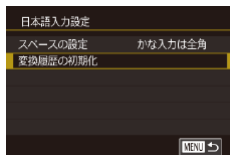
文字入力に関する設定を変えることができます。

半角スペースを使う



- [MENU] ボタンを押して、[F3] タブの「日本語入力設定」を選び、[SET] ボタンを押します (41)。
- [スペースの設定] を選び、[常に半角を使う] を選びます。

変換履歴を初期化する



- [MENU] ボタンを押して、[F3] タブの「日本語入力設定」を選び、[SET] ボタンを押します (41)。
- [変換履歴の初期化] を選び、[はい] を選びます。

ランプの表示

カメラ背面のランプ (📖 7) は、カメラの状態に連動して、点灯／点滅状態が変わります。

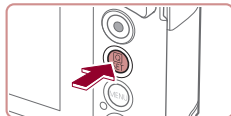
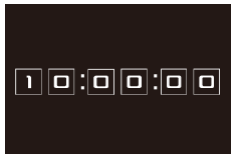
色	状態	操作状態
緑	点滅	起動中、カードへの記録／読み出し中、各種通信中、長秒時の撮影中 (📖 162、📖 164)、パソコン接続時 (📖 321)、Wi-Fi 接続中／データ送受信中、画面消灯時 (ディスプレイオフ) (📖 35、📖 296、📖 297)
オレンジ	点灯	USB 充電中



- ランプ (背面) が緑色に点滅しているときは、「電源を切る」、「カード／バッテリー収納部のふたを開ける」、「振動や衝撃を与える」ことは絶対にしないでください。画像が壊れて表示できなくなったり、カメラやカードが故障する原因になります。

時計機能

現在の時刻を確認できます。



- [SET] ボタンを押したままにします。
- 現在の時刻が表示されます。
- 時刻表示中にカメラを縦にすると縦表示になります。
- [L] リングを回すと表示色を変えることができます。
- もう一度 [SET] ボタンを押すと時刻表示が消えます。



- [SET] ボタンを押したまま電源を入れることで、時刻表示にすることもできます。

オートモード / プラスムービーオートモード

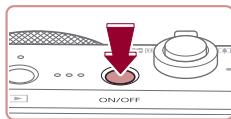
かんたん操作で手軽に撮ったり、いろいろな機能を使って
もう少しこだわった画像を撮る

カメラまかせで撮る

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。

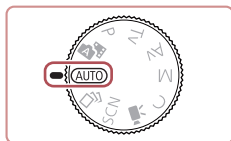
■ オートモードで撮る (こだわりオート)

▶ 静止画 ▶ 動画



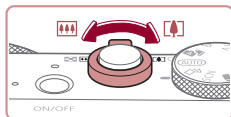
1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- 起動画面が表示されます。



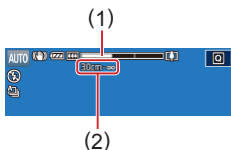
2 [AUTO] モードにする

- モードダイヤルを [AUTO] にします。
- カメラを被写体に向けると、シーンを判別するため動作音 (カチカチ) がします。
- 画面の左上にカメラが判別したシーンと手ブレ補正のアイコンが表示されます (書57、書60)。
- 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。



3 撮りたいものの大きさを決める

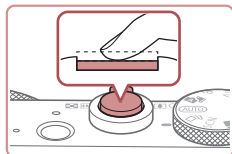
- ズームレバーを [1x] 側に押すと撮りたいものが大きくなり、[∞] 側に押すと小さくなります (ズームの位置を示すズームバー (1) と、ピントの合う範囲 (2) が表示されます)。



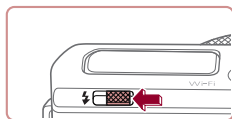
4 撮影する

静止画を撮る

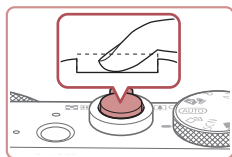
1) ピントを合わせる



- シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されます。
- 複数の枠が表示されたときは、表示されたすべての枠にピントが合っています。

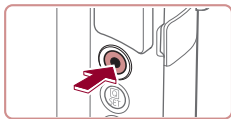


- [ストロボを上げてください] のメッセージが表示されたときは、[VW/F1] スイッチを動かして、ストロボを上げてください。撮影時にストロボが光ります。ストロボを指で押し下げて収納すると、ストロボは光りません。

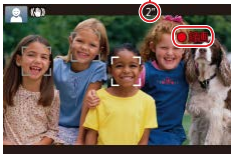


2) 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。
- シャッター音が鳴り、撮影されます（暗いところでストロボを上げているときは、自動的にストロボが光ります）。
- シャッター音が鳴っている間はカメラをしっかりとってください。
- 撮影した画像が表示されたあと、撮影画面に戻ります。



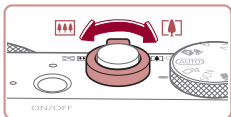
(1)



動画を撮る

1) 撮影をはじめる

- 動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」と1回鳴って撮影がはじまり、[●録画]と撮影時間(1)が表示されます。
- 画面上下に黒い帯が表示され、被写体が少し大きく表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影されません。
- 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。
- 撮影が始まったら動画ボタンから指を放します。



2) 撮りたいものの大きさを変えたり、構図を変える

- 撮りたいものの大きさを変えるときは手順3と同じ操作で変えます。ただし、操作音は録音されます。また、倍率が青く表示されたときは画像が粗くなります。
- 撮影中に構図を変えると、ピント位置、明るさ、色あいが自動的に調整されます。



3) 撮影を終える

- もう一度動画ボタンを押すと、電子音が「ピピッ」と2回鳴り、撮影が終わります。
- カード容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終わります。

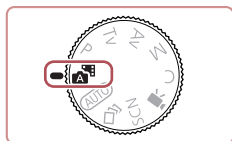


- 静止画を撮影するときにストロボが光ったときは、主被写体と背景の色あいが最適になるように自動補正されます(マルチエリアホワイトバランス)。

■ プラスムービーオートモードで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

静止画を撮影するだけで、静止画が記録されると同時に撮影直前の約2～4秒のシーンも動画として記録され、1日をまとめた短編動画（ダイジェスト動画）ができます。



1 「A+」モードにする

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順2（ 50）の操作で「A+」を選びます。



2 構図を決める

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順3～4（ 50）の操作で構図を決めてピントを合わせます。
- 静止画を撮影する約4秒前からカメラを被写体に向けておくと、ダイジェスト動画もきれいに撮影できます。

3 撮影する

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順4（ 50）の操作で静止画を撮影します。
- 静止画と動画が記録されます。動画の1シーンの最後に撮影した静止画がシャッター音と一緒に動画の一部としても記録され、1つのチャプターになります。



- 静止画と一緒にダイジェスト動画が撮影されるため、[**AUTO**] モードよりバッテリーの消耗が早くなります。
- 電源を入れたり [**A**] モードを選ぶなど、カメラを操作した直後に静止画を撮影したときは、ダイジェスト動画が記録されないことがあります。
- ダイジェスト動画には、カメラを操作したときの音と振動が記録されます。



- ダイジェスト動画の画質は、ビデオ方式 (294) の設定によって、[**HD 29.97P**] (NTSC 時) または [**HD 25.00P**] (PAL 時) に固定されます。
- シャッターボタンを半押ししたときやセルフタイマーなどの電子音 (301) は鳴りません。
- 次のときは、同じ日に [**A**] モードで作成されたダイジェスト動画でも、別ファイルとして保存されます。
 - ダイジェスト動画の容量が約 4 GB になるか、記録時間が約 16 分 40 秒になったとき
 - ダイジェスト動画を保護したとき (203)
 - サマータイムの設定 (23) やエリア設定 (298) を変えたとき
 - フォルダが新しく作成されたとき (292)
- 記録されるシャッター音は、変えたり消すことはできません。
- 事前に設定すると、静止画なしのダイジェスト動画にすることもできます。MENU (41) で [**7**] タブの [ダイジェスト形式] を選び、[静止画なし] を選んでください。
- チャプターを使って編集することもできます (228)。

ダイジェスト動画の再生について

[**A**] モードで撮影した静止画を表示して同じ日に作成されたダイジェスト動画を再生したり、日付を選んで再生することができます (189)。

静止画／動画



- **〔INFO〕** ボタンを押したまま電源を入ると音が鳴らなくなります。音が鳴るようにするには、**〔MENU〕** ボタンを押して、**〔🔊3〕** タブの**〔消音〕**を選び、**〔しない〕**を選びます。

静止画



- **〔📷〕** が点滅表示したときは手ブレしやすいため、カメラが動かないように三脚などでカメラを固定してください。
- ストロボが光ったのに暗い画像になるときは、被写体までの距離が遠すぎます。ストロボ撮影できる範囲については、「カメラ」(📖386)を参照してください。
- シャッターボタンを半押ししたときに、電子音が「ピッ」と1回鳴るときは、撮りたいものが近すぎる可能性があります。ピントが合う範囲(撮影範囲)は、「撮影距離」(📖389)を参照してください。
- 暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピント合わせのためや人の目が赤く写るのを緩和するため、ランプ(前面)が点灯することがあります。
- 撮影しようとしたときに**〔🔋〕** が点滅表示したときは、ストロボ充電中のため撮影できません。充電が終わると撮影できますので、シャッターボタンを全押ししたまま待つか、一度シャッターボタンを放してもう一度押してください。
- 「人(寝顔)」 「赤ちゃん(寝顔)」のアイコン(📖57)が表示されているときは、撮影時にシャッター音は鳴りません。
- 撮影画面に戻る前でも次の撮影はできますが、ピント、明るさ、色あいは、直前の撮影に固定されることがあります。

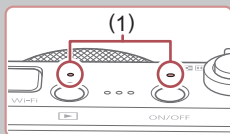


- 撮影直後に画像が表示される時間を変えることができます(📖88)。

動画



- 動画撮影するときは、撮影前にストロボを指で下げて収納してください。また、撮影中はマイク(1)をふさがないでください。ストロボを上げた状態やマイクをふさいだ状態では、音声録音されなかったり、こもった音声で録音されることがあります。



- 動画撮影中に動画ボタン以外を操作すると、操作音が録音されるので、注意してください。
- 大きな手ブレを補正するため、撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。撮影前と同じ大きさで撮影したいときは、ダイナミックIS (86) を[弱]にしてください。



- 音声はステレオで録音されます。
- 風が強いときに発生する雑音はウィンドカット機能によって低減されますが、風がない場所で録音したときは、不自然な音になることがあります。このときは、MENU (41) で [カメラ 7] タブの [ウィンドカット] を選び、[切] を選んでください (122)。
- 動画撮影中、ピント位置が自動的に調整されるため、レンズの動作音も録音されることがあります。

シーンのアイコン

▶ 静止画 ▶ 動画

【】 [AUTO] モードでは、カメラが判別したシーンを示すアイコンが表示され、ピント合わせや被写体の明るさ、色あいが最適になるよう自動設定されます。また、シーンによっては連続撮影します (P.59)。

被写体	背景				
	通常	逆光	暗い *1	夕景	スポットライト
人	 *2	 *3		—	
人 (動いているとき)	 *3	 *3	—	—	—
人 (顔の一部が暗いとき)	 *2	—	—	—	—
人 (笑顔)	 *3	 *3	—	—	—
人 (寝顔)	 *2	 *3	—	—	—
赤ちゃん	 *3	 *3	—	—	—
赤ちゃん (笑顔)	 *3	 *3	—	—	—
赤ちゃん (寝顔)	 *2	 *3	—	—	—
こども (動いているとき)	 *3	 *3	—	—	—
人以外	 *2	 *3			
人以外 (動いているとき)	 *3	 *3	—	—	—
人以外 (近いとき)	 *2	 *3	—	—	

*1 三脚使用時

*2 アイコンの背景は、シーンの背景が青空のときは水色、背景が暗いときは紺色、その他のときは灰色になります。

*3 アイコンの背景は、シーンの背景が青空のときは水色、その他のときは灰色になります。

-      の背景は紺色、 の背景はオレンジ色です。
- 動画撮影中、「人」「人以外」「人以外（近いとき）」以外のアイコンは表示されません。
-  モードで撮影中は、「人」「人（顔の一部が暗いとき）」「人以外」「人以外（近いとき）」以外のアイコンは表示されません。
- セルフタイマー撮影時、「人（動いているとき）」「人（笑顔）」「人（寝顔）」「赤ちゃん（笑顔）」「赤ちゃん（寝顔）」「こども（動いているとき）」「人以外（動いているとき）」のアイコンは、表示されません。
- ドライブモードを  以外に設定しているとき（ 59、 68）や、 が  で自動補正されるシーン（ 79）では、「人（笑顔）」「人（寝顔）」「赤ちゃん（笑顔）」「赤ちゃん（寝顔）」「こども（動いているとき）」のアイコンは、表示されません。
- ストロボを  に設定しているとき、逆光での「人（笑顔）」「こども（動いているとき）」は表示されません。
- 「赤ちゃん」「赤ちゃん（笑顔）」「赤ちゃん（寝顔）」「こども（動いているとき）」のアイコンは、 を  にして、登録されている赤ちゃん（2歳未満）、こども（2歳以上12歳以下）の顔が検出されたときに表示されます（ 70）。なお、あらかじめ日付／時刻が正しく設定されていることを確認してください（ 23）。



- 撮影シーンによっては、実際のシーンと異なるシーンのアイコンが表示されたり、思いどおりの効果、色あい、明るさで撮影できないことがあります。そのときは、 モード（ 125）で撮影することをおすすめします。

連続撮影されるシーン

次のシーンのアイコンが表示されているときに静止画を撮影すると、連続撮影されます。次のシーンのアイコンが表示されているときにシャッターボタンを半押しすると、連続撮影することを知らせる    のいずれかが表示されます。

笑顔 (赤ちゃんを含む)	 連続撮影した画像の中から、顔の表情などを検出して、カメラが最適と判断した 1 枚だけを保存します。
寝顔 (赤ちゃんを含む)	 連続撮影した画像を合成することで、手ブレやノイズを軽減して寝顔をきれいに撮影できます。AF 補助光、ストロボは光りません。また、シャッター音は鳴りません。
こども	 動き回るこどもでもシャッターチャンスを逃さずに撮影できるように、1 回の撮影で 3 枚の画像を連続撮影して保存します。



- シーンによっては、思いどおりの画像が保存されなかったり、思いどおりの効果が得られないことがあります。
- ピント、明るさ、色あいは、1 枚目の撮影で固定されます。



-  をタッチして、メニュー項目の  を選んだあと  を選ぶと、連続撮影されなくなります。

■ 手ブレ補正アイコン

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定（マルチシーン IS）され、以下のアイコンが表示されます。

	静止画を撮影するときの手ブレを補正（通常）
	静止画を流し撮りで撮るときのブレを補正（流し撮り）*
 	マクロ撮影するときの角度ブレとシフトブレによる手ブレを補正（ハイブリッド IS） 動画では  が表示され、さらに  も加えた手ブレを補正
	動画を撮影するときの手ブレを補正し、歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレも補正（ダイナミック）
	動画を望遠にして撮影するときなどの、ゆっくりとした手ブレを補正（パワード）
 	三脚などでカメラを固定したときは、手ブレ補正を停止。ただし、動画撮影中は  が表示され、風などによる振動の影響を低減するブレ補正を実施（三脚 IS）

* 動く被写体をカメラで追いながら撮影（流し撮り）するときに表示されます。左右方向に動く被写体を追うと、上下方向の手ブレだけが補正されて、左右方向の補正は停止します。また、上下方向に動く被写体を追うと、左右方向の手ブレだけが補正されます。



- [手ブレ補正] を [切] に設定 (85) すると、手ブレが補正されなくなり、アイコンも表示されなくなります。
- [A] モードでは  にはなりません。

■ 画面に表示される枠

▶ 静止画 ▶ 動画

[AUTO] モードでは、カメラを被写体に向けて被写体を検出すると、画面上にいろいろな枠が表示されます。

- カメラを被写体に向けると主被写体として検出された顔やものには白の枠、その他の顔には灰色の枠が表示されて、一定の範囲で追尾しピントを合わせ続けます。ただし、被写体が動いていると判別したときは、灰色の枠が消えて、白の枠だけになります。
- シャッターボタンを半押しした状態で被写体が動いていると判別したときは、青色の枠が表示されて、ピントと明るさを合わせ続けます（サーボ AF）。



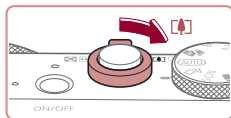
- 撮影シーンや被写体によっては、「枠が表示されない」、「撮りたい被写体に枠が表示されない」、「背景などに枠が表示される」ことがあります。そのときは、[P] モード (125) で撮影することをおすすめします。
- ピントを合わせたい被写体を選びたいときは、画面上の被写体にタッチして [] を表示します（タッチ AF） (151)。シャッターボタンを半押しすると、青色の枠が表示され、ピントと明るさを合わせ続けます（サーボ AF）。

よく使う機能や便利な機能を使う

被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）

▶ 静止画 ▶ 動画

光学ズームで被写体が大きく撮れないときは、デジタルズームを使って最大約 12 倍まで拡大できます。



1 ズームレバーを [L] 側に押す

- ズームできるところまでレバーを押したままにします。
- 画像の粗さが目立たない最大の倍率になるとズームが止まり、ズーム倍率が表示されます。

(1)



2 もう一度 [L] 側に押す

- さらにズームして、被写体が拡大されます。
- (1) は現在の倍率です。



- ズームレバーを操作するとズーム位置を示すズームバーが表示されて、バーの色はズーム領域によって変わります。
 - 白の領域：画像が粗くならない光学ズーム領域
 - 黄色の領域：画像の粗さが目立たないデジタルズーム領域（プログレッシブファインズーム）
 - 青色の領域：画像が粗くなるデジタルズーム領域
- 設定した記録画素数（158）によっては青色の領域がないため、手順 1 の操作で最大倍率までズームできます。

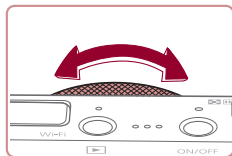


- デジタルズームを使わないようにするには、MENU (41) で [カメラ 2] タブの [デジタルズーム] を選び、[切] を選びます。

■ 焦点距離を指定して撮る（ステップズーム）

▶ 静止画 ▶ 動画

28 ～ 84 mm（35mm フィルム換算）の範囲で、代表的な焦点距離に設定して撮影することができます。



- **[Z]** リングを反時計回りにカチッと音がするまで回すと、28 mm から 35 mm に変わります。さらに **[Z]** リングを反時計回りに回すと望遠側に、時計回りに回すと広角側になります。



- 動画の撮影中に **[Z]** リングを回しても、ステップズームは動作しません。

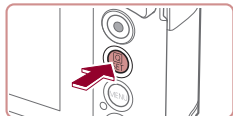


- デジタルズーム（[62](#)）の領域では、**[Z]** リングを反時計回りに回してもデジタルズームの倍率は変えられません。ただし、**[Z]** リングを時計回りに回すと焦点距離は 84 mm になります。

■ セルフタイマーを使う

▶ 静止画 ▶ 動画

集合写真などで撮影する人も一緒に写るときは、シャッターボタンを押してから約 10 秒後に撮影されるセルフタイマーを使って撮影します。



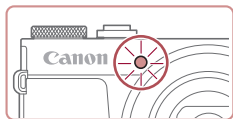
1 設定する

- **[SET]** ボタンを押して、メニュー項目の **[OFF]** を選んだあと、項目の **[ON]** を選びます (書 39)。
- 設定されると **[ON]** が表示されます。



2 撮影する

- 静止画を撮影するときには、シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを全押しします。
- 動画を撮影するときには、動画ボタンを押します。
- タイマーがはじまるとランプ（前面）が点滅して、電子音が鳴ります。
- 撮影の 2 秒前になると、ランプ（前面）の点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときには、**[MENU]** ボタンを押します。
- 戻すときは、手順 1 の操作で **[OFF]** を選びます。



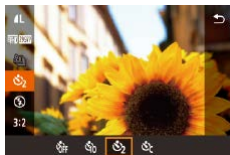


- タイマーがはじまったあとに、画面をタッチすることでも撮影を中止できます。

セルフタイマーを使って手ブレを防ぐ

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを押してから約2秒後に撮影するため、シャッターボタンを押すときのカメラのブレを防ぐことができます。

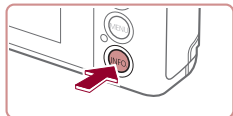


- 「セルフタイマーを使う」の手順1 (📖64) の操作で [🕒] を選びます。
- 設定されると [🕒] が表示されます。
- 「セルフタイマーを使う」の手順2 (📖64) の操作で撮影します。

セルフタイマーの時間と撮影枚数を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影されるまでのタイマー時間（0 - 30 秒）と、撮影枚数（1 - 10 枚）を設定できます。



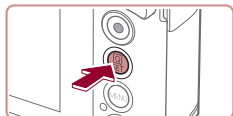
1 [C] を選ぶ

- 「セルフタイマーを使う」の手順 1 (書 64) の操作で [C] を選び、[INFO] ボタンを押します。



2 設定する

- タッチして時間または枚数を選びます。
- [◀] か [▶] をタッチして数値を選び、[SET] ボタンを 2 回押します。
- 設定されると [C] が表示されます。
- 「セルフタイマーを使う」の手順 2 (書 64) の操作で撮影します。



- 動画ボタンを押して撮影したときは、設定した時間で撮影がはじまりますが、枚数は反映されません。



- 撮影枚数を 2 枚以上にしたときは、明るさや色あいは 1 枚目の撮影で固定されます。また、ストロボが光るときや撮影枚数が多いときは撮影間隔が長くなったり、カード容量がいっぱいになると自動的に撮影が終わります。
- タイマー時間を 2 秒以上にしたときは、撮影の 2 秒前にランプの点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。

画面をタッチして撮る（タッチシャッター）

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを押す代わりに、画面をタッチするだけで被写体にピントと明るさを合わせ、かんたんに撮影することができます。



1 タッチシャッター機能を使えるようにする

- [OFF] をタッチして [ON] にします。

2 撮影する

- 画面上の被写体を指で触れると撮影されます。
- シャッター音が鳴り撮影されます。
- タッチシャッターを使わないようにするときは、手順 1 の操作で [OFF] を選びます。



- 撮影した画像が表示されている状態でも、[戻る] をタッチすると、次の撮影ができます。



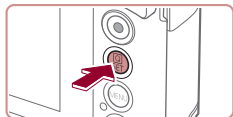
- タッチシャッターの設定は MENU (📖 41) の [📷 2] タブの [タッチシャッター] で設定することもできます。なお、[タッチシャッターボタン] を [非表示] にすると、タッチシャッターの設定アイコンを非表示にすることもできます。

連続して撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

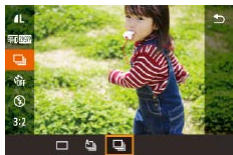
〔AUTO〕モードでは、シャッターボタンを全押ししたままにすると、連続撮影ができます。

連続撮影の速度は「カメラ」(386) を参照してください。



1 設定する

- 〔〕 ボタンを押して、メニュー項目の〔〕を選んだあと、項目の〔〕を選びます (39)。
- 設定されると 〔〕 が表示されます。



2 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。



- 連続撮影中はシャッターボタンを半押ししたときのピント位置、露出、色あいで固定されます。
- セルフタイマー (64) とは一緒に使えません。
- 撮影シーン、カメラの設定、ズーム位置によっては、一定の間隔で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 撮影枚数が多くなると、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- ストロボが発光するときは、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- マルチエリアホワイトバランス (50) は動作しません。また、以下の機能は〔切〕に固定されます。
 - 〔水銀灯自動補正〕 (79)
 - 〔目つむり検出〕 (84)
- タッチシャッター機能 (67) では、画面に触れている間、連続撮影されます。連続撮影中は 1 枚目のピント位置と露出で固定されます。

再生したときの表示について

1 回に連続撮影された複数の画像は 1 つのグループにまとめられ(グループ化)、連続撮影の最初に撮影された画像のみが表示されます。また、この画像にはグループ化されていることを示す【SET 四角】が画面左上に表示されます。



- グループ化された画像を消す (📖 207) と、グループ内のすべての画像が消されますので十分注意してください。



- グループ化された画像を 1 枚ずつ見たり (📖 196)、グループ化を解除できます (📖 196)。
- グループ化された画像を保護 (📖 203) すると、グループ内のすべての画像が保護されます。
- 画像の検索 (📖 191) で、グループ化された画像を表示すると、グループ化が一時的に解除されて 1 枚ずつの表示になります。
- グループ化された画像は、個人認証情報の編集 (📖 198)、拡大 (📖 200)、お気に入り設定 (📖 213)、編集 (📖 217)、印刷 (📖 324)、1 枚ずつの印刷指定 (📖 332)、フォトブック指定 (📖 335) はできません。グループ化された画像を 1 枚表示 (📖 196) にするか、グループ化を解除 (📖 196) してから行ってください。

個人認証機能を使って撮る

カメラに登録した人の顔を検出して、他の人よりも優先的なピント合わせ、明るさ、色あいで撮影できます。[AUTO] モードでは、登録した誕生日から赤ちゃんやこどもを判別し、最適な設定で撮影することができます。

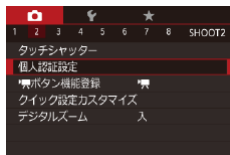
また、撮影した画像の中から、カメラに登録した人が記録されている画像を検索する（ 192）こともできます。

個人情報について

- 個人認証機能で登録した顔の画像（顔情報）や、設定した個人情報（名前、誕生日）は、カメラに記録されます。また、撮影した静止画には、検出された人の名前が記録されます。そのため個人認証機能を設定したあとは、カメラや撮影した静止画を他人に渡したり、撮影した静止画をインターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。
- 個人認証機能で顔の登録、名前、誕生日を設定しているカメラを譲渡や廃棄するときは、すべての登録情報を削除（ 76）してください。

人物情報を登録する

カメラに登録する人の人物情報（顔情報、名前、誕生日）を、最大 12 人まで登録することができます。

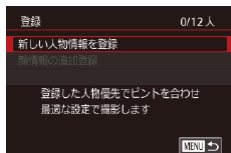


1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[ 2] タブの [個人認証設定] を選び、[] ボタンを押します（ 41）。



- タッチして [登録] を選び、[] ボタンを押します。

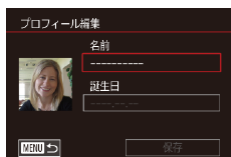
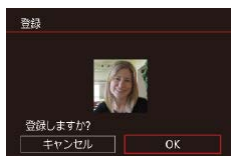


- [新しい人物情報を登録] を選び、[ⓘSET] ボタンを押します。



2 顔情報を登録する

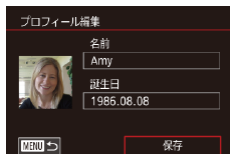
- 登録したい人の顔を、画面中央に表示される灰色の枠の中に収めます。
- 顔として認識されると枠が白くなりますので、この状態になったことを確認して撮影します。
- 顔として認識されないときは、登録できません。
- [登録しますか?] が表示されたら [OK] をタッチします。
- [プロフィール編集] 画面が表示されます。



3 名前と誕生日を登録する

- 名前の入力欄をタッチしてキーボードを表示し、名前を入力します (📖44)。
- 誕生日を登録するときには、[プロフィール編集] 画面で誕生日の入力欄をタッチします。
- 設定する項目をタッチして選びます。
- [▲] か [▼] をタッチして設定します。
- すべての項目を設定したら、[ⓘSET] ボタンを押します。





4 登録する

- [保存] をタッチします。
- メッセージが表示されたら [はい] をタッチします。

5 続けて顔情報を登録する

- 手順 2 の操作を繰り返して、残り 4 つの顔情報を登録します。
- 顔情報は正面以外にも、笑顔、少し横を向いたときの顔を、屋内や屋外など撮影条件を変えて登録することで検出されやすくなります。



- 手順 2 の操作で撮影したときは、ストロボは光りません。
- 手順 3 で誕生日を登録しないと、[AUTO] モードのときに赤ちゃんやこどものアイコンは表示されません (📖57)。



- 登録されている顔情報を入れ換えたり、5 つの顔情報を登録していないときは、あとで追加することができます (📖70)。

撮る

カメラに登録した人の顔を優先的に主被写体と判断して、最適なピント合わせ、明るさ、色あいで撮影できます。



- カメラを人に向けると、検出された人の名前が最大3人まで画面に表示されます。
- 撮影します。
- 表示された人の名前が、静止画に記録されます。さらに画面に表示されていない人でも、検出されると名前が記録されます（合計5人まで）。

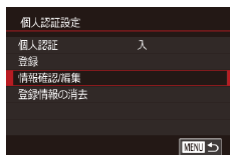


- 登録した顔と特徴が似ている顔を、誤って検出することがあります。



- 登録したときの顔情報と撮影したときの顔や撮影シーンが大きく違うときは、正しく検出されないことがあります。
- 登録した顔が検出されないときや、検出されにくいときは、登録されている顔情報を入れ換えてください。撮影する直前に顔情報を登録すると検出されやすくなります。
- 誤って検出されたまま撮影したときは、再生時に名前を入れ換えたり消したりすることができます（[198](#)）。
- 赤ちゃんやこどもは成長とともに顔が変わるため、定期的な顔情報の入れ換えをおすすめします（[70](#)）。
- 「表示する情報をカスタマイズする」（[175](#)）にある「撮影情報」の「☒」を外すと、名前は表示されませんが、撮影される画像には名前が記録されます。
- 撮影される画像に名前を記録したくないときは、**[カメラ 2]** タブの「個人認証設定」の「個人認証」を「切」にします。
- 記録された名前は、再生画面（簡易情報表示）で確認することができます（[186](#)）。
- **[A/B]** モードでは、名前は撮影画面に表示されませんが、静止画には記録されます。
- 連続撮影（[68](#)）すると、名前は1枚目に記録された位置に固定されます。被写体が動いても、2枚目以降も1枚目と同じ位置に記録されます。

登録した情報を確認／編集する



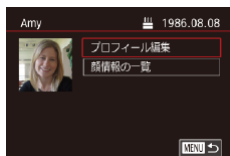
1 [情報確認／編集] 画面を表示する

- 「人物情報を登録する」の手順 1 (書 70) の操作で [情報確認／編集] を選びます。



2 確認／編集する人を選ぶ

- 確認／編集したい人を選び、タッチします。



3 確認／編集する

- 名前や誕生日を確認するときは、[プロフィール編集] をタッチします。表示された画面では、「人物情報を登録する」の手順 3 (書 70) の操作で名前や誕生日を変えることもできます。
- [顔情報の一覧] をタッチして顔情報を確認します。顔情報を消すときは、表示された画面で [消去] をタッチしたあと、消す顔情報をタッチします。[消去しますか?] が表示されたら、[OK] をタッチします。

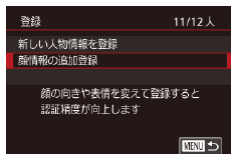


- [プロフィール編集] で名前を変えても、変更前に撮影された静止画に記録されている名前には反映されません。

顔情報を入れ換え／追加する

新しい顔情報に入れ換えることができます。顔が検出されにくいときや、特に赤ちゃんやこどもは成長とともに顔が変わるため、定期的な顔情報の入れ換えをおすすめします。

また、顔情報を5つ登録していないときは、追加で顔情報を登録します。



1 「顔情報の追加登録」画面を表示する

- 「人物情報を登録する」の手順1 (70) の操作で「顔情報の追加登録」を選びます。



2 入れ換える人の名前を選ぶ

- 入れ換える人の名前をタッチします。
- 5つの顔情報が登録されているときは、メッセージが表示されるので、[OK] をタッチします。
- 登録されている顔情報が4つ以下のときは、手順4に進んで顔情報を追加します。



3 入れ換えたい顔情報を選ぶ

- 入れ換えたい顔情報をタッチします。



4 顔情報を登録する

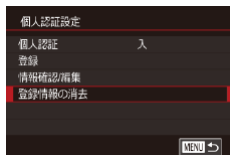
- 「人物情報を登録する」の手順2 (70) の操作で撮影し、新しい顔情報を登録します。
- 顔情報は正面以外にも、笑顔、少し横を向いたときの顔を、屋内や屋外など撮影条件を変えて登録することで検出されやすくなります。



- 顔情報が5つ登録されているときは、追加はできません。上記の操作で顔情報を入れ換えてください。
- 登録している顔情報が4つ以下のときは、上記の操作であらたに顔情報を登録はできますが、入れ換えはできません。いったん顔情報を消して (📖74) から、新しい顔情報を登録 (📖70) してください。

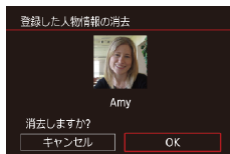
登録した情報を消す

カメラに登録した人物情報(顔情報、名前、誕生日)を消すことができます。なお、撮影した画像に記録されている名前は消えません。



1 「登録情報の消去」画面を表示する

- 「人物情報を登録する」の手順1 (📖70) の操作で「登録情報の消去」を選びます。



2 人物情報を消す人の名前を選ぶ

- 人物情報を消す人の名前をタッチします。
- 「消去しますか?」が表示されたら、[OK] をタッチします。



- 登録情報を消すと、名前の表示 (📖190) や、入れ換え (📖198)、検索 (📖192) はできなくなります。



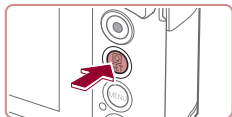
- 画像に記録された名前を消すこともできます (📖199)。

自分好みの画像を撮るための機能を使う

縦横比（アスペクト比）を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の縦横の比率を変えられます。



- [] ボタンを押して、メニュー項目の [3:2] を選んだあと、目的の項目を選びます (39)。
- 設定されると画面の縦横比が変わります。
- 戻すときは、上記の操作で [3:2] を選びます。

16:9	HD（ハイビジョン）対応テレビなどのワイド画面へ表示するときに適しています。
3:2	このカメラの画面と同じ縦横比です。35mm フィルムと同じ縦横比です。2L 判、はがきなどでの印刷に適しています。
4:3	HD（ハイビジョン）非対応テレビなどの画面へ表示するときや、L 判、A 判などでの印刷に適しています。
1:1	正方形です。



- [] モードでは設定できません。
- MENU (41) の [1] タブの [静止画アスペクト比] で設定することもできます。

記録画質を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の記録画質を 4 種類から選べます。それぞれの記録画質で 1 枚のカードに撮影できる枚数については「1 枚のカードに撮影できる枚数」(389) を参照してください。



- [] ボタンを押して、メニュー項目の [] を選び、目的の項目を選びます (39)。
- 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [] を選びます。

用紙の大きさに選ぶときの目安（縦横比 3:2）

	A2 相当
	A3 ～ A5 相当
	2L 判、はがき、L 判相当
	電子メールで画像を送るときなど

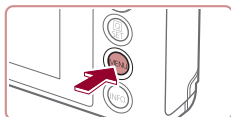


- [] モードでは設定できません。
- MENU (41) の [ 1] タブの [記録画質] 画面で記録画質を変えることもできます (158)。

水銀灯で緑がかった部分を補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

【AUTO】モードでは、水銀灯の灯りの影響を受ける夜景シーンなどを撮影すると、撮影した画像の被写体や背景全体が緑がかってしまうことがあります。この緑がかることを撮影時に自動補正することができます（マルチエリアホワイトバランス）。



- 【MENU】 ボタンを押して、【 6】 タブの【水銀灯自動補正】を選んだあと、【入】を選びます（ 41）。
- 設定されると【】が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で【切】を選びます。



- 水銀灯の灯りの影響を受けるシーンでの撮影が終わったあとは、【水銀灯自動補正】を【切】に戻すことをおすすめします。【入】のままにしておくと、水銀灯の影響ではない緑がかった色が誤って補正されることがあります。

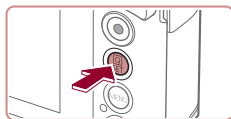


- シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがあるので、事前に試し撮りをすることをおすすめします。
- 連続撮影（ 68）では【切】に固定されます。

動画の画質を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

動画の画質（画像サイズとフレームレート）を設定できます。なお、フレームレートとは 1 秒間に何コマ記録するかのこと、ビデオ方式の設定（[294](#)）によって自動的に切り換わります。それぞれの画質で 1 枚のカードに撮影できる時間については「1 枚のカードに撮影できる時間」（[390](#)）を参照してください。



- [] ボタンを押して、メニュー項目の動画の画質を選んだあと、目的の項目を選びます（[39](#)）。
- 設定した項目が表示されます。



ビデオ方式の設定が [NTSC] のとき

画質	記録画素数	フレームレート	内容
 59.94P *	1920 x 1080 画素	59.94 フレーム / 秒	Full HD（フルハイビジョン）画質で撮影できます。  59.94P では、よりなめらかな動画を撮影できます。
 29.97P	1920 x 1080 画素	29.97 フレーム / 秒	
 23.98P	1920 x 1080 画素	23.98 フレーム / 秒	
 29.97P	1280 x 720 画素	29.97 フレーム / 秒	HD（ハイビジョン）画質で撮影できます。
 29.97P	640 x 480 画素	29.97 フレーム / 秒	SD（スタンダード）画質で撮影できます。

* [] [] モードで設定できます。

ビデオ方式の設定が【PAL】のとき

画質	記録画素数	フレームレート	内容
FHD 50.00P *	1920 x 1080 画素	50.00 フレーム / 秒	Full HD（フルハイビジョン）画質で撮影できます。
FHD 25.00P	1920 x 1080 画素	25.00 フレーム / 秒	
HD 25.00P	1280 x 720 画素	25.00 フレーム / 秒	HD（ハイビジョン）画質で撮影できます。
VGA 25.00P	640 x 480 画素	25.00 フレーム / 秒	SD（スタンダード）画質で撮影できます。

* モードで設定できます。



- **FHD 59.94P** か **FHD 50.00P** で繰り返し撮影をしているとカメラの内部温度が一時的に高くなることがあり、その状態では動画ボタンを押しても撮影することができません。そのときは **FHD 29.97P** か **FHD 25.00P** の設定で撮影することをおすすめするメッセージが表示されますので【はい】をタッチして撮影するか、電源を切ってしばらく待つことで内部の温度を下げてから、あらためて撮影してください。



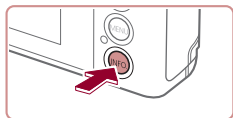
- **VGA 29.97P** **VGA 25.00P** では画面の左右に、 **FHD 59.94P** **FHD 29.97P** **FHD 23.98P** **HD 29.97P** **FHD 50.00P** **FHD 25.00P** **HD 25.00P** では画面の上下に、黒帯が表示されます。この部分は撮影されません。
- MENU (📖 41) の 8 タブの【動画の画質】で設定することもできます。

撮影の手助けとなる機能を使う

水準器を使う

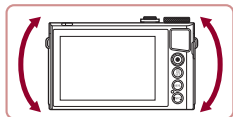
▶ 静止画 ▶ 動画

画面に水準器を表示できます。撮影するときにカメラが水平になっているかを確認するための目安としてご使用ください。



1 水準器を表示する

- [INFO] ボタンを押して水準器を表示します。



2 カメラを水平にする

- 水準器の中心が緑色になるように、カメラの左右の傾きを調整します。

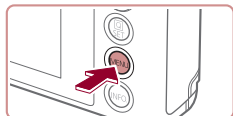


- 手順 1 で水準器が表示されないときは、[MENU] ボタンを押して [カメラ 1] タブの [撮影情報表示設定] の設定を確認してください。
- カメラを前後方向に傾けすぎると、水準器が灰色になり使えなくなります。
- 動画撮影中は水準器が表示されません。
- カメラを縦位置で構えると、水準器の向きが変わります。
- 水準器を使っても傾きが気になるときは、水準器を調整します (p.295)。
- [A] モードでは設定できません。

ピント位置を拡大表示する

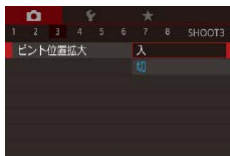
▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを半押ししたときに、AF フレーム（ピント合わせの枠）の位置を拡大表示してピントを確認することができます。



1 設定する

- [MENU] ボタンを押して、[カメラ 3] タブの「ピント位置拡大」を選び、[入] を選びます (📖 41)。



2 ピントを確認する

- シャッターボタンを半押しすると、主被写体として検出された顔が、拡大表示されます。
- 戻すときは、手順 1 の操作で「切」を選びます。

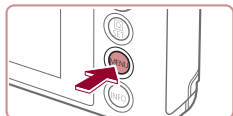


- 次のときはシャッターボタンを半押ししても拡大表示されません。
 - 顔が検出できないとき、顔がカメラに近すぎて画面に対して大きく表示されているとき、顔が動いていると判別されたとき
 - デジタルズーム (📖 62) をしているとき
- [A/M] モードでは設定できません。

■ 目をつむった人を確認する

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影時に目をつむった可能性のある人を検出したときは、 を表示してお知らせします。



1 設定する

- [MENU] ボタンを押して、 7 タブの [目つむり検出] を選び、[入] を選びます (📖 41)。



2 撮影する

- 目をつむった人を検出したときは、 が点滅表示されます。
- 戻すときは、手順 1 の操作で [切] を選びます。



-  で撮影枚数を 2 枚以上に設定したときは、最後に撮影した画像でのみ動作します。
- [表示時間] を [2 秒]、[4 秒]、[8 秒]、または [ホールド] にしているとき (📖 88) は、目をつむった人の顔に枠が表示されます。
-  で連続撮影されたとき (📖 59) は、動作しません。
- 連続撮影 (📖 68) を設定すると [切] 固定になります。

■ 自動水平補正を使わないようにする

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影時に動画を水平に保つ補正をします。この機能を使わないときは、[しない] を選びます。



- [MENU] ボタンを押して、[カメラ 4] タブの [自動水平補正] を選び、[設定] を押します (41)。
- [しない] を選びます (41)。



- 撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が小さくなります (86)。

■ 手ブレ補正の設定を変える

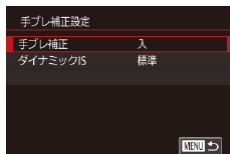
手ブレ補正を使わないようにする

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラを三脚などで固定して撮影するときは、手ブレ補正機能が動作しないよう [切] にすることをおすすめします。

1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[カメラ 4] タブの [手ブレ補正設定] を選び、[設定] ボタンを押します (41)。



2 設定する

- [手ブレ補正] をタッチしたあと、目的の項目を選びます (📖41)。

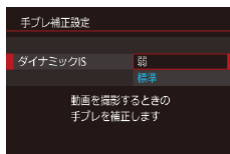
入	撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定 (マルチシーンIS) されます (📖60)。
切	手ブレ補正を切ります。

■ 撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

動画撮影では大きな手ブレを補正したり、なるべく水平に保たれるように補正するため、撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。

手ブレ補正の効果を弱めることと、水平に保つ補正をしないことで、撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮影することができます。



- 「自動水平補正を使わないようにする」 (📖85) の操作で [自動水平補正] を [しない] にします。
- 「手ブレ補正を使わないようにする」 (📖85) の手順1の操作で [手ブレ補正設定] 画面を表示します。
- [ダイナミックIS] を選んでから、[弱] を選びます (📖41)。



- [手ブレ補正] が [切] のときも、撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮影することができます。
- [手ブレ補正] を [切] にしているとき (📖85) は [ダイナミックIS] は選べません。
- 動画の画質が [VGA 29.97P] (NTSC 時) または [VGA 25.00P] (PAL 時) のときは、[標準] に固定されます。

自分好みに機能を変える

MENU の [📷] タブで、カメラの撮影機能を好みの設定に変えることができます。

なお、メニュー機能の操作方法は、「MENU（メニュー）の表示と操作方法」（📖41）を参照してください。

AF 補助光（ランプ）が光らないようにする

▶ 静止画 ▶ 動画

暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピントを合わせるためにランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。



- [MENU] ボタンを押して、[📷 3] タブの [AF 補助光] を選び、[切] を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で [入] を選びます。

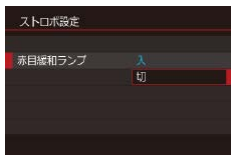
赤目緩和機能を切る

▶ 静止画 ▶ 動画

暗いところでのストロボ撮影では、人の目が赤く撮影されることを緩和するため、ランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。

1 [ストロボ設定] 画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[📷 5] タブの [ストロボ設定] を選び、[Ⓢ] ボタンを押します。



2 設定する

- [赤目緩和ランプ] を選んでから、[切] を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で [入] を選びます。

■ 撮影直後の画面表示を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影直後に画像が表示される時間を変えたり、画面の表示を変えることができます。

撮影直後の画像表示時間を変える

1 [撮影直後のレビュー表示] 画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[📷 1] タブの [撮影直後のレビュー表示] を選び、[Ⓢ] ボタンを押します。



2 設定する

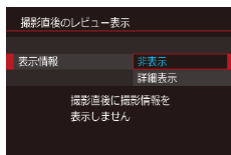
- [表示時間] を選んでから、目的の内容を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で [クイック] を選びます。

クイック	次の撮影ができるようになるまでの間だけ画像を表示します。
2 秒、4 秒、8 秒	設定した時間だけ画像を表示します。画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影ができます。
ホールド	シャッターボタンを半押しするまで画像を表示します。
切	画像は表示されません。

撮影直後に表示される画面を変える

撮影直後の画像表示を変えることができます。

- 1 [表示時間] を [2 秒]、[4 秒]、[8 秒] または [ホールド] にする (📖 88)



2 設定する

- [表示情報] を選んでから、目的の内容を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で [非表示] を選びます。

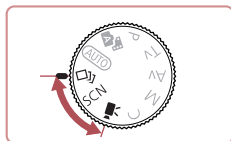
非表示	撮影した画像だけを表示します。
詳細表示	詳細情報表示 (📖 351) になります。



- [表示時間] (📖 88) で [クイック] または [切] を選んでいるときは、[非表示] に固定されます。
- 撮影直後に画像が表示されているときに [INFO.] ボタンを押すと、表示情報を切り換えられます。ただし、[表示情報] で設定した内容は変わりません。

いろいろな撮影モード

いろいろなシーンをより効果的に撮ったり、ユニークな効果や特殊な機能で演出された画像を撮る



多彩な写真や動画を撮る (クリエイティブショット)

▶ 静止画 ▶ 動画

多彩な写真を撮る

カメラが被写体や撮影状況を判別して、自動で効果をつけたり被写体を切り出して、1回の撮影で6枚の静止画を記録します。カメラまかせて多彩な静止画を撮ることができます。



1 【】モードにする

- モードダイヤルを【】にします。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、シャッター音が3回鳴って撮影されます。
- 6枚の画像が順番に表示されたあと、すべての画像が約2秒間表示されます。
- 画像の表示中に【】ボタンを押すと、シャッターボタンを半押しするか【MENU】ボタンを押すまで画像が表示されるようになります。この状態でタッチして画像を選び【】ボタンを押すと、選んだ画像が画面いっぱいに表示されます。
- 【MENU】ボタンを押すともとの表示に戻ります。



- ストロボが発光するときは撮影に時間がかかりますが、3回シャッター音が鳴るまでカメラを構え続けてください。
- 撮影した6枚の画像はグルーピング化 (📖 196) されます。
- 6枚の画像が手順2のような並びで表示されるのは、撮影直後だけです。

効果を選ぶ

〔Q〕モードで記録する画像の効果を選ぶことができます。



- 〔Q〕モードを選んだあと、〔R〕リングを回して効果を選びます。

オート	すべての効果
レトロ	古い写真のような雰囲気の効果
モノクロ	単色の効果
スペシャル	特殊で大胆な効果
ナチュラル	自然な印象の抑えめな効果

多彩な動画を撮る

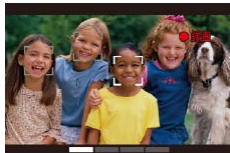
動画を撮影すると、カメラが被写体や撮影シーンを判別して、自動的にスローモーションや早送りなど多彩な効果をつけます。また、最大4回分の動画を自動的にまとめて15～25秒程度の短編動画（クリエイティブショット動画）を記録します。なお、音声は記録されません。

1 〔Q〕モードにする

- モードダイヤルを〔Q〕にします。

2 1つ目の動画を撮影する

- 動画ボタンを押すと撮影がはじまり、撮影時間に連動したバーが表示されます。
- 3～6秒の動画が記録されると、自動的に撮影が終わります。



3 2～4つ目の動画を撮影する

- 手順 2 の操作を 3 回繰り返して、4 つの動画を撮影します。



- 動画の数が 4 つに達していなくても、日付が変わると別ファイルとして保存されます。



- 動画にかかる効果の傾向は、1～4つ目の動画まで同じになりますが、動画ごとに変えることもできます（📖93）。
- チャプターを使って編集することもできます（📖228）。

クリエイティブショット動画の再生について

[🔍] モードで撮影したクリエイティブショット動画を選んで再生することができます（📖188）。

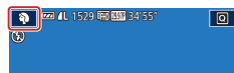
いろいろなシーンで撮る

撮影シーンにあったモードを選ぶと、最適な撮影ができるようにカメラが自動的に設定を行います。



1 [SCN] モードにする

- モードダイヤルを [SCN] にします。



2 撮影モードを選ぶ

- [👤] をタッチしたあと、[▲] か [▼] をタッチしたり画面を上下方向にドラッグして、撮影モードを選びます。
- [OK] をタッチして決定します。



3 撮影する



👤 人を撮る（ポートレート）

▶ 静止画 ▶ 動画

- 人をやわらかい感じで撮影できます。



三脚を使わずに夜景を撮る (手持ち夜景)

▶ 静止画 ▶ 動画

- 三脚などでカメラを固定しなくても夜景や夜景を背景にした人をきれいに撮影できます。
- 連続撮影した画像を 1 枚に合成することで、手ブレやノイズが軽減されます。



花火を撮る (打上げ花火)

▶ 静止画 ▶ 動画

- 打上げ花火を色鮮やかに撮影できます。



-  モードでは、他のモードに比べて被写体が大きく表示されます。
-  モードでは、撮影シーンによっては ISO 感度 (書 129) が高くなるため、画像が粗くなることがあります。
-  モードでは連続撮影するため、撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
-  モードでは、ブレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。
-  モードでは手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (書 85)。



- 三脚を使って夜景を撮影するときは、 モードではなく、[**AUTO**] モードで撮影することをおすすめします (書 50)。
- MENU (書 41) の [ 1] タブの [撮影モード] から撮影モードを選ぶこともできます。
-  モードでは、最適なピント位置に設定されますが、シャッターボタンを半押ししても枠は表示されません。

効果をつけて撮る

いろいろな効果をつけて撮影することができます。



🌈 鮮烈な色で撮る（極彩色）

▶ 静止画 ▶ 動画

- 色の濃さを強調して、高彩度の鮮烈な色で撮影できます。



🎨 イラスト風の効果をつけて撮る（オールドポスター）

▶ 静止画 ▶ 動画

- 古いポスターのようなイラスト風の効果をつけて撮影できます。



- [🌈] [🎨] モードでは、撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。



- MENU (📖 41) の [📷 1] タブの [撮影モード] から撮影モードを選ぶこともできます。

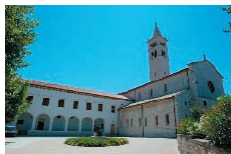
■ 明暗差の大きいシーンで撮る (ハイダイナミックレンジ)

▶ 静止画 ▶ 動画

明るさの異なる 3 枚の画像を連続撮影し、明るさが適切な部分を合成して 1 枚の画像にします。明暗差の大きい風景などでの白トビや黒ツブレをおさえることができます。

1 [HDR] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2 (📖 95) の操作で [HDR] を選びます。



2 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、3 枚連続して撮影されたあと、画像が合成されるため、撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。



- ブレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。



- 手ブレが大きくてうまく撮影できないときは、三脚などでカメラが動かないように固定することをおすすめします。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (📖 85)。
- 被写体が動くとブレた画像になります。
- 撮影後に合成処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。
- 明るい撮影シーンでは、シャッターボタンを半押したときに [ND] が表示され、最適な明るさになるように自動的に調整されることがあります。

効果をつける



- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2 (📖95) の操作で [HDR] を選びます。
- [🔍] リングを回して効果を選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。

ナチュラル	自然な印象で撮影できます。
絵画調標準	コントラストをおさえて絵画のように撮影できます。
グラフィック調	鮮やかなグラフィックアートのように撮影できます。
油彩調	輪郭を強調し、鮮やかな油絵のように撮影できます。
ビンテージ調	輪郭を強調し、暗い感じにすることで、古い写真のように撮影できます。

色あせた写真のような色調で撮る(ノスタルジック)

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の色を薄くしたり、粗くしたりすることにより、長い年月が経過したような写真にすることができます。効果は、5段階から選べます。

1 [🔍] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2 (📖95) の操作で [🔍] を選びます。



2 効果を選ぶ

- [🔍] リングを回して効果を選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する



- 撮影シーンによっては思い通りの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。



- 撮影画面では、色調は変わりますが、粗さは表示されません。画像の粗さを確認するときは、再生して確認してください(184)。
- 動画では画像の粗さは変わりません。

■ 魚眼レンズのような効果をつけて撮る（魚眼風）

▶ 静止画 ▶ 動画

魚眼レンズで撮ったようなデフォルメ効果をつけて撮影します。

1 [魚眼] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2 (195) の操作で [魚眼] を選びます。



2 効果を選ぶ

- [魚眼] リングを回して効果のレベルを選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する



- 撮影シーンによっては思い通りの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

ミニチュア模型のように撮る（ジオラマ風）

▶ 静止画 ▶ 動画

指定した範囲の上下をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて撮影します。

また、「再生時の速さ」を選んで動画を撮影すると、再生時には風景の中の人やものが早送りで動くので、ミニチュア模型のように見えます。なお、音声は録音されません。

1 [📷] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2 (📖 95) の操作で [📷] を選びます。
- 画面に白い枠（ぼかさない範囲）が表示されます。



2 ピントの合う範囲と位置を指定する

- [INFO.] ボタンを押します。
- ズームレバーを動かして枠の大きさを変えたり、画面をタッチするか、白い枠を上下方向にドラッグして枠の位置を変えます。



3 動画を撮るときは再生時の速さを選ぶ

- 手順2の画面で [🔍] リングを回して倍速（速さ）を選びます。

4 撮影画面に戻り、撮影する

- [INFO.] ボタンを押して撮影画面に戻り、撮影します。

倍速と再生時間の目安（動画を 1 分間撮影したとき）

倍速	再生時間
5x	約 12 秒
10x	約 6 秒
20x	約 3 秒

30 フレーム / 秒で再生



- 動画の撮影中は、ズームできません。撮影前に倍率を変えてください。
- 撮影シーンによっては思い通りの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。



- 手順 2 の画面で ボタンを押すと枠が縦になり、画面をタッチして位置を変えられます。もう一度 ボタンを押すと枠が横に戻ります。
- カメラを縦位置で構えると、枠の向きが変わります。
- 動画の画質は、縦横比で **[4:3]** を選んだときは に、**[16:9]** を選んだときは に固定されます（ 77）。

トイカメラのような効果をつけて撮る(トイカメラ風)

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の四隅を暗くぼかして、全体の色調を変えることで、トイカメラで撮影したような効果をつけて撮影できます。

1 〔📷〕を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2 (📖 95) の操作で 〔📷〕を選びます。



2 色調を選ぶ

- 〔🎚️〕リングを回して色調を選びます。
- 設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する

標準	トイカメラ風の画像になります。
暖色	[標準] より暖色系のトイカメラ風画像になります。
寒色	[標準] より寒色系のトイカメラ風画像になります。



- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

被写体を浮き立たせて撮る（背景ぼかし）

▶ 静止画 ▶ 動画

背景をぼかして被写体を浮き立たせた画像を撮影することができます。背景ぼかしに適した設定で2枚の画像を連続撮影し、レンズ効果による背景ぼかしのほか、被写体や撮影シーンに応じて画像処理による背景ぼかしも行われます。

1 [📷] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順1～2（📖95）の操作で [📷] を選びます。



2 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると2枚連続して撮影されるため、撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- 画像処理が行われなかったときは、[📷] が点滅表示されます。



- ブレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。



- 「被写体に近づく」「被写体と背景の距離を離す」とぼかし効果が得られやすくなります。
- 撮影後、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。
- [🔍] リングを回して効果のレベルを選ぶことができます。

■ 優しい雰囲気撮る（ソフトフォーカス）

▶ 静止画 ▶ 動画

ソフトフィルターを使ったような効果をつけて、優しい雰囲気の画像を撮影できます。効果の強さを設定できます。

1 【人】を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2 (95) の操作で【人】を選びます。



2 効果を選ぶ

- 【人】 リングを回して効果のレベルを選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する



- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

■ 単色で撮る（モノクロ）

▶ 静止画 ▶ 動画

画像を白黒、セピア調、青白にして撮影できます。

1 [] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2 (95) の操作で [] を選びます。



2 色調を選ぶ

- [] リングを回して色調を選びます。
- 設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する

白黒	白黒で撮影できます。
セピア	セピア調で撮影できます。
青	青白で撮影できます。

特殊なモードでいろいろな画像を撮る

■ 星空を撮る（星空）

星空と人を一緒に撮る（星空ポートレート）

▶ 静止画 ▶ 動画

人と星空をきれいに撮影することができます。人をストロボ撮影したあと、続けてストロボを発光させずに2枚の画像が撮影されます。この3枚の画像を合成して星の光を強調処理することで、1枚の画像として記録されます。

なお、ストロボ撮影できる範囲は「カメラ」（386）を参照してください。



1 を選ぶ

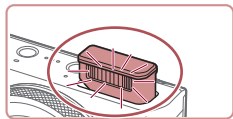
- 「いろいろなシーンで撮る」の手順1～2（95）の操作で  を選んだあと、**「INFO」** ボタンを押します。
-  をタッチしたあと、 ボタンを押します。
- ズーム位置がもっとも広角になり、固定されます。

2 ストロボを上げる

-  スイッチを動かします。

3 カメラを固定する

- 三脚などでカメラが動かないように固定します。



4 撮影する

- シャッターボタンを押すと、ストロボが発光して1枚目が撮影されます。
- 続けて2枚目が撮影され、3枚目の撮影が始まります（2枚目、3枚目はストロボ非発光）。



5 ランプ（前面）が点滅するまで撮影される人は動かないようにする

- 3枚目の撮影（最長約2秒）が終わるとランプが3回点滅しますので、それまでは撮影される人が動かないようにしてください。
- 1枚の画像が記録されます。



- 撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られないことがあります。
- 街灯などの光が人に当たっているときや、ストロボを上げずに撮影すると、人はきれいに撮影されません。
- 撮影後に処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。
- 手順4～5で撮影される人が動くとブレた画像になるため、撮影中は動かないよう注意してください。



- MENU の [📷 2] タブで [暗所表示] を [入] にして撮影することをおすすめします (📖 296)。
- 人が思いどおりの明るさにならないときは、調光補正 (📖 155) することで適正な明るさになることがあります。
- 星空が思いどおりの明るさにならないときは、露出補正 (📖 127) することで適正な明るさになることがあります。ただし、撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られなかったり、手順 4～5 の撮影時間が最長約 15 秒になるため撮影される人が動かないよう注意してください。
- 星をより多く、さらに明るく撮影したいときは、MENU (📖 41) の [📷 6] タブで [星空ポートレート設定] を選び、[星の数と明るさ] を [多く / 明るく] に設定します。ただし、撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られなかったり、手順 4～5 の撮影時間が最長約 8 秒になるため撮影される人が動かないよう注意してください。
- MENU (📖 41) の [📷 6] タブの [星の強調] が [シャープ] のときは、星の光を明るく撮影できます。星がたくさんあるシーンで明るい星を強調させたいときは、[星の強調] を [ソフト] にします。明るい星は大きく、暗い星は薄く処理することで、より印象的な画像にすることができます。星の光を強調する処理をしないときは、[切] にします。

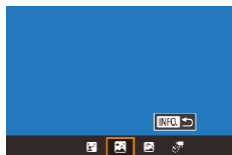


- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1～2 (📖 95) の操作で [📷] を選んだあと [INFO] をタッチして設定画面を表示し、[📷] をタッチしたあと、同じ項目が [SET] をタッチすることでも撮影モードを選べます。

星空と夜景を撮る（星空夜景）

▶ 静止画 ▶ 動画

星空を夜景と一緒にきれいに撮影できます。星空をきれいに见せるために、カメラが自動で星の光を強調する処理を行います。



1 [🌌] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2 (p.95) の操作で [🌌] を選んだあと、[INFO] ボタンを押します。
- [🌌] をタッチしたあと、[🔍] ボタンを押します。
- ズーム位置がもっとも広角になり、固定されます。

2 カメラを固定する

- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定します。



3 撮影する



- 撮影後に処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。



- MENU の [🔍 2] タブで [暗所表示] を [入] にして撮影することをおすすめします (📖 296)。
- MENU (📖 41) の [📷 5] タブの [星の強調] が [シャープ] のときは、星の光を明るく撮影できます。星がたくさんあるシーンで明るい星を強調させたいときは、[星の強調] を [ソフト] にします。明るい星は大きく、暗い星は薄く処理することで、より印象的な画像にすることができます。星の光を強調する処理をしないときは、[切] にします。
- 星のピント位置をより細かく合わせたいときは、マニュアルフォーカス (📖 141) でピント位置を調整してから撮影することをおすすめします。



- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2 (📖 95) の操作で [🌌] を選んだあと [INFO.] をタッチして設定画面を表示し、[📷] をタッチしたあと、同じ項目が [SET] をタッチすることでも撮影モードを選べます。

星が動いた軌跡を撮る (星空軌跡)

▶ 静止画 ▶ 動画

星が動いた軌跡を 1 枚の画像として記録できます。撮影中は、カメラが決めたシャッタースピードや撮影枚数で連続撮影が行われます。なお、1 回の撮影に最長約 2 時間かかりますので、事前にバッテリーの残量を確認してください。



1 [🌌] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2 (📖 95) の操作で [🌌] を選んだあと、[INFO.] ボタンを押します。
- [🌌] をタッチしたあと、[SET] ボタンを押します。
- ズーム位置がもっとも広角になり、固定されます。

2 撮影時間を設定する

- [1] リングを回して撮影時間を選びます。

3 カメラを固定する

- 三脚などでカメラが動かないように固定します。



4 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、撮影画面に「処理中」がしばらく表示されたあと、撮影がはじまります。
- 撮影中は、カメラに触らないようにしてください。
- 撮影を中止するときは、もう一度シャッターボタンを全押しします。ただし、撮影が中止されるまでに最長約 30 秒かかることがあります。



- 撮影の途中でバッテリーの残量が足りなくなると、撮影が中止され、途中までの撮影結果が保存されます。
- 撮影後に処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。



- MENU の [2] タブで「暗所表示」を「入」にして撮影することをおすすめします (296)。
- 星のピント位置をより細かく合わせたいときは、マニュアルフォーカス (141) でピント位置を調整してから撮影することをおすすめします。



- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2 (📖 95) の操作で [🌠] を選んだあと [INFO] をタッチして設定画面を表示し、[🌠] をタッチしたあと、同じ項目が [SET] をタッチすることでも撮影モードを選べます。

星の動きを撮る (星空インターバル動画)

▶ 静止画 ▶ 動画

一定間隔で撮影した静止画をつなげることで 1 つの動画を作成し、星の動きを早送りで見ることができます。また、撮影間隔や撮影時間などを変えることができます。

なお、1 回の撮影に長時間かかり、多くの画像を撮影しますので、事前にバッテリーの残量とカードの空き容量を確認してください。



1 [🌠] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2 (📖 95) の操作で [🌠] を選んだあと、[INFO] ボタンを押します。
- [🌠] をタッチしたあと、[SET] ボタンを押します。
- ズーム位置がもっとも広角になり、固定されます。

2 動画の設定をする

- [🌠] をタッチします。
- 項目をタッチして、目的の内容を選びます。



3 カメラを固定する

- 三脚などでカメラが動かないように固定します。

4 明るさを確認する

- シャッターボタンを全押しして、1 枚の静止画を撮影します。
- 再生モード (📖 183) にして撮影した画像の明るさを確認します。
- 思いどおりの明るさにならないときは、撮影画面で [🔍] リングを回して露出を調整したあと、もう一度シャッターボタンを全押しして 1 枚の静止画を撮影し、画像の明るさを確認します。



5 撮影する

- 動画ボタンを押すと、撮影画面に [処理中] がしばらく表示されたあと、撮影がはじまります。
- 撮影中は、カメラに触らないようにしてください。
- 撮影を中止するときは、もう一度動画ボタンを押します。ただし、撮影が中止されるまでに最長約 30 秒かかることがあります。
- 撮影中は、エコモード (📖 296) になります。

項目	設定できる項目	内容
効果		軌跡など、動画の効果を選ぶことができます。
撮影間隔	15 秒、30 秒、1 分	撮影する間隔を選ぶことができます。
フレームレート	$\overline{14.99}$ $\overline{29.97}$ (NTSC 時) $\overline{12.50}$ $\overline{25.00}$ (PAL 時)	動画のフレームレートを 選ぶことができます。
撮影時間	60 分、90 分、 120 分、制限なし	撮影時間を選ぶことができます。 [制限なし] のときは、バッテリー残量が なくなるまで撮影することが できます。

撮影間隔およびフレームレートと再生時間の目安（動画を 60 分撮影したとき）

撮影間隔	フレームレート		再生時間
	NTSC 時	PAL 時	
15 秒	$\overline{14.99}$	$\overline{12.50}$	16 秒
15 秒	$\overline{29.97}$	$\overline{25.00}$	8 秒
30 秒	$\overline{14.99}$	$\overline{12.50}$	8 秒
30 秒	$\overline{29.97}$	$\overline{25.00}$	4 秒
1 分	$\overline{14.99}$	$\overline{12.50}$	4 秒
1 分	$\overline{29.97}$	$\overline{25.00}$	2 秒



- 撮影後に処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。
- 撮影の途中でバッテリーの残量やカードの空き容量が足りなくなると、撮影が中止され、途中までの撮影結果が保存されます。
- 効果を にしているときは、撮影間隔の [1 分] は選べません。



- 音声は録音されません。
- MENU の [👉 2] タブで [暗所表示] を [入] にして撮影することをおすすめします (📖 296)。
- MENU (📖 41) の [📷 5] タブの [星空インターバル動画設定] を選んでも、手順 2 の画面を表示することができます。
- MENU (📖 41) の [📷 5] タブの [🌠 素材の保存] を [入] にすると、連続撮影した動画作成前の画像を保存することができます。なお、これらの画像は 1 つのグループにまとめられ (グループ化)、再生したときは連続撮影の最初に撮影された画像のみが表示されます。また、この画像にはグループ化されていることを示す [SET] が画面左上に表示されます。グループ化された画像を消す (📖 207) と、グループ内のすべての画像が消されますので、十分注意してください。
- 星のピント位置をより細かく合わせたいときは、マニュアルフォーカス (📖 141) でピント位置を調整してから撮影することをおすすめします。
- AC アダプターキット (別売) (📖 310) をお使いのときは、手順 2 の操作で [撮影時間] を [制限なし] に設定しても、最長約 8 時間で撮影が終わります。



- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2 (📖 95) の操作で [🌠] を選んだあと [INFO.] をタッチして設定画面を表示し、[🌠] をタッチしたあと、同じ項目か [INFO.] をタッチすることでも撮影モードを選べます。

色あいを調整する

▶ 静止画 ▶ 動画

 モードのときに色あいを手動で調整することができます。

1 撮影モードを選ぶ

-  (107)  (110)  (111)  (113) のいずれかを選びます。



2 色あい調整を選ぶ

-  ボタンを押して、メニュー項目の  を選びます (39)。

3 補正する

-  リングを回して B と A の補正量を調整し、 ボタンを押します。
- 画面に  が表示されます。



- B はブルー、A はアンバーの意味です。
-  では、色あいを調整しても人の色あいは変わりません。
- 手順2の画面で **MENU** ボタンを押すと詳細な設定もできます (136)。



- 手順2のバーをタッチしたりドラッグして補正量を選ぶこともできます。

ピントを調整する

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影したい星空に適したピント位置になるよう、自動で調整することができます。

1 撮影モードを選ぶ

- [📷] (📖 110) [📹] (📖 111) [📷] (📖 113) のいずれかを選びます。

2 カメラを固定する

- 三脚でカメラが動かないように固定します。



3 撮影したい星を枠内に入れる

- [AF] をタッチしたあと、[星のピント調整] をタッチします。
- 画面に表示された枠内に撮影したい星が入るようにカメラの向きを調整します。

4 ピントを調整する

- [SET] ボタンを押すと [調整中] が表示され、調整が始まります。
- 調整には最長約 30 秒かかるので、[調整が完了しました] が表示されるまではカメラを動かさないでください。
- [SET] ボタンを押します。

5 撮影する

(📖 110、📖 111、📖 113)



- 次のときはピント位置が調整されないことがあります。再度、手順 3 から操作してください。
 - 強い光源があるとき
 - 飛行機などの動く光源や雲が横切ったとき

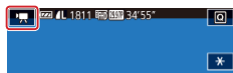
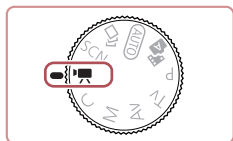


- 調整できなかったときは、調整を行う前のピント位置に戻ります。

いろいろな動画を撮る

■ [P] モードで動画を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画



1 [P] モードにする

- モードダイヤルを [P] にします。
- [P] をタッチしたあと、[P] を選びます。
- [OK] をタッチして決定します。
- 画面上下に黒い帯が表示され、被写体が少し大きく表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影されません。

2 目的に応じて各機能を設定する (353)

3 撮影する

- 動画ボタンを押します。
- 動画ボタンをもう一度押すと撮影が完了します。



- MENU (41) の [1] タブの [撮影モード] から撮影モードを選ぶこともできます。



- 撮影中に [AF] をタッチすると [MF] と表示され、[▲] か [▼] をタッチしてピント位置を調整することができます。

明るさを固定したり変えて撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影前や撮影中に露出を固定したり、露出を 1/3 段ずつ、－ 3 段から＋ 3 段の範囲で変えられます。



1 露出を固定する

- [★] をタッチして露出を固定します。
- もう一度 [★] をタッチすると解除されます。

2 露出を変える

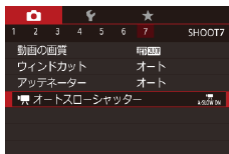
- 画面を見ながら、[

3 撮影する (119)

■ オートスローシャッターを使わない

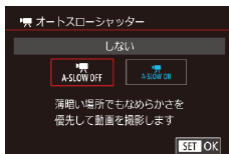
▶ 静止画 ▶ 動画

ごちない動きの画像になったときに、オートスローシャッターを使わないようにできます。ただし、暗いシーンを撮影しているときは、画像が暗くなることがあります。



- [MENU] ボタンを押して、[ 7] タブの [ オートスローシャッター] を選んだあと、[A-SLOW OFF] を選びます ( 41)。

- 戻すときは、上記の操作で [A-SLOW ON] を選びます。



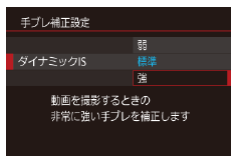


- オートスローシャッターは [FHD 59.94P] (NTSC 時) または [FHD 50.00P] (PAL 時) でのみ動作します。

非常に強い手ブレを補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

動きながら動画を撮影するときなどの非常に強い手ブレを補正します。
[標準] よりも画面に表示される範囲が変わり、さらに被写体が大きくなります。



- 「撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮る」の操作 (86) で [強] を選びます。



- [手ブレ補正] を [切] にしているときは、[ダイナミック IS] は選べません。
- 動画の画質が [VGA 29.97P] (NTSC 時) または [VGA 25.00P] (PAL 時) のときは、[標準] に固定されます。

■ 音声を設定する

▶ 静止画 ▶ 動画

ウィンドカットを使わない

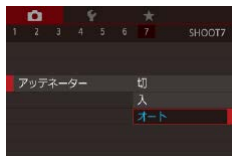
風が強いときに発生する雑音を低減できます。ただし、風がない場所で録音したときは、不自然な音になることがあります。このとき、ウィンドカットを使わないようにできます。



- [MENU] ボタンを押して、[カメラ 7] タブの [ウィンドカット] を選び、[Ⓢ] ボタンを押します (📖 41)。
- [切] を選びます (📖 41)。

アッテネーターを使う

大音響の環境で、音割れを軽減できます。ただし、静かな環境で録音したときは、音が小さくなります。



- [MENU] ボタンを押して、[カメラ 7] タブの [アッテネーター] を選び、[Ⓢ] ボタンを押します (📖 41)。
- 目的の項目を選びます (📖 41)。

■ ショートクリップ動画を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

数秒間の短編動画に、早送りやスローのほか、リプレイ再生などの効果をつけることができます。作成された動画は、ストーリーハイライト (📖 229) のアルバムの対象になります。

1 【📷】モードにする

- モードダイヤルを【📷】にします。
- 【📷】をタッチしたあと、【🎥】を選びます。
- [OK] をタッチして決定します。
- 画面上下に黒い帯が表示されます。この部分は撮影されません。



2 撮影時間と再生時の効果を設定する

- 【INFO】ボタンを押します。
- 【🕒】リングを回して撮影時間 (4 ~ 6 秒) を設定します。
- 【INFO】ボタンを押したあと、【🕒】リングを回して再生時の効果 (📖 123) を設定します。

3 撮影する (📖 119)

- 撮影時間に連動したバーが表示されます。

再生時の効果

▶▶ 2x	早送り再生されます。
▶ 1x	通常で再生されます。
⏮ 1/2x	スロー再生されます。
🔄	通常再生に続いて最後の 2 秒が早戻しされたあとスローで再生されます。

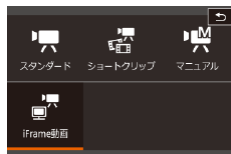


- 撮影された動画に音声は記録されません。
- 動画の画質は [4K 29.97P] (NTSC 時) または [4K 25.00P] (PAL 時) (80、81) に固定されます。
- [C] の撮影時には、撮影時間に連動したバーに最後の 2 秒の目安が表示されます。

■ iFrame 動画で撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

iFrame (アイフレーム) に対応したソフトウェアや機器での編集に適した動画が撮影できます。



1 [iFrame] を選ぶ

- モードダイヤルを [iFrame] にします。
- [iFrame] をタッチしたあと、[C] を選びます。
- [OK] をタッチして決定します。
- 画面上下に黒い帯が表示されます。この部分は撮影されません。

2 撮影する (80、81)



- iFrame とは、Apple 社が提唱する動画タイプです。
- 動画の画質は [4K 29.97P] (NTSC 時) または [4K 25.00P] (PAL 時) (80、81) に固定されます。

Pモード

撮影スタイルにあわせた、ワンランク上の画像を撮る



- モードダイヤルが **[P]** モードになっていることを前提に説明しています。
- **[P]** は、Program AE（プログラムエーイー）の略、AEは、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。
- この章で説明する機能を **[P]** モード以外で使うときは、それぞれの機能がどのモードで使えるか確認してください（📖353）。

プログラム AE で撮る ([P] モード)

▶ 静止画 ▶ 動画

いろいろな機能を自分好みに設定して撮影できます。



1 [P] モードにする

- モードダイヤルを **[P]** にします。

2 目的に応じて各機能を設定 (📖 127 ~ 📖 160) し、撮影する



- シャッターボタンを半押ししたときに適正露出が得られないと、シャッタースピードと絞り数値がオレンジ色で表示されます。ISO 感度を変えたり (📖 129)、被写体が暗いときにストロボを発光させる (📖 153) と、適正露出が得られることがあります。
- **[P]** モードでも、動画ボタンを押すと動画が撮影できます。ただし、**[Q]** メニュー (📖 39) や MENU (📖 41) の一部が動画撮影の設定にあわせて自動的に変わることがあります。

明るさ（露出）に関する機能を使う

明るさを変える（露出補正）

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラが決めた標準的な露出を 1/3 段ずつ、- 3 段から + 3 段の範囲で補正できます。



- 画面の表示を見ながら **[ⓘ]** リングを回して明るさを補正します。



- 撮影画面の下部に表示される露出補正アイコンをタッチして表示されるバーをタッチしたりドラッグするか、[-] か [+] をタッチしても設定することができます。

明るさ（露出）を固定する（AE ロック）

▶ 静止画 ▶ 動画

露出を固定して撮影したり、ピントと露出を個別に設定して撮影することもできます。



1 露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向けて **[✱]** をタッチします。
- **[✱]** が表示され、露出が固定されます。
- もう一度 **[✱]** をタッチすると、**[✱]** が消え解除されます。

2 構図を決めて撮影する



- AE は、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。
- 露出を固定したあとに [M] リングを回すと、シャッタースピードと絞り数値の組みあわせを変えることができます（プログラムシフト）。

測光方式を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンにあわせて、測光方式（明るさを測る特性）を変えられます。



- [M] ボタンを押して、メニュー項目の [M] を選び、目的の項目を選びます（[39](#)）。
- 設定した項目が表示されます。

評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。撮影シーンに応じて、被写体が常に適正露出になるように自動補正します。
中央部重点平均測光	画面中央部に重点をおいて、画面全体を平均的に測光します。
スポット測光	[]（スポット測光枠）の範囲のみを測光します。スポット測光枠は AF フレームに連動させることもできます（ 129 ）。

スポット測光枠を AF フレームに連動させる

▶ 静止画 ▶ 動画

1 [[・]] にする

- 「測光方式を変える」(128) の操作で [[・]] を選びます。



2 設定する

- [MENU] ボタンを押して、[CAM 6] タブの [スポット測光枠] を選び、[AF 枠連動] を選びます (41)。
- AF フレームを動かす (146) と、スポット測光枠も連動して移動します。



- [AF 方式] が [L + 追尾優先 AF] (147) のときは設定できません。

ISO 感度を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

ISO 感度が [AUTO] のときは撮影モードと撮影シーンに応じて自動設定されます。また、設定する ISO 感度の数値が大きいほど感度が高くなり、小さいほど感度が低くなります。



- [ISO] をタッチしたあと、[◀]か[▶]をタッチするか [ISO] リングを回して ISO 感度を選びます。
- 設定した項目が表示されます。



- ISO 感度が [AUTO] のときは、シャッターボタンを半押しすると自動設定された ISO 感度が表示されます。
- ISO 感度を低くすると粗さが目立たない画像になりますが、撮影シーンによっては被写体ブレや手ブレがおきやすくなることがあります。
- ISO 感度を高くするとシャッタースピードが速くなるため、被写体ブレや手ブレが軽減されたり、ストロボ撮影できる距離が長くなりますが、画像が粗くなります。
- MENU (41) の [5] タブの [ISO 感度設定] にある [ISO 感度] でも設定することができます。

ISO オートの設定を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

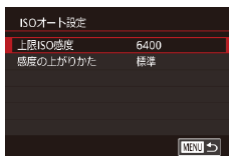
[AUTO] にしたときに自動設定される ISO 感度の上限を [400] ～ [12800] の範囲から選んだり、ISO 感度の上がりかたを 3 種類から選ぶことができます。

1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[5] タブの [ISO 感度設定] を選び、[SET] ボタンを押します (41)。
- [ISO オート設定] を選び、[SET] ボタンを押します。

2 設定する

- 設定するメニュー項目を選び、目的の内容を選びます (41)。



■ ノイズ低減の強さを変える（高感度時 NR）

ノイズ低減（Noise Reduction）の強さを「弱」「標準」「強」の3種類から選べます。特に高いISO感度で撮影するときには有効です。



- [MENU] ボタンを押して [📷 6] タブの「高感度時 NR」を選んだあと、目的の内容を選びます（📖 41）。

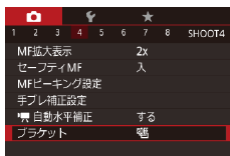


- RAW 画像を記録するとき（📖 159）は設定できません。

■ 露出を自動的に変えて撮る（AEB 撮影）

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラが自動的に露出を変えながら、標準露出、マイナス補正、プラス補正の順に3枚連続で撮影されます。補正量は標準露出を中心に1/3段ずつ、-2段から+2段の範囲で設定できます。



1 [📷] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して [📷 4] タブの「ブラケット」を選んだあと、[📷] を選びます（📖 41）。

2 設定する

- [INFO.] ボタンを押したあと、設定画面でバーの上をタッチしたりドラッグして値を選び設定します。





- [⚡] (📖 153) 以外では、AEB 撮影はできません。
- 連続撮影 (📖 68) はできません。



- 露出補正 (📖 127) をしているときは、設定している値が中心になります。
- 露出補正 (📖 127) の画面で、[INFO.] ボタンを押すと、手順 2 の設定画面を表示できます。
- [👁] (📖 66) で撮影枚数を設定しても、撮影される枚数は 3 枚です。
- [目つむり検出] (📖 84) は、最後に撮影した画像でのみ動作します。

ダイナミックレンジ補正 (D レンジ補正)

▶ 静止画 ▶ 動画

明るすぎて白トビしてしまう部分をおさえて撮影することができます。



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[📷 5] タブの [D レンジ補正] を選び、[SET] ボタンを押します (📖 41)。



2 設定する

- 目的の項目を選びます (📖 41)。
- 設定されると設定した項目が表示されます。

項目	内容	設定できる ISO 感度 ( 129)
	—	
	白トビがおさえられるよう自動補正します。	[AUTO]、 [125] ~ [12800]
	[ &Off] のときに対して、約 2 倍の明るさまで白トビがおさえられるよう自動補正します。	[AUTO]、 [250] ~ [6400]



- ISO 感度 ( 129) を「設定できる ISO 感度」以外に設定しているときは、範囲内の ISO 感度が変わります。

暗部補正

▶ 静止画 ▶ 動画

暗すぎて黒つぶれしてしまう部分がおさえられるよう自動補正して撮影することができます。



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[ 5] タブの「暗部補正」を選び、[&SET] ボタンを押します ( 41)。



2 設定する

- 項目の [&Auto] を選びます ( 41)。
- 設定されると [&Auto] が表示されます。

■ ND フィルターオートの設定を変える

ND フィルターオートのときは撮影シーンに応じて自動で光量を 1/8 に減少（3 段分）させて、適正な明るさにします。[ND] を選ぶとシャッタースピードを遅くしたり、絞り数値を小さくできます。



- [SET] ボタンを押して、メニュー項目の [ND] を選び、目的の項目を選びます (p.39)。
- 設定した項目が表示されます。



- [ND] を選んだときは、手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (p.85)。



- ND は、Neutral Density (ニュートラルデンシティー) の略です。

色に関する機能を使う

自然な色あいにする（ホワイトバランス）

▶ 静止画 ▶ 動画

ホワイトバランス（WB）は、撮影シーンにあわせて自然な色あいにする機能です。



- [] ボタンを押して、メニュー項目の [WB] を選び、目的の項目を選びます (39)。
- 設定した項目が表示されます。

 オート	撮影シーンに応じて自動設定
 太陽光	晴天の屋外
 日陰	日陰
 くもり	曇り空や薄暮
 電球	電球
 蛍光灯	白色蛍光灯
 蛍光灯 H	昼光色蛍光灯
 ストロボ	ストロボ使用時
 マニュアル	マニュアルホワイトバランス（手動設定） (136)

マニュアルホワイトバランス

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影場所の光源にあわせてホワイトバランスを変えて、撮影時の光源に適した色あいで撮影できます。撮影場所の光源のもとで設定してください。



- 「自然な色あいにする（ホワイトバランス）」（[135](#)）の操作で **[]** または **[]** を選びます。
- 画面いっぱいに白い無地の被写体が入るようにして、**[INFO]** ボタンを押します。
- 白データが取り込まれて設定されると、画面の色あいが変わります。



- 白データを取り込んだあとにカメラの設定を変えると、適切な色あいにないことがあります。



- 上記の画面で **[INFO]** をタッチすることでも白データを取り込みます。

ホワイトバランスを補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

ホワイトバランスを補正することができます。この機能を使うと、市販の色温度変換フィルターや色補正用フィルターと同じような効果を得ることができます。



1 設定する

- 「自然な色あいにする（ホワイトバランス）」（[135](#)）の操作で **[AWB]** を選びます。
- **[]** リングを回して B と A の補正量を調整します。
- 画面に **[WB]** が表示されます。



2 詳細な設定をする

- さらに詳細な設定をするときは、**[MENU]** ボタンを押し、**[i]** リングを回すか枠をタッチしたりドラッグして補正量を調整します。
- 補正量を戻すときは、**[INFO]** ボタンを押します。
- **[SET]** ボタンを押すと設定されます。



- 補正量を設定したあとに、「自然な色あいにする（ホワイトバランス）」（ 135）の操作でホワイトバランスの項目を変えても、補正量はそのまま保持されますが、マニュアルホワイトバランスで白データを取り込むと初期設定に戻ります。



- B はブルー、A はアンバー、M はマゼンタ、G はグリーンの意味です。
- ブルー／アンバー方向の 1 段は、色温度変換フィルターの約 7 ミレッドに相当します（ミレッド：色温度変換フィルターの濃度を表すときなどに使用される色温度の単位）。
- **MENU** (41) の **[CAMERA 6]** タブの **[WB 補正]** でも設定することができます。



- 手順 1 のバーや手順 2 の枠をタッチしたりドラッグして補正量を選ぶこともできます。
- 手順 1 の画面で **[MENU]** をタッチして手順 2 の画面を表示することができます。
- 手順 2 の画面で **[INFO]** をタッチして補正量を戻したり、**[MENU]** をタッチして撮影画面に戻ることができます。

画像の色調を変える（マイカラー）

▶ 静止画 ▶ 動画

通常の撮影画像とは違った印象の画像にしたり、セピア調や白黒画像に変えることができます。



- [Off] ボタンを押して、メニュー項目の [Av] を選び、目的の項目を選びます (p.39)。
- 設定した項目が表示されます。

Off マイカラー切	—
Av くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした印象の色調になります。
AN すっきりカラー	コントラストと色の濃さをおさえ、すっきりとした印象の色調になります。
Se セピア	セピア調になります。
BW 白黒	白黒になります。
Ap ポジフィルムカラー	「あざやかブルー」、「あざやかグリーン」、「あざやかレッド」の効果をあわせたもので、ポジフィルムのように自然で色鮮やかになります。
AL 色白肌	人の肌が色白になります。
AD 褐色肌	人の肌が褐色になります。
AB あざやかブルー	青色を強調します。空や海などがより鮮やかになります。
AG あざやかグリーン	緑色を強調します。山や草花などがより鮮やかになります。
AR あざやかレッド	赤色を強調します。赤い被写体がより鮮やかになります。
Ac カスタムカラー	画像の色調を自分好みに設定できます (p.139)。



- [A_{se}] [A_W] では、ホワイトバランス (135) は設定できません。
- [A_L] [A_D] では、人の肌の色以外が変わることがあります。また、肌の色によっては、思いどおりの色にならないことがあります。

カスタムカラー

▶ 静止画 ▶ 動画

画像のコントラスト (明暗差)、シャープネス (鮮鋭度)、色の濃さ、赤、緑、青、肌色を、それぞれ 5 段階から選んで設定できます。

1 設定画面を表示する

- 「画像の色調を変える (マイカラー)」 (138) の操作で [A_C] を選び、[INFO.] ボタンを押します。



2 設定する

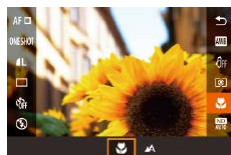
- [◀] か [▶] をタッチして項目を選び、[環] リングを回して値を設定します。
- 設定値が右側に行くほど強く／濃く／褐色 (肌色) になり、左に行くほど弱く／薄く／色白 (肌色) になります。
- [INFO.] ボタンを押すと設定されます。

撮影範囲やピント合わせに関する機能を使う

■ 近くの被写体を撮る（マクロ撮影）

▶ 静止画 ▶ 動画

【🌻】に設定すると、近いものだけにピントを合わせます。ピントが合う範囲は「撮影距離」（📖389）を参照してください。



- 【🔍/SET】 ボタンを押して、メニュー項目の 【📐】 を選び、項目の 【🌻】 を選びます（📖39）。
- 設定されると 【🌻】 が表示されます。



- ストロボが発光すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。



- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラを固定し、【📷】で撮影することをおすすめします（📖65）。

■ マニュアルフォーカスで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

オートフォーカスでピントが合わないときは、マニュアルフォーカスを使います。手動でおおよそのピントを合わせてからシャッターボタンを半押しすると、手動で合わせたピント位置の近傍で、もっともピントの合う位置に微調整されます。ピントが合う範囲は「撮影距離」(389) を参照してください。



1 [MF] を選ぶ

- [AF] をタッチします。
- [MF] と MF インジケーターが表示されます。



(1)

2 おおよそのピントを合わせる

- MF インジケーター (1) の距離表示とピント位置を示すバーを目安にして、拡大表示を見ながら、[▲] か [▼] をタッチしておおよそのピントを合わせ、[SET] ボタンを押します。
- [INFO] ボタンを押すと、拡大倍率を変えることができます。
- 拡大表示しているときに画面をドラッグすると、ピント合わせのフレーム位置を移動することができます。

3 ピントを微調整する

- シャッターボタンを半押しするか、[AF] をタッチすると、もっともピントが合う位置に微調整されます (セーフティ MF)。
- 解除するときは、[MF] をタッチします。



- マニュアルフォーカス中は、AF 方式 (📖 144) は [1 点 AF] 固定、AF フレームの大きさ (📖 146) は [標準] 固定になります。
- デジタルズーム (📖 62)、デジタルテレコンバーター (📖 144) を使用しているとき、テレビに表示しているとき (📖 313) は拡大表示されませんが、ピント合わせはできます。



- 正確なピント合わせを行うには、三脚などでカメラを固定することをおすすめします。
- MENU (📖 41) で [📷 4] タブの [MF 拡大表示] で拡大倍率をさらに大きくしたり、拡大表示しないようにすることもできます。
- MENU (📖 41) で [📷 4] タブの [セーフティ MF] で [切] を選ぶと、シャッターボタンを半押ししてもピントが微調整されなくなります。

ピント合わせをしやすい表示にする (MF ピーキング)

▶ 静止画 ▶ 動画

ピントが合った被写体の輪郭を色つきの強調表示にすることで、マニュアルフォーカス時のピント合わせをしやすくすることができます。また、輪郭の検出感度 (レベル) や色を変えることもできます。



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[📷 4] タブの [MF ピーキング設定] を選んだあと、[ピーキング] を選び、[入] を選びます (📖 41)。

2 設定する

- 設定するメニュー項目を選び、目的の項目を選びます (📖 41)。

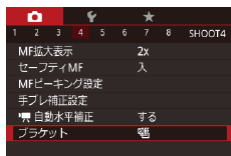


- MF ピーキングで表示した色は画像に記録されません。

ピント位置を自動的に変えて撮る(フォーカスブラケット撮影)

▶ 静止画 ▶ 動画

マニュアルフォーカスで設定したピント位置、後ろ寄りのピント位置、前寄りのピント位置の順に、3枚連続で撮影されます。また、ピント位置は3段階で設定できます。



1 [MENU] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[CAMERA 4] タブの [ブラケット] を選び、[MENU] を選びます (p.41)。



2 設定する

- [INFO] ボタンを押したあと、設定画面でバーの上をタッチしたりドラッグして値を選び設定します。



- [CAMERA 4] (p.153) 以外では、フォーカスブラケット撮影はできません。
- 連続撮影 (p.68) はできません。



- 「マニュアルフォーカスで撮る」の手順2 (p.141) で [MENU] ボタンを押すと、手順2の設定画面を表示できます。
- [CAMERA 4] (p.66) で撮影枚数を設定しても、撮影される枚数は3枚です。
- [目つぶり検出] (p.84) は、最後に撮影した画像でのみ動作します。



- 手順2の画面でバーの上をタッチしたりドラッグして値を選び、[MENU] をタッチすることでも設定できます。

■ デジタルテレコンバーターを使う

▶ 静止画 ▶ 動画

レンズの焦点距離を 1.6 倍 / 2.0 倍にできます。ズーム操作（デジタルズーム含む）で同じ倍率に拡大したときよりも、シャッタースピードが速くなるため手ブレを軽減できます。



- [MENU] ボタンを押して、[CAMERA 2] タブの [デジタルズーム] を選んだあと、目的の内容を選びます (41)。
- 画面が拡大表示されて、倍率が表示されます。



- ズームレバーを [AF-ON] 側に押してもっとも望遠側にしたときのシャッタースピードは、「被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）」の手順 2 (62) の操作で被写体を同じような大きさに拡大したときのシャッタースピードと同じになることがあります。

■ AF 方式を選ぶ

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンにあわせて、AF（自動ピント合わせ）の方法を変えられます。



- [MENU] ボタンを押して、メニュー項目の [AF ON] を選び、目的の項目を選びます (39)。



- MENU (41) の [CAMERA 3] タブの [AF 方式] でも設定できます。

1 点 AF

▶ 静止画 ▶ 動画

1 点のフレームでピント合わせを行います。確実なピント合わせに有効です。また、画面をタッチして枠の位置を変えることができます(📖151)。



- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、黄色の AF フレームと [!] が表示されます。



- 被写体が画像の端や隅にくるように撮影するときは、被写体に AF フレームをあわせてシャッターボタンを半押しし、この状態で構図を変えてシャッターボタンを全押しして撮影します(フォーカスロック撮影)。
- [ピント位置拡大] (📖83) を [入] にしているときは、シャッターボタンを半押ししてピントが合うと、AF フレームの位置が拡大して表示されます。

AF フレームの位置や大きさを変える (1 点 AF)

▶ 静止画 ▶ 動画

AF 方式が [1 点 AF] のときは、AF フレームの位置や大きさを変えることができます。



1 AF フレームの位置を変える

- 画面をタッチすると、タッチした位置に AF フレームがオレンジ色で表示されます (タッチ AF)。
- [MENU] ボタンを押すと、AF フレームがもとの位置 (中央) に戻ります。

2 AF フレームの大きさを変える

- [ZOOM] リングを回すと、AF フレームが小さくなり、もう一度回すともとの大きさに戻ります。

3 設定を終える

- [INFO] ボタンを押します。



- デジタルズーム (📖 62) やデジタルテレコンバーター (📖 144) 使用時、マニュアルフォーカス (📖 141) の時は、AF フレームの大きさは標準の大きさになります。



- スポット測光枠の位置を AF フレームに連動させることができます (📖 129)。
- AF フレームの大きさは、[MENU] ボタンを押して [📷 3] タブの [AF フレームサイズ] で設定することもできます (📖 41)。



- 手順 2 の画面では、画面をタッチして AF フレームの位置を変えたり、**[MENU]** をタッチして AF フレームをもとの位置に戻したり、**[INFO]** をタッチして設定を終えることもできます。

㊦+ 追尾優先 AF

▶ 静止画 ▶ 動画

- 人の顔を検出して、ピント、露出（評価測光時のみ）、色あい（**[AWB]** 時のみ）を合わせます。
- カメラを被写体に向けると、主被写体と判断した顔に白のフレーム、他の顔には最大 2 つの灰色のフレームが表示されます。
- 検出した顔が動いていると判別したときは、一定の範囲で追尾します。
- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った顔には緑色のフレーム（最大 9 個）が表示されます。



- 顔が検出されないときや、白のフレームが表示されず灰色のフレームのみが表示されたときは、シャッターボタンを半押しすると、ピントの合った位置に緑色のフレームが表示されます。なお、縦横比（**[77]**）の設定によって、フレームの最大表示数は変わります。
- サーボ AF（**[148]**）にしている、顔が検出されないときに、シャッターボタンを半押しすると中央にフレームが表示されます。
- 顔として検出できない例
 - 被写体までの距離が遠い、または極端に近い。
 - 被写体が暗い、または明るい。
 - 顔が横や斜めを向いている、または一部が隠れている。
- 人の顔以外を誤って検出することがあります。
- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、AF フレームは表示されません。

サーボ AF で撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを半押ししている間は被写体にピントと露出を合わせ続けるため、動いている被写体のシャッターチャンス逃さずに撮影できます。



1 設定する

- ボタンを押して、メニュー項目の [ONE SHOT] を選び、[SERVO] を選びます。

2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押ししている間、青色で AF フレームが表示され、ピントと露出を合わせ続けます。



- 撮影シーンによっては、ピントが合わなくなることがあります。
- 暗い場所では、シャッターボタンを半押ししても AF フレームが青色にならないことがあります。そのときは、設定している AF 方式でピントと露出を合わせます。
- サーボ AF に設定すると、連続撮影 (📖 68) するときの撮影速度が遅くなります。
- 適正露出が得られなくなると、シャッタースピードと絞り数値がオレンジ色で表示されます。いったんシャッターボタンから指を放して、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。
- AF ロック撮影はできません。
- MENU (📖 41) の [3] タブの [ピント位置拡大] は設定できません。
- セルフタイマー (📖 64) 使用時は設定できません。
- セルフタイマー (📖 64) を [] 以外に設定すると [ONE SHOT] 固定になります。



- [AF 方式] が [1 点 AF] のときは、サーボ AF に設定すると、ピントを合わせ続けながら連続撮影 (68) ができます。
- MENU (41) の [3] タブの [AF 動作] でも設定できます。

フォーカス設定を切り換える

▶ 静止画 ▶ 動画

通常は、シャッターボタンを押さなくても、カメラを向けた方向の被写体へ常にピントを合わせますが、シャッターボタンを半押ししたときだけ、ピントを合わせるようにすることができます。



- [MENU] ボタンを押して、[3] タブの [コンティニュアス AF] を選び、[切] を選びます (41)。

入	シャッターボタンを半押しするまで常にピントを合わせ続けるので、とっさのシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。
切	通常はピント合わせを行わないため、消費電力をおさえることができます。

■ ピントを合わせたい人を選んで撮る（顔セレクト）

▶ 静止画 ▶ 動画

特定の人の顔を選んでピントを合わせ、撮影できます。



1 AF方式を「[D] + 追尾優先 AF」にする (144)

2 動画ボタンに「[D]」を登録する (175)

3 顔セレクトモードにする

- カメラを人に向け、動画ボタンを押します。
- 「顔セレクト：入」が表示されたあと、主被写体として検出された顔に「[D]」が表示されます。
- 「[D]」は、人が動いても一定の範囲で追尾します。
- 顔が検出されないと「[D]」は表示されません。

4 ピントを合わせたい顔を選ぶ

- 動画ボタンを押すと、検出された別の顔に「[D]」が移動します。
- 検出された顔を一巡すると「顔セレクト：切」が表示され、設定している AF 方式の画面に戻ります。

5 撮影する

- シャッターボタンを半押ししてピントが合うと、「[D]」が「[D]」に変わります。
- シャッターボタンを全押しして撮影します。





- [個人認証] を [入] にして、登録されている人の顔が検出されていてもほかの顔を選んでいると名前は表示されませんが、撮影した静止画には記録されます (P.70)。

ピントを合わせたい被写体を選んで撮る (タッチ AF)

▶ 静止画 ▶ 動画

目的の人の顔や被写体を選んでピントを合わせ、撮影できます。



1 AF 方式を [「 + 追尾優先 AF」] にする (P.144)

2 ピントを合わせたい顔または被写体を選ぶ

- 画面上の人や被写体にタッチします。
- 被写体として認識すると電子音が鳴り、 が表示されます (動いていてもピントを合わせ続けます)。
- 解除するときは、 をタッチします。



3 撮影する

- シャッターボタンを半押ししてピントが合うと、 が緑色の に変わります。
- シャッターボタンを全押しして撮影します。



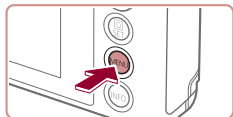


- タッチすると撮影されるときは、画面の [📷] をタッチして [OFF] にする (📖 67) か、MENU (📖 41) の [📷 2] タブの [タッチシャッター] を [しない] にします。
- 被写体が小さすぎたり動きが速いときや、被写体と背景との明暗差が小さいときは、追尾できないことがあります。
- [📷] に設定しても (📖 140)、ピントを合わせる位置を指定すると、[▲] に戻ります。
- [個人認証] を [入] にして、登録されている人の顔が検出されたときは、名前は表示されませんが、撮影した静止画には記録されます (📖 70)。ただし、被写体として指定した人が検出された人のときは名前が表示されます。

■ AF ロックで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

ピントを固定できます。固定後はシャッターボタンから指を放しても、ピント位置は固定されたままになります。



1 ピントを合わせて固定する

- シャッターボタンを半押ししたまま、[MENU] ボタンを押します。
- ピントが固定され、[MF] と MF インジケーターが表示されます。
- シャッターボタンから指を放して [MF] をタッチすると解除されます。

2 構図を決めて撮影する



- タッチシャッター機能 (📖 67) と一緒に使えません。

ストロボに関する機能を使う

■ ストロボモードを変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンにあわせて、ストロボモードを変えられます。ストロボ撮影できる範囲は、「カメラ」(P386)を参照してください。

1 ストロボを上げる

- [⚡] スイッチを動かします。



2 設定する

- [(Q/SET)] ボタンを押して、メニュー項目の [⚡^A] を選び、目的の項目を選びます。
- 設定した項目が表示されます。



- ストロボがカメラに収納されていると、[(Q/SET)] ボタンを押してもメニュー項目の [⚡^A] は表示されません。[⚡] スイッチを動かしてストロボを上げて操作してください。
- ストロボが発光すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。

オート

暗いところでは自動的にストロボが光ります。

常時発光

ストロボを常に発光させて撮影できます。

スローシンクロ

人などの主被写体は、ストロボが発光することで明るく撮影され、ストロボの光が届かない背景は、シャッタースピードを遅くすることで暗くなるのを軽減することができます。



- [⚡] では、手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (85)。
- [⚡] では、ストロボが光っても、シャッター音が鳴り終わるまでは主被写体が動かないようにしてください。

発光禁止

ストロボを光らせないで撮影することができます。



- 手ブレしやすい暗い場所でシャッターボタンを半押しすると、画面に [Q] が点滅表示されることがあります。そのときはカメラが動かないよう三脚などで固定してください。



- [⚡A] をタッチしたあと、設定したい項目をタッチして選び、もう一度タッチすることでも設定できます。

■ ストロボの調光量を補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボ撮影時の露出を露出補正 (127) と同様に、1/3 段ずつ、- 2 段から + 2 段の範囲で補正できます。



- ストロボを上げて [] ボタンを押して、メニュー項目の [] を選んだあと、[] リングを回して補正量を選び、[] ボタンを押します。



- ストロボ発光時に、露出オーバーで適正露出が得られないときは、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変わって白トビを軽減し、適正露出で撮影できます。ただし、MENU (41) の [5] タブの [ストロボ設定] で [セーフティ FE] を [切] に設定すると、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変わらなくなります。
- ストロボ調光補正は、MENU (41) の [5] タブの [ストロボ設定] にある [調光補正] でも設定することができます。
- MENU (41) の [内蔵ストロボ設定] 画面は、次の方法でも表示できます。
 - ストロボを上げているときに [] ボタンを押して、メニュー項目の [] を選んだあと、[MENU] ボタンを押す。

■ FE ロックで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボ撮影時の露出を、AE ロック撮影 (127) と同様に固定できます。

1 ストロボを上げて [⚡] にする (153)



2 ストロボ露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向けて [✱] をタッチします。
- ストロボが発光し、[✱] が表示され、ストロボ発光量が記憶されます。
- もう一度 [✱] をタッチすると、[✱] が消え解除されます。

3 構図を決めて撮影する

- 1 枚撮影すると、[✱] が消え解除されます。



- FE は、Flash Exposure (フラッシュエクスポージャー) の略でストロボ露出のことです。

ストロボ発光のタイミングを変える

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボ発光とシャッターのタイミングを変えることができます。

1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[5] タブの「ストロボ設定」を選び、[] ボタンを押します (📖 41)。



2 設定する

- 「シンクロ設定」を選んでから、目的の項目を選びます (📖 41)。

先幕	撮影開始直後にストロボが発光します。
後幕	撮影終了直前にストロボが発光します。

記録画質を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の記録画素数（大きさ）と画質（圧縮率）を、8種類の組み合わせから選べます。また、RAW 画像（[📖 159](#)）を記録するかどうかも設定できます。それぞれの記録画質で 1 枚のカードに撮影できる枚数については「1 枚のカードに撮影できる枚数」（[📖 389](#)）を参照してください。



- 「記録画質を変える」（[📖 78](#)）の操作で設定します。



- [S/L] [L] は、圧縮率による画質の違いを表しています。同じ記録画素数のときは、[S/L] の方が高画質です。[L] では画質が少し落ちますが、記録枚数を多くできます。

RAW 画像を記録する

このカメラでは、JPEG 画像と RAW 画像を記録できます。

JPEG 画像	最適な画質になるようカメラ内で画像処理を行い、ファイルサイズを圧縮して記録されています。非可逆圧縮方式のため、「生データ」の状態には戻せません。また、画像処理を行うと画質が劣化することがあります。
RAW 画像	カメラ内での画像処理による劣化がほとんどない「生データ」です。そのままの状態ではパソコンで見たり印刷したりできないため、ソフトウェア「Digital Photo Professional」(320) を使って一般的な JPEG 画像や TIFF 画像に変換（現像）する必要があります。また、現像時に画質劣化を最小限におさえた画像調整を行うことができます。



- **[Q/SET]** ボタンを押して、メニュー項目の **[RAW]** を選びます (39)。
- RAW 画像だけを記録するときは、内容で **[RAW]** を選びます。
- JPEG 画像と RAW 画像を同時に記録するときは、内容で JPEG の記録画質を選んだあと、**[INFO.]** ボタンを押して **[RAW]** に **[✓]** を付けます。元に戻すときは、同じ手順で **[RAW]** の **[✓]** を外します。



- RAW 画像や同時に記録された JPEG 画像をパソコンに取り込むときは、必ず専用のソフトウェア (320) をお使いください。
- RAW 画像を記録するときは、デジタルズーム (62) は **[切]** 固定になります。また、ノイズ低減の強さ (131)、ダイナミックレンジ補正 (132)、暗部補正 (133)、マイカラー (138) は設定できません。



- 記録画素数や撮影できる枚数については、「1枚のカードに撮影できる枚数」(P.389)を参照してください。
- JPEG 画像の拡張子は「.JPG」、RAW 画像の拡張子は「.CR2」です。

メニューから操作する



- [MENU] ボタンを押して、[CAMERA 1] タブの [記録画質] を選び、[SET] ボタンを押します (P.41)。
- [RAW 画像設定] で [RAW] を選ぶと RAW 画像も同時記録されます。[-] を選ぶと JPEG 画像だけを記録する設定になります。
- [JPEG 画像設定] で記録画素数と圧縮率を選びます。[-] を選ぶと、RAW 画像だけを記録する設定になります。
- [SET] ボタンを押すと設定されてメニュー画面に戻ります。



- [RAW 画像設定] と [JPEG 画像設定] の両方を同時に [-] に設定することはできません。

■ 手ブレ補正の設定を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

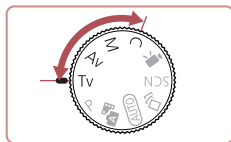
撮影される瞬間のみ手ブレを補正するように設定できます。



- 「手ブレ補正を使わないようにする」(P.85) の操作で [撮影時] を選びます。

Tv、Av、M、Cモード

作画を意図したハイレベルな静止画を撮ったり、撮影スタイルにあわせてカメラをカスタマイズする



- それぞれのモードになっていることを前提に説明しています。

シャッタースピードを決めて撮る ([Tv] モード)

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッタースピードを目的の値に設定して撮影できます。設定したシャッタースピードに応じて、カメラが自動的に絞り数値を設定します。設定できるシャッタースピードは「カメラ」(書386)を参照してください。

1 [Tv] モードにする

- モードダイヤルを **[Tv]** にします。



2 シャッタースピードを設定する

- **[]** リングを回してシャッタースピードを設定します。

シャッタースピード (秒)	設定できる ISO 感度 (書129)
30 ~ 1.3	[AUTO]、[125] ~ [3200]
1 ~ 1/2000	[AUTO]、[125] ~ [12800]



- シャッタースピードが遅いときなど撮影条件によっては、撮影後にノイズ低減処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。
- シャッタースピードを遅くしたときに三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (書85)。
- シャッターボタンを半押ししたときに絞り数値がオレンジ色で表示されるときは、適正露出から外れています。絞り数値が白字で表示されるまで、シャッタースピードを変えます (セーフティシフトも使えます (書163))。



- **[Tv]** は、Time value (タイムバリュー) の略で時間量のことです。

絞り数値を決めて撮る（[Av] モード）

▶ 静止画 ▶ 動画

絞り数値を目的の値に設定して撮影できます。設定した絞り数値に応じて、カメラが自動的にシャッタースピードを設定します。

設定できる絞り数値は「カメラ」（386）を参照してください。

1 [Av] モードにする

- モードダイヤルを **[Av]** にします。

2 絞り数値を設定する

- リングを回して絞り数値を設定します。



- シャッターボタンを半押ししたときにシャッタースピードがオレンジ色で表示されるときは、適正露出から外れています。シャッタースピードが白字で表示されるまで、絞り数値を変えます（セーフティシフトも使えます（下記））。



- **[Av]** は、Aperture value（アパーチャーバリュー）の略でレンズの中に入っている「絞り」の開口量のことです。
- **[Tv]**、**[Av]** モードのとき、**[MENU]** ボタンを押して、 **6** タブの **[セーフティシフト]** を **[入]** にする（41）と、適正露出が得られないときでも、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変更されて、適正露出で撮影できます。ただし、ストロボ発光時は機能しません。

シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る ([M] モード)

▶ 静止画 ▶ 動画

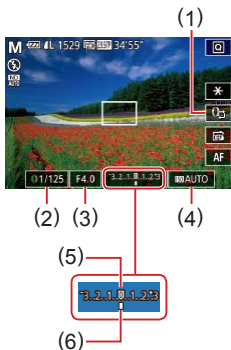
シャッタースピードと絞り数値を個別に設定して、目的の露出で撮影できます。

設定できるシャッタースピードや絞り数値は「カメラ」(📖386)を参照してください。

1 [M] モードにする

- モードダイヤルを「**M**」にします。

2 設定する



- **[1/]** (1) をタッチして、シャッタースピード (2)、絞り数値 (3)、**[ISO AUTO]** (4) を選び、**[1/]** リングを回して設定します。
- ISO 感度を固定しているときは、設定した値に連動して、露出レベルマーク (6) が移動し、標準露出 (5) からの差が確認できます。標準露出からの差が 3 段を越えると、露出レベルマークが **[◀]** または **[▶]** になります。
- ISO 感度が **[AUTO]** のときは、シャッターボタンを半押しすると ISO 感度が決まって画面の明るさが変わります。設定したシャッタースピードと絞り数値で標準露出を得られないときは、ISO 感度がオレンジ色で表示されます。

シャッタースピード (秒)	設定できる ISO 感度 (📖 129)
[BULB]、30 ~ 1.3	[AUTO]、[125] ~ [3200]
1 ~ 1/2000	[AUTO]、[125] ~ [12800]



- 設定後にズーム操作をしたり構図を変えると、露出レベルマークが移動することがあります。
- シャッタースピードと絞り数値の設定により、画面の明るさが変わります。ただし、ストロボを上げてストロボモードを[⚡]にすると画面の明るさは変わりません。



- **[M]** は、Manual（マニュアル）の略です。
- 適正露出は設定している測光方式（ 128）で算出されます。
- ISO 感度を[AUTO]に設定しているときは次の操作が行えます。
 -  を何度かタッチして露出補正バーを選び、 リングを回して露出を補正する。
 -  をタッチすると、ISO 感度が固定されて画面の明るさが変わる。

長時間露光（バルブ）撮影

バルブ撮影は、シャッターボタンを押している間だけ露光を行う機能です。

1 バルブ撮影に設定する

- 「シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る（[M] モード）」（ 164）の手順 1～3 の操作で、シャッタースピードを [BULB] に設定します。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、露光します。露光中は、露光経過時間が表示されます。



- 連続撮影できる時間は 4 分 16 秒です。
- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正の機能を使わず撮影することをおすすめします（ 85）。



- [タッチシャッター] を [する] に設定しているときは、画面をタッチすると撮影が始まり、もう一度タッチすると撮影が終了します。タッチするときにカメラが動かないように注意してください。

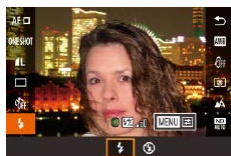
ストロボ発光量を設定する

▶ 静止画 ▶ 動画

[Tv] [Av] [M] モードでは、ストロボの発光量を 3 段階から選べます。

1 発光モードを設定する

- [MENU] ボタンを押して、[5] タブの [ストロボ設定] を選んだあと、[発光モード] の [マニュアル] を選びます。



2 設定する

- ストロボを上げて [] ボタンを押して、メニュー項目の [] を選んだあと、[] リングを回して発光量を選び、[] ボタンを押します。
- 設定されると発光量が表示されます。
 : 小、 : 中、 : 大



- ストロボ発光量は、MENU (41) の [5] タブの [ストロボ設定] にある [発光量] でも設定することができます。
- MENU (41) の [ストロボ設定] 画面は、次の方法でも表示できます。
 - ストロボを上げているときに、[] ボタンを押して、メニュー項目の [] を選んだあと、[MENU] ボタンを押す。

シャッタースピードと絞り数値を決めて動画を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッタースピード、絞り数値、露出、ISO 感度を個別に設定して撮影できます。

設定できるシャッタースピードや絞り数値は「カメラ」(386)、ISO 感度は「ISO 感度を変える」(129) を参照してください。

1 [P] モードにする

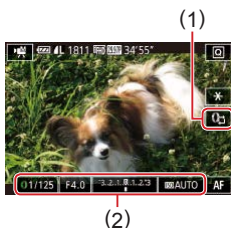
- モードダイヤルを [P] にします。
- [P] をタッチしたあと、[P] を選びます。
- [OK] をタッチして決定します。

2 設定する

- [P] (1) をタッチして、設定する項目 (2) を選んだあと、[P] リングを回して設定します。

3 撮影する

- 動画ボタンを押します。
- 撮影中は、[P] をタッチするたびに設定する項目が切り換わり、[P] リングを回して値を変えることができます。



- 蛍光灯や LED などの照明下で撮影しているとき、設定したシャッタースピードによっては、画面のちらつきが記録されることがあります。



- ISO 感度が [AUTO] のときは、 を何度かタッチして露出補正バーを選び、 リングを回して露出を補正することもできます。
- ISO 感度を固定しているときは、設定した値に連動して、露出レベルマークが移動し、標準露出からの差が確認できます。標準露出からの差が3段を越えると、露出レベルマークが または になります。
- ISO 感度が [AUTO] のときは、シャッターボタンを半押しすると ISO 感度を確認できます。設定したシャッタースピードと絞り数値で標準露出を得られないときは、ISO 感度がオレンジ色で表示されます。



- 撮影中に [AF] をタッチすると [MF] と表示され、 か をタッチするとピント位置が調整できます。

撮影スタイルにあわせてカメラをカスタマイズする

■ コントローラーリングの機能を切り換えながら設定する

▶ 静止画 ▶ 動画

画面をタッチして設定する機能を切り換えながら、コントローラーリングを回すことで、ISO 感度、露出補正、シャッタースピード、絞り数値を素早く設定できます。



- **[ISO]** をタッチして項目を切り換えたあと、**[L/R]** リングを回して値を設定します。



設定できる項目は、撮影モードによって変わります。

M	Av	Tv	P
Tv Av + / - ISO	Av + / - ISO	Tv + / - ISO	+ / - ISO

- + / - : 露出補正 (📖 127)、ISO : ISO 感度 (📖 129)、Tv : シャッタースピード (📖 162)、Av : 絞り数値 (📖 163)

■ コントローラーリングの設定を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

コントローラーリングに割り当てる機能を変えることができます。コントローラーリング操作によって、マニュアルカメラのような操作感を楽しめます。



1 【MENU】 リングに割り当てる機能を選ぶ

- 【MENU】 ボタンを押して、[CAMERA 2] の【コントローラーリング設定】を選んだあと、【OK】で切り換えで項目の【しない】を選びます。
- 【機能の登録】を選びます。

2 割り当てた機能を設定する

- 項目をタッチして、【SET】 ボタンを押します。

コントローラーリングに割り当てられる機能

コントローラーリングに割り当てられる機能は、撮影モードによって変わります。

項目	撮影モード			
	M 	Av	Tv	P
Av	Av	—	—	—
Tv	Tv	—	—	—
STD	—	Av	Tv	+ / —
ISO	—	ISO 感度を変えられます (📖 129)。		
	—	露出を補正できます (📖 127)。		
WB +/-	—	ホワイトバランスを補正できます (📖 136)。		
ZOOM	—	ステップズームができます (📖 63)。		
	—	ダイナミックレンジ補正を設定できます (📖 132)。		
	—	暗部補正を設定できます (📖 133)。		
	—	縦横比を変えられます (📖 77)。		
C	—	割り当てる機能を自分好みに登録できます (📖 173)。		

- + / —：露出補正 (📖 127)、Tv：シャッタースピード (📖 162)、Av：絞り数値 (📖 163)



- **[AUTO]**、 のときは、 リングでステップズーム操作 (📖 63) ができます。

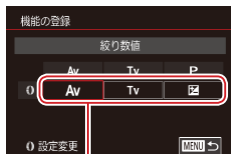
コントローラーリングに機能を登録する

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影モードごとに、コントローラーリングに割り当てる機能を登録できます。

1 [C] を選ぶ

- 「コントローラーリングの設定を変える」の手順 1 (171) の操作で [C] を選び、[INFO.] ボタンを押します。



(1)

2 設定する

- 設定する撮影モードをタッチして選びます。
- [C] リングを回して、コントローラーリングに登録する機能 (1) を選びます。
- [MENU] ボタンを押して撮影画面に戻ります。

情報の表示内容を設定する

撮影画面で [INFO] ボタンを押したときに切り換える画面を設定します。表示する情報をカスタマイズすることもできます。

1 設定画面を表示する

- [📷 1] タブの [撮影情報表示設定] にある [モニター情報表示カスタマイズ] を選び、[ⓘ] ボタンを押します (📖 41)。



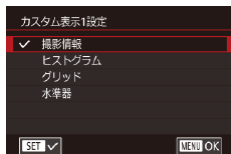
2 設定する

- 表示させない画面表示をタッチして [✓] を外します。もう一度タッチすると [✓] が付いて表示されるようになります。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



- 手順 2 で画面表示を選んだとき、画面の左側で表示イメージを確認できます。
- すべての [✓] をはずすことはできません。

表示する情報をカスタマイズする



- 「情報の表示内容を設定する」(174)の手順 1 ～ 2 の操作で[カスタム表示 1] または [カスタム表示 2] を選び、[INFO.] ボタンを押します。
- 表示させる情報表示をタッチして [✓] を付けます。
- [MENU] ボタンを押して [モニター情報表示カスタマイズ] 画面に戻ると、表示イメージを確認できます。

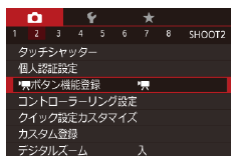


- [カメラ 1] タブの [撮影情報表示設定] にある [グリッド] で、より細かいグリッドに変えることができます。

動画ボタンによく使う機能を登録する

▶ 静止画 ▶ 動画

動画ボタンによく使う機能を登録しておくと、素早くかんたんに呼び出すことができます。



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[カメラ 2] タブの [動画ボタン機能登録] を選び、[SET] ボタンを押します (41)。

2 設定する

- 登録する項目をタッチして選び、[SET] ボタンを押します。





- 動画ボタンを初期状態に戻すときは、 を選びます。
- アイコン右下の は、設定している撮影モードや設定している機能の状態では使えないことを示しています。
- では、AF 方式が [1 点 AF] のときに動画ボタンを押すと AF フレームの位置や大きさを変えることができます (📖 145、📖 146)。
- では、動画ボタンを押すたびに白データの取り込みが行われ (📖 136)、ホワイトバランスも に設定されます。
- [AFL] では、動画ボタンを押すたびにピント位置が調整されたあと固定され、画面に [AFL] が表示されます。
- では、動画ボタンを押すと画面の表示が消えます。次のいずれかの操作で復帰します。
 - 電源ボタン以外のボタンを押す
 - カメラの縦・横の向きを変える
 - ストロボを開閉する
- 動画ボタンに機能を登録していても、 モードにすると、動画を撮影することができます。



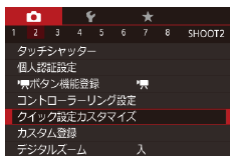
- 設定したい項目をタッチし、同じ項目をもう一度タッチするか **[SET]** をタッチすることでも設定できます。

クイック設定メニューの表示を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

クイック設定メニューで表示するメニュー項目を自分好みに変えることができます。

表示するメニュー項目を選ぶ



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[カメラ 2] タブの[クイック設定カスタマイズ]を選び、[設定] ボタンを押します (41)。



2 表示するアイコンを選ぶ

- アイコンをタッチして、クイックメニューに表示させたいアイコンに [✓] を付けます。
- [✓] のある項目が表示されるようになります。
- [✓] のない機能は、メニュー画面の [カメラ] タブで設定します。

3 設定する

- [MENU] ボタンを押したあと、[OK] をタッチします。



- 表示できる項目は最大 11 個です。
- クイックメニューが表示されているときに [設定] ボタンを押したままにしても、手順 2 の画面を表示することができます。

メニュー項目の表示順を変える



1 設定画面を表示する

- 「表示するメニュー項目を選ぶ」の手順2 (177) の画面で [INFO.] ボタンを押します。
- 入れ換えたいアイコンをドラッグして、入れたい場所で指を放します。

2 設定する

- [MENU] ボタンを押したあと、[OK] をタッチします。

撮影の設定を登録する

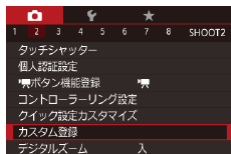
▶ 静止画 ▶ 動画

よく使う撮影モードと、自分好みに設定した各機能の設定を登録することができます。登録された設定へは、モードダイヤルを[C]にするだけで、切り換えることができます。また、撮影モードを切り換えたり、電源を切ったりすると解除されてしまう設定（セルフタイマーなど）も記憶します。

登録できる設定

- 撮影モード ([P] [Tv] [Av] [M])
- [P] [Tv] [Av] [M] モードで設定できる項目 (📖 127 ~ 164)
- 撮影メニューの設定内容
- ズーム位置
- マニュアルフォーカス位置 (📖 141)
- マイメニューの設定内容 (📖 180)

1 登録したい撮影モードにして、各種機能を設定する

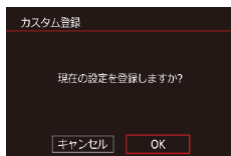


2 設定する

- [MENU] ボタンを押して、[📷 2] タブの「カスタム登録」を選び、[Ⓜ SET] ボタンを押します。

3 登録する

- [OK] をタッチします。





- 一度登録した、設定の一部（撮影モード以外）を変えるときは、**[C]** を選んで設定を変え、もう一度手順 2～3 を行います。この設定内容は、他の撮影モードには反映されません。

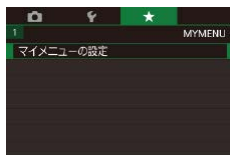


- [C]** に登録した設定を初期状態に戻すときは、モードダイヤルを **[C]** にして **[カメラ設定初期化]** (P306) を行います。

よく使う撮影メニューを登録する（マイメニュー）

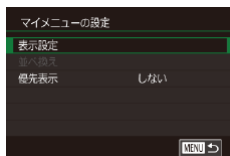
▶ 静止画 ▶ 動画

よく使う撮影メニューの項目を、**[★ 1]** タブに 6 項目まで登録できます。**[★ 1]** タブに登録すると、項目を 1 つの画面で表示できるため、素早く設定を変えられます。



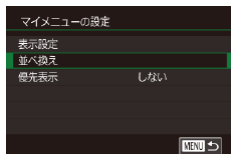
1 設定画面を表示する

- [MENU]** ボタンを押して、**[★ 1]** タブの **[マイメニューの設定]** を選んだあと、**[SET]** ボタンを押します (P41)。



2 設定する

- [表示設定]** を選び、**[SET]** ボタンを押します。
- 登録したい撮影メニュー項目（6 つまで）をタッチします。
- [✓]** が表示されます。
- 登録を解除するときには、タッチして **[✓]** を消します。
- [MENU]** ボタンを押します。



3 項目の表示順を変える

- [並べ換え] を選び、[] ボタンを押します。
- 表示順を変えたい項目をドラッグして表示順を変えます。
- [MENU] ボタンを押します。



- 手順 2 で、項目が灰色になっていても設定はできますが、撮影モードによっては使えないことがあります。



- [優先表示] で [する] を選ぶと、撮影モードで [MENU] ボタンを押したときに、すぐにマイメニューを表示することができます。

再生モード

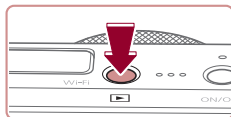
撮った画像を見て楽しんだり、いろいろな機能を使って画像の検索や編集をする

- [▶] ボタンを押して、再生モードにしてから操作してください。



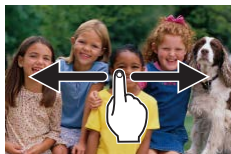
- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、再生や編集ができないことがあります。

撮影した画像を画面で見ることができます。



1 再生モードにする

- [▶] ボタンを押します。
- 最後に撮影した画像が表示されます。



2 画像を選ぶ

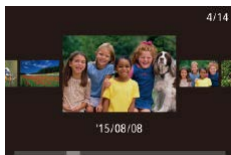
- 画面を左方向にドラッグすると次の画像が表示され、右方向にドラッグすると前の画像が表示されます。



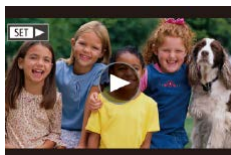
(2)

(1)

- 画面右端 (1) をタッチすると、[▶] が表示され、次の画像が表示されます。画面左端 (2) をタッチすると、[◀] が表示され、前の画像が表示されます。



- 連続して素早くドラッグするとこの画面が表示されます（スクロール再生）。
- この状態で、左右方向にドラッグして画像を選びます。
- 中央の画像をタッチすると 1 枚表示に戻ります。
- スクロール再生中に画面を上下方向に素早くドラッグすると、日付ごとにジャンプして画像を探せます。
- 動画では、[▶] が表示されます。動画を再生するときは手順 3 に進みます。





3 動画を再生する

- [⏮] ボタンを押したあと、[▶] を選び、もう一度 [⏮] ボタンを押すと再生がはじまります。



(1)

4 音量を調整する

- 上下方向に素早くドラッグして調節します。
- 音量バー (1) が消えても、素早くドラッグして調節することができます。

5 一時停止する

- [⏮] ボタンを押すたびに、一時停止／再開できます。
- 再生中に画面をタッチすると停止し、動画操作パネルが表示されます。[▶] をタッチすると再開されます。
- 再生が終わると [⏮] が表示されます。

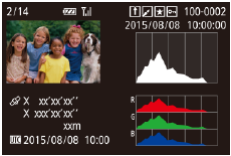


- 再生モードの状態でシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。
- スクロール再生を使わないようにするには、MENU (📖 41) で [▶ 5] タブの [スクロール再生] を選び、[切] を選びます。
- 再生モードにしたときに表示される画像を最新の撮影画像からにしたいときは、MENU (📖 41) で [▶ 5] タブの [再生開始位置] を選び、[最新の画像] を選びます。
- 画像を切り換えたときの効果を変えるには、MENU (📖 41) で [▶ 5] タブの [画像切り換え効果] を選び、目的の効果を選びます。
- 音量バーをタッチすると音量パネルが表示されるので、[▲] か [▼] をタッチして調節することもできます。

表示を切り換える

▶ 静止画 ▶ 動画

画面表示は、[INFO] ボタンを押して切り換えます。画面に表示される情報の詳細については、「再生時（詳細情報表示）」(P.351)を参照してください。

	情報表示なし
	簡易情報表示
	詳細情報表示
	RGB ヒストグラム / GPS 情報表示



- Wi-Fi でプリンター以外の機器と接続しているときは、表示を切り換えることはできません。

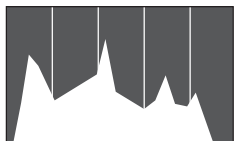
高輝度（ハイライト）警告

▶ 静止画 ▶ 動画

「詳細情報表示」（📖 186）にすると、画像上の白トビした部分が点滅表示されます。

ヒストグラム

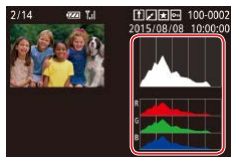
▶ 静止画 ▶ 動画



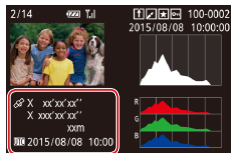
- 「詳細情報表示」（📖 186）のグラフは、画像中の明るさの分布を示したヒストグラムというグラフです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの量を示していて、露出の傾向を確認できます。
- ヒストグラムは撮影時に表示することもできます（📖 175、📖 349）。

RGB ヒストグラム / GPS 情報表示

▶ 静止画 ▶ 動画



- 「RGB ヒストグラム」は画像中の赤、緑、青の分布を示す RGB ヒストグラムが表示されます。横軸は各色の明るさ、縦軸は色の明るさごとの量を示していて、色の傾向を確認できます。



- カメラとスマートフォンを Wi-Fi でつなぐと、スマートフォンを操作してカメラ内の画像に GPS 情報（緯度、経度、標高など）を記録することができます（📖 284）。「GPS 情報表示」は、この記録した情報を確認できます。
- 表示内容は上から順に緯度、経度、標高、[UTC]（撮影日時）です。



- お使いのスマートフォンにない項目や正しく記録できなかった項目の数値には「---」が表示されます。



- [UTC] は Coordinated Universal Time の略で、協定世界時であるグリニッジ標準時とほぼ同じ日時です。
- GPS 情報がない画像では、「GPS 情報表示」は表示されません。

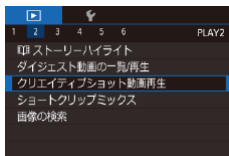


- 「詳細情報表示」の状態では、画面の下半分を上下にドラッグしても「RGB ヒストグラム」や「GPS 情報表示」に切り換えることができます。

クリエイティブショットモードで記録した短編動画（クリエイティブショット動画）を見る

▶ 静止画 ▶ 動画

[◁] モード (92) で記録したクリエイティブショット動画を選んで見ることができます。



1 再生する動画を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 2] タブの [クリエイティブショット動画再生] を選びます (41)。



2 再生する

- 動画を選んでタッチすると、動画が再生されます。

■ 静止画を撮影したときに作成された短編動画（ダイジェスト動画）を見る

▶ 静止画 ▶ 動画

[] モード (📖 53) で静止画を撮影した日に作成されたダイジェスト動画を見ることができます。



1 画像を選ぶ

- [] モードで撮影した静止画には [] が表示されます。
- [] が表示された静止画を選びます。



2 ダイジェスト動画を再生する

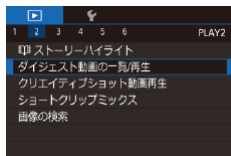
- [] をタッチしたあと、[OK] をタッチします。
- 静止画を撮影した日に作成された短編動画が先頭から再生されます。



- 情報表示なし (📖 186) にしているときは、一定時間で [] が消えます。

日付ごとに選んで見る

ダイジェスト動画を、日付で選んで見ることができます。

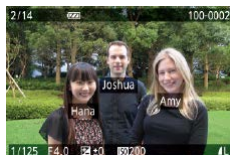


- [MENU] ボタンを押して、[ 2] タブの「ダイジェスト動画の一覧 / 再生」を選び、目的の日付をタッチします (📖 41)。

個人認証機能で検出された人を確認する

▶ 静止画 ▶ 動画

簡易情報表示 (📖 186) にすると、個人認証機能 (📖 70) に登録している人として検出された最大 5 人までの名前が表示されます。



- [INFO] ボタンを何回か押して簡易情報表示にしたあと、画面を左右方向にドラッグして画像を選びます。
- 検出された人に名前が表示されます。



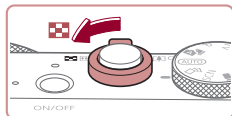
- 個人認証機能で撮影した画像に名前を表示させたくないときは、MENU (📖 41) で [📺 3] タブの [認証情報] から [名前表示] を選び、[切] を選びます。

画像を探したり、特定の画像だけを見る

一覧表示（インデックス表示）で画像を探す

▶ 静止画 ▶ 動画

複数の画像を一覧で表示して、目的の画像を素早く探せます。



1 一覧表示にする

- ズームレバーを [■] 側に押すと一覧表示になり、さらに押すと表示される画像の数が増えます。
- ズームレバーを [Q] 側に押すごとに、表示される画像の数が減ります。



2 画像を選ぶ

- 画面を上下方向にドラッグすると、指の動きに合わせて表示が切り換わります。
- 画像をタッチして選び、もう一度タッチすると、タッチした画像が 1 枚表示になります。
- 画面を左右方向にドラッグしてオレンジ色の枠を移動させ、ズームレバーを [Q] 側へ押したままにすることも、1 枚表示にできます。

画面をタッチして操作する



- 1枚表示の状態では、2本の指で画面をタッチし、指の間隔を縮めて画面をつまむように動かすと一覧表示になります。
- 同じ動作を繰り返すたびに、表示される画像の数が増えます。



- 画面を上下方向にドラッグすると、指の動きにあわせて表示が切り換わります。
- 2本の指で画面をタッチし、指の間隔を広げるように動かすと、表示される画像の数が減ります。
- 画像をタッチして選び、もう一度タッチすると、タッチした画像が1枚表示になります。

指定した条件で画像を探す

▶ 静止画 ▶ 動画

カード内に多くの画像があるときは、指定した条件で画像を検索して、目的の画像を素早く探せます。また、検索した画像だけをまとめて保護したり（📖203）、消したり（📖207）することもできます。

★ お気に入り	お気に入り設定した画像（📖213）を表示
📅 日付	指定した撮影日の画像を表示
👤 人物	顔が検出された画像を表示
🎞️ 静止画／動画	静止画、動画、[📷] モード（📖53）で作成された動画のいずれかを表示
👤 名前	登録した人の画像（📖70）を表示



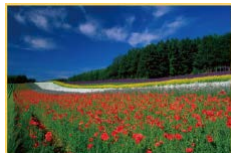
1 1つ目の条件を選ぶ

- 1枚表示の状態で [🔍] ボタンを押して、メニュー項目の [🔍] を選び、もう一度 [🔍] ボタンを押したあと、目的の条件を選びます。
- [★] [😊] を選んだときは、[◀] か [▶] をタッチするか、[🔄] リングを回して検索した画像だけを見ることができます。検索した画像だけをまとめて操作したいときは、[🔍] ボタンを押して、手順3に進みます。



2 2つ目の条件を選んで、検索した画像を見る

- 1つ目の条件に [😊] [🔍] を選んだときは [◀] か [▶] をタッチして2つ目の条件を選び、[🔄] リングを回すと検索した画像だけを見ることができます。
- 検索した画像だけの表示に切り換えるときは、[🔍] ボタンを押して手順3に進みます。
- 1つ目の条件に [👤] を選んだときは [🔍] ボタンを押して表示された画面で人物を選びます。



3 検索した画像を見る

- 検索した画像が黄色の枠つきで表示され、画面を左右方向にドラッグすると検索した画像だけを見ることができます。
- 検索した画像の表示を解除するときは、[🔍] ボタンを押したあと、メニュー項目の [🔍] を選び、[🔍] ボタンを押します。



- 目的の条件と一致する画像がないときは、条件を選ぶことはできません。



- 手順 3 で **[INFO.]** ボタンを押すと、情報の非表示／表示を切り換えられます。
- 検索した画像を表示しているとき（手順 3）は、「一覧表示（インデックス表示）で画像を探す」（ 191）、「拡大して見る」（ 200）、「スライドショーで見る」（ 202）などの操作で画像を見ることもできます。また、「保護する」（ 203）で「検索した全画像を保護」、「まとめて消す」（ 208）、「印刷指定（DPOF）」（ 331）、「フォトブック指定」（ 335）で「検索したすべての画像を指定」を選ぶと、検索した画像だけをまとめて操作することができます。
- 画像を編集して新規保存（ 217 ～ 227）などを行うとメッセージが表示されて、検索した画像の表示が解除されます。



- 条件を選んだあと、1 つ目の条件をもう一度タッチすると検索した画像を見ることができます。

■ コントローラーリングを使って画像をとばす

▶ 静止画 ▶ 動画

コントローラーリングを使って、指定した条件で画像をとばして、目的の画像を素早く探せます。

★ お気に入りジャンプ	お気に入り設定した画像 (📖 213) を表示
📅 日付ジャンプ	各撮影日の先頭画像を表示
🔄 1 枚送り	画像を 1 枚ずつ送って表示
🔄 10 枚ジャンプ	画像を 10 枚ずつとばして表示
🔄 100 枚ジャンプ	画像を 100 枚ずつとばして表示



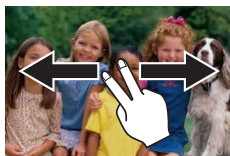
1 条件を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 5] タブの [0 での画像送り] を選び、目的の条件（ジャンプ方法）を選びます。

2 選んだ条件の画像を見たり、画像をとばす

- 1 枚表示の状態で [0] リングを回すと選んだ条件の画像だけを見たり、選んだ条件の単位で画像をとばします。

画面をタッチして操作する



- 2 本の指で左右方向にドラッグすることでも「コントローラーリングを使って画像をとばす」の手順 1 (📖 195) で選んだジャンプ方法で、画像をとばして表示できます。

■ グループ化された画像を 1 枚ずつ見る

▶ 静止画 ▶ 動画

連続撮影 (68) された画像、[] モード (92) で撮影された画像、[] モード (113) で保存された素材画像はグループ化されて表示されますが、グループ内の画像を 1 枚ずつ見ることもできます。



1 グループ化された画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして [SET] が表示された画像を選びます。



2 [] を選ぶ

- [] ボタンを押して、メニュー項目の [] を選びます (39)。



3 グループ内の画像を 1 枚ずつ見る

- 画面を左右方向にドラッグするとグループ内の画像のみが表示されます。
- [] ボタンを押して、メニュー項目の [] を選び、もう一度 [] ボタンを押すとグループ再生が解除されます (39)。



- グループ再生の状態(手順 3)で「一覧表示(インデックス表示)で画像を探す」(📖191)ことや、「拡大して見る」(📖200)ことができます。また、「保護する」(📖203)で「グループ内の全画像を保護」、「まとめて消す」(📖208)、「印刷指定(DPOF)」(📖331)、「フォトブック指定」(📖335)で「グループ内の全画像」を指定すると、グループ内のすべての画像をまとめて操作することができます。
- グループ化を解除して、1枚ずつの画像として表示したいときは、MENU(📖41)で「▶ 5」タブの「グループ表示」を選び、「切」を選びます(📖41)。ただし、グループ化された画像を1枚ずつ見ているときは、グループ化を解除できません。
- 「📷」モードで「多彩な写真や動画を撮る(クリエイティブショット)」の手順2(📖92)のような並びで表示されるのは、撮影直後だけです。



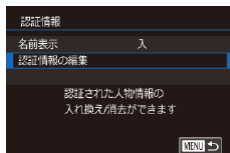
- 手順 1、2 の画面で「**SET**」をタッチすることでもグループ内の画像を1枚ずつ見ることができます。

個人認証情報を編集する

再生時に画面に表示された名前が誤っているときは、正しい名前に入れ換えたり、消したりすることもできます。

ただし、検出されず名前が表示されなかった人や名前を消した人に、あとから名前を付けることはできません。

■ 名前を入れ換える



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[3] タブの【認証情報】を選びます (41)。
- 【認証情報の編集】を選び、[SET] ボタンを押します。



2 画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選び、[SET] ボタンを押します。
- 名前を入れ換えたい顔をタッチして選びます。



3 編集内容を選ぶ

- [入れ換え] をタッチします。

4 入れ換える人の名前を選ぶ

- 入れ換える人の名前をタッチします。



- 手順 2 で画像を選んだあと、[SET] をタッチしてオレンジ色の枠を表示し、入れ換えたい顔をタッチすることでも【認証情報の編集】画面を表示できます。

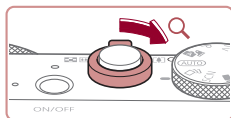
■ 名前を消す

- 「名前を入れ換える」の手順 3 (📖 198) で表示された画面で [消去] をタッチします。
- [消去しますか?] が表示されたら、[OK] をタッチします。

いろいろな方法で画像を見る

拡大して見る

▶ 静止画 ▶ 動画



(1)

1 拡大する

- ズームレバーを「Q」側に押すと拡大表示になり、押したままにすると最大約10倍まで拡大できます。
- 画面には表示位置の目安(1)が表示されます。
- ズームレバーを「[]」側に押すと縮小表示になり、押したままにすると1枚表示に戻ります。

2 表示位置を移動したり、画像を切り換える

- 画面をドラッグすると、表示位置が移動します。
- [MENU] ボタンを押すと1枚表示に戻ります。
- [Q] リングを回すと、拡大したまま画像を切り換えることができます。



- [SET] が表示されているときに[Q] ボタンを押すと、ピント合わせを行った位置が表示され、ピント位置を確認できます(フォーカスチェッカー)。ピントが合った位置が複数あるときは、[Q] ボタンを押すたびに、拡大される位置が移動します。

画面をタッチして操作する

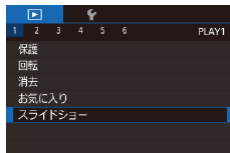


- 2本の指で画面をタッチし、指の間隔を広げるように動かすと拡大表示になります。
- 同じ動作を繰り返すと、最大約10倍まで画像を拡大できます。
- 画面をドラッグすると、表示位置が移動します。
- 2本の指で画面をタッチし、指の間隔を縮めて画面をつまむように動かすと、縮小表示になります。
- **[MENU]** をタッチすると1枚表示に戻ります。

■ スライドショーで見る

▶ 静止画 ▶ 動画

カードに記録されている画像を自動的に再生します。



- [MENU] ボタンを押して、[▶ 1] タブの [スライドショー] を選びます (📖41)。
- [スタート] をタッチします。
- [画像読み込み中] が数秒間表示されたあと、スライドショーがはじまります。
- [MENU] ボタンを押すと終わります。



- スライドショー中に節電機能 (📖35) は働きません。



- 再生中に [⏸] ボタンを押すと一時停止／再開ができます。
- [設定] をタッチして表示される画面で、スライドショーの繰り返しや再生画像 1 枚あたりの表示時間、切り換わるときの効果 (再生効果) を変えられます (📖41)。



- 画面をタッチしてスライドショーを終えることもできます。
- タッチアクションでスライドショーを開始することもできます (📖215)。

大切な画像をカメラの消去機能（[📖 207](#)）で誤って消さないよう、保護することができます。



- [🔒] ボタンを押して、メニュー項目の [🔑] を選び、[🔑] を選ぶと、[🔒] が表示されます。
- [OFF] を選ぶと [🔒] が消え、解除されます。

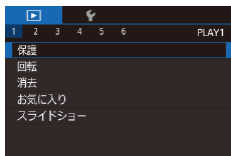


- カードを初期化（[📖 293](#)）すると、保護された画像も消えます。



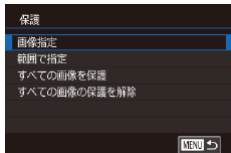
- 保護された画像は、カメラの消去機能では消えません。画像を消すときは、保護を解除してください。

メニューから操作する



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 1] タブの [保護] を選びます（[📖 41](#)）。



2 指定方法を選ぶ

- 目的の項目を選びます（[📖 41](#)）。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

■ 1 枚ずつ指定する

1 「画像指定」を選ぶ

- 「メニューから操作する」(P.203) の操作で「画像指定」を選び、**[SET]** ボタンを押します。

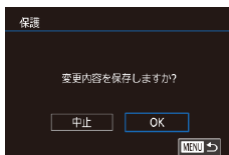


2 画像を選び指定する

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選び、**[SET]** ボタンを押すと **[On]** が表示されます。
- もう一度 **[SET]** ボタンを押すと **[On]** が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。

3 保護する

- **[MENU]** ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- **[OK]** をタッチします。



- 手順3の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、保護されません。



- 手順2で画面をタッチすることでも画像を選んだり解除したりすることができ、**[MENU]** をタッチすると確認画面が表示されます。

範囲で指定する

1 「範囲で指定」を選ぶ

- 「メニューから操作する」(203) の操作で「範囲で指定」を選び、[SET] ボタンを押します。



2 始点の画像を指定する

- [SET] ボタンを押します。



- 画面を左右方向にドラッグして画像を選び、[SET] ボタンを押します。



3 終点の画像を指定する

- タッチして「終点選択」にし、[SET] ボタンを押します。



- 画面を左右方向にドラッグして画像を選び、[SET] ボタンを押します。
- 始点より前の画像は選べません。



4 保護する

- [保護] をタッチします。

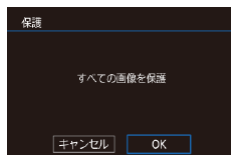


- 手順2、3の画面で [🔄] リングを回して画像を選ぶこともできます。
- 手順4で [解除] を選ぶと、選んだ画像の保護をまとめて解除することができます。

■ すべての画像を保護する

1 [すべての画像を保護] を選ぶ

- 「メニューから操作する」(📖 203) の操作で [すべての画像を保護] を選び、[🔒] ボタンを押します。



2 保護する

- [OK] をタッチします。

すべての画像の保護を解除する

すべての画像の保護をまとめて解除することができます。
解除するときは、「すべての画像を保護する」の手順1の操作で [すべての画像の保護を解除] を選び、手順2の操作を行います。

不要な画像を1枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻せないで十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像(📖203)は消えません。

1 消したい画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選びます。



2 消す

- [📷] ボタンを押して、メニュー項目の [🗑️] を選びます (📖39)。
- [消去しますか?] が表示されたら、[消去] をタッチします。
- 表示していた画像が消えます。
- 中止するときには、[キャンセル] をタッチします。

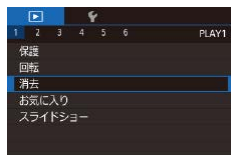


- RAW と JPEG を同時記録した画像を表示して [SET 消去する] をタッチすると、[RAWのみ消去] [JPEGのみ消去] [RAW+JPEG消去] が表示されるので、項目を選んで消すことができます。
- タッチアクションで消すこともできます (📖215)。

■ まとめて消す

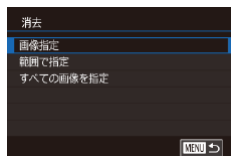
画像を選んでまとめて消すことができます。消した画像はもとに戻せないなので十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像(📖203)は消えません。

指定方法を選ぶ



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 1] タブの [消去] を選びます (📖41)。



2 指定方法を選ぶ

- 指定方法を選び、[⊙/SET] ボタンを押します。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。
- [MENU] をタッチするとメニュー画面に戻ります。

1 枚ずつ指定する

1 「画像指定」を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」(208) の操作で「画像指定」を選び、**[SET]** ボタンを押します。

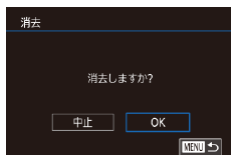


2 画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選び、画面をタッチすると **[✓]** が表示されます。
- もう一度画面をタッチすると解除され、**[✓]** が消えます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。

3 消す

- **[MENU]** ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- **[OK]** をタッチします。



- RAW と JPEG を同時記録した画像を選ぶと両方消去されます。

範囲で指定する

1 「範囲で指定」を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」(208) の操作で「範囲で指定」を選び、[] ボタンを押します。

2 画像を指定する

- 「範囲で指定する」の手順 2 ～ 3 (205) の操作で指定します。



3 消す

- [消去] をタッチします。

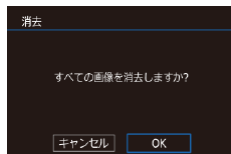
すべての画像を指定する

1 「すべての画像を指定」を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」(208) の操作で「すべての画像を指定」を選び、[] ボタンを押します。

2 消す

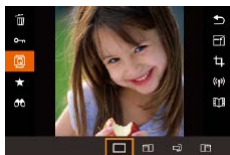
- [OK] をタッチします。



回転する

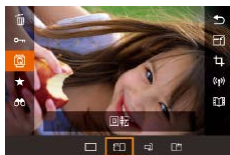
▶ 静止画 ▶ 動画

画像の向きを変えて保存することができます。



1 [Q] を選ぶ

- [Q] ボタンを押して、メニュー項目の [Q] を選びます (📖39)。



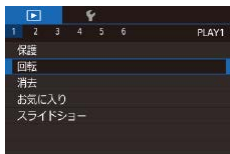
2 回転する

- 項目をドラッグすると指定した方向に90度単位で回転し、[Q] ボタンを押すと設定されます。



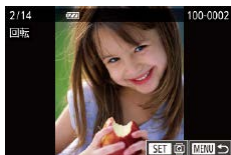
● [縦横自動回転] が [切] のときは回転できません (📖212)。

メニューから操作する



1 [回転] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 1] タブの [回転] を選びます (📖41)。



2 回転する

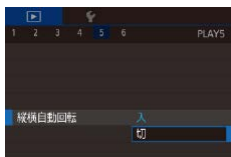
- 画面を左右方向にドラッグして画像を選びます。
- **[回転]** ボタンを押すたびに 90 度単位で回転します。
- **[MENU]** ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



- 手順 2 の画面で **[SET]** をタッチして画像を回転させたり、**[MENU]** をタッチしてメニュー画面に戻することもできます。

自動回転機能を切る

カメラの向きに応じて画像を自動回転する機能を使わないようにすることができます。



- **[MENU]** ボタンを押して、**[▶ 5]** タブの **[縦横自動回転]** を選び、項目の **[切]** を選びます (41)。



- **[切]** にすると、画像の回転 (211) はできません。また、すでに回転させていた画像も、もとの向きで表示されます。

お気に入り設定をする

▶ 静止画 ▶ 動画

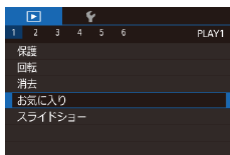
お気に入りを設定して、撮影した画像を分類できます。設定した画像だけを検索して、次の操作をすることができます。

- 「見る」(184)、「スライドショーで見る」(202)、「保護する」(203)、「消す」(207)、「印刷指定 (DPOF)」(331)、「フォトブック指定」(335)



- ボタンを押して、メニュー項目の を選び、 を選ぶと、 が表示されます。
- 解除するときは、上記の操作で [OFF] を選び、 ボタンを押します。

メニューから操作する



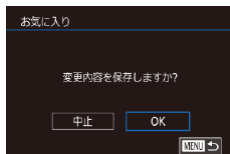
1 「お気に入り」を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、 1 タブの「お気に入り」を選びます (41)。



2 画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選び、 ボタンを押すと が表示されます。
- もう一度 ボタンを押すと が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。



3 設定する

- [MENU] ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- [OK] をタッチします。



- 手順 3 の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、お気に入りが設定されません。



- お気に入りに設定した画像は、アルバム (📖 229) を作成するときに抽出されやすくなります。
- タッチアクションでお気に入りを設定することもできます (📖 215)。
- 複数指定するときは、ズームレバーを [📐] 側に押して一覧表示にしたあと、指定する画像をタッチして選ぶこともできます。

タッチアクションでかんたんに操作する

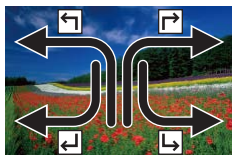
▶ 静止画 ▶ 動画

1 枚表示のとき、特定の 4 方向に画面をドラッグすると、それぞれの方向に登録してある機能を素早く、かんたんに呼び出すことができます。

タッチアクションの機能を使う



- 画面を図のようにドラッグします。
- [←] に登録されている機能が呼び出されます。



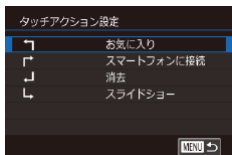
- [↑] [↓] [←] [→] に登録されている機能も同じように画面をドラッグして呼び出すことができます。
- タッチアクションに登録されている機能は変えられます。

タッチアクションの機能を変える

それぞれの方向のドラッグ操作に登録されている機能を、自分好みに変えて使いやすくすることができます。

1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 6] タブの [タッチアクション設定] を選びます (📖 41)。



2 タッチアクションに機能を登録する

- タッチアクションの方向を選び、[Ⓢ] ボタンを押します。
- タッチアクションに登録する機能を選びます。

登録できる機能

スライドショー	スライドショーを開始します。
消去	画像を消去します。
保護	画像を保護したり、解除したりします。
回転	画像を回転します。
お気に入り	画像をお気に入りに設定したり、解除したりします。
次のお気に入り画像	次のお気に入り設定された画像を表示します。
前のお気に入り画像	前のお気に入り設定された画像を表示します。
次の日の画像	次の日に撮影した最初の画像を表示します。
前の日の画像	前の日に撮影した最初の画像を表示します。
カメラに接続	Wi-Fi 接続の画面を表示します。 Wi-Fi 機能については、「Wi-Fi 機能」(📖 237)を参照してください。
スマートフォンに接続	
パソコンに接続	
プリンターに接続	
Web サービスに接続	

静止画を編集する



- 静止画の編集機能 (217 ~ 223) は、カードに空き容量がないと使えません。



- 編集画面に **[MENU]** が表示されているときは、**[MENU]** をタッチすることでも **[MENU]** ボタンと同じ操作ができます。
- 編集画面に **[SET]** が表示されているときは、**[SET]** をタッチすることでも **[SET]** ボタンと同じ操作ができます。

画像を小さくする (リサイズ)

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像を小さな記録画素数にして、別画像として保存できます。



1 大きさを選ぶ

- **[SET]** ボタンを押して、メニュー項目の **[S]** を選び、サイズを選びます (39)。
- **[M2]** **[S]** のいずれかをタッチしたあと、**[SET]** ボタンを押します。



2 新規保存する

- **[OK]** をタッチします。
- 別画像として保存されます。



3 画像を確認する

- **[はい]** をタッチします。
- 保存した画像が表示されます。

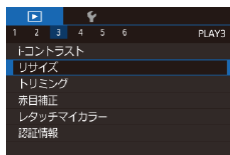


- 記録画素数が [S] の画像は、編集できません。
- RAW 画像は編集できません。



- 手順 1 の画面でリサイズをやめるときは、[↶] を選びます。
- 撮影した画像の記録画素数よりも大きくはできません。

メニューから操作する



1 [リサイズ] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 3] タブの [リサイズ] を選びます (📖 41)。

2 画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選び、[SET] ボタンを押します。



3 大きさを選ぶ

- 大きさを選び、[SET] ボタンを押します。
- 「画像の色調を変える (レタッチマイカラー)」の手順 4～5 (📖 221) の操作を行います。

■ 画像を切り抜く（トリミング）

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像の必要な部分を切り抜き、別画像として保存できます。

1 設定画面を表示する

-  ボタンを押して、メニュー項目の  を選び、 ボタンを押します（[39](#)）。



2 トリミング枠の大きさ、位置、縦横比を設定する

- 枠の大きさを変えるときは、ズームレバーを動かします。
- 枠を移動するときは、画面をドラッグします。
- 枠の縦／横を変えるときは、 をタッチします。
- 枠の縦横の比率を変えるときは、 をタッチします。 ボタンを押すたびに、縦横比（**3:2** **16:9** **4:3** **1:1**）が切り換わります。



3 トリミング後のイメージを確認する

-  をタッチします。
-  ボタンを押すたびにトリミング後のイメージと、トリミング枠の表示が交互に切り換わります。

4 新規保存して画像を確認する

-  をタッチします。
- 「画像を小さくする（リサイズ）」の手順 2～3（[217](#)）の操作を行います。



- 記録画素数が [S] の画像や、リサイズした [S] の画像 (📖 217) は、編集できません。
- RAW 画像は編集できません。
- 一度トリミングした画像を、もう一度トリミングすることはできません。
- トリミングした画像にリサイズ処理を行うことはできません。



- トリミングした画像の記録画素数は、トリミング前の画像より小さくなります。
- 手順 3 でトリミング後のイメージを表示しているときに、トリミングする位置、大きさ、縦横比を変えることもできます。
- [MENU] ボタンを押して [▶ 3] タブの [トリミング] を選んで [🔍] ボタンを押したあと、画像を選んでもう一度 [🔍] ボタンを押すことでも、手順 2 の操作を行えるようになります。
- 個人認証機能 (📖 70) で撮影した静止画をトリミングしたときは、トリミング後に表示されている人の名前だけが残ります。

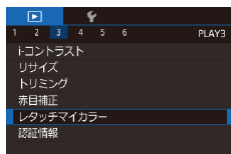


- 2 本の指で画面をタッチして指の間隔を広げたり縮めたりする (📖 201) ことでも枠の大きさを変えることができます。

画像の色調を変える（レタッチマイカラー）

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の色調を変え、別画像として保存できます。各項目の内容は「画像の色調を変える（マイカラー）」（[138](#)）を参照してください。



1 「レタッチマイカラー」を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 3] タブの「レタッチマイカラー」を選びます（[41](#)）。

2 画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選び、[SET] ボタンを押します。



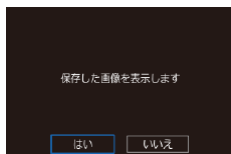
3 項目を選ぶ

- 項目をタッチしたあと、[SET] ボタンを押します。



4 新規保存する

- [OK] をタッチします。
- 別画像として保存されます。



5 画像を確認する

- [MENU] ボタンを押します。
- [はい] をタッチします。
- 保存した画像が表示されます。



- 同じ画像に対して色調を繰り返し変えると、画質が徐々に低下したり、思いどおりの色にならないことがあります。
- RAW 画像の色調は変えられません。



- 撮影時のマイカラー（ 138）と色調が若干異なることがあります。



- 手順 3 の画面で項目をタッチして選び、もう一度タッチすることでも設定できます。

明るさを補正する（i- コントラスト）

▶ 静止画 ▶ 動画

人の顔や背景など、一部が暗く撮影された画像は、その部分を検出し、最適な明るさに自動補正します。また、画像全体で明暗差が小さい画像は、くっきりした印象となるように自動補正します。補正方法は 4 種類から選べ、別画像として保存できます。



1 [i- コントラスト] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[3] タブの [i- コントラスト] を選びます（ 41）。

2 画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選び、[] ボタンを押します。



3 項目を選ぶ

- [◀] か [▶] をタッチして項目を選び、[OK] ボタンを押します。

4 新規保存して画像を確認する

- 「画像の色調を変える（レタッチマイカラー）」の手順4～5（ 221）の操作を行います。



- 画像によっては、画像が粗くなったり、正しく補正されないことがあります。
- 同じ画像に対して補正を繰り返すと、画像が粗くなることがあります。
- RAW 画像の補正はできません。

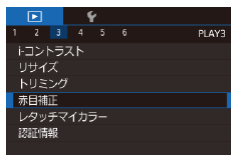


- [オート] で思いどおりに補正されないときは、[弱] [中] [強] のいずれかを選んで補正します。

赤目を補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を自動的に補正して、別画像として保存できます。



1 [赤目補正] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 3] タブの [赤目補正] を選びます（ 41）。

2 画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選びます。

3 補正する

- [Ⓢ] ボタンを押します。
- 検出された赤目部分が補正され、補正した部分に枠が表示されます。
- 「拡大して見る」(📖 200) の操作で画像を拡大／縮小できます。



4 新規保存して画像を確認する

- [新規保存] をタッチします。
- 別画像として保存されます。
- 「画像の色調を変える (レタッチマイカラー)」の手順 5 (📖 221) の操作を行います。

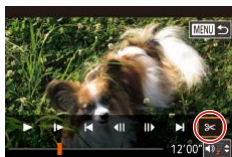


- 画像によっては、正しく補正されないことがあります。
- 手順 4 で [上書き保存] を選んだときは、補正内容で上書きされるため、補正前の画像は残りません。
- 保護されている画像は上書き保存できません。
- RAW 画像の補正はできません。
- RAW 画像を同時記録した JPEG 画像は赤目補正ができますが、上書き保存はできません。



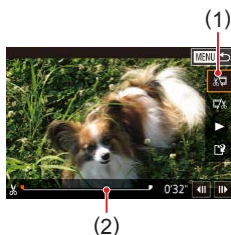
- 手順 4 の画面で [新規保存] や [上書き保存] をタッチすることでも画像を保存できます。

撮影した動画の前後を削除できます。



1 [✂] を選ぶ

- 「見る」の手順 1 ～ 5 (📖 184) の操作で [✂] を選びます。
- 動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。



2 編集範囲を指定する

- (1) は動画編集パネル、(2) は動画編集バーです。
- [✂] または [🔍] を選びます。
- [🔍] をドラッグすると、編集できるところで [🔍] が表示されます。[✂] を選ぶと [🔍] 位置より前部、[🔍] を選ぶと後部が削除されます。
- [🔍] を [🔍] 以外の位置に指定しても、[✂] では 1 つ左側の [🔍] 位置よりも前部、[🔍] では 1 つ右側の [🔍] 位置よりも後部が削除されます。

3 編集した動画を確認する

- [▶] をタッチすると編集した動画が再生されます。
- もう一度編集するときには手順 2 の操作を行います。
- 編集を中止するときには、[MENU] ボタンを押したあと、[OK] をタッチします。



4 編集した動画を保存する

- [L] をタッチします。
- [新規保存] をタッチします。



- [圧縮せず新規保存] をタッチします。
- 別動画として保存されます。



- ダイジェスト動画 (📖 53)、クリエイティブショット動画 (📖 93)、BGM をつけていないアルバム (📖 231) は編集できません。
- 手順 4 で [上書き保存] を選んだときは、編集内容が上書きされるため、編集前の動画は残りません。
- カードの空き容量が足りないときは、[上書き保存] しか選べません。
- 動画の保存中にバッテリーがなくなると、保存できないことがあります。
- 編集するときは、フル充電されたバッテリーか AC アダプターキット (別売) (📖 310) を使うことをおすすめします。

■ ファイルサイズを小さくする

動画を圧縮して保存することで、ファイルサイズを小さくできます。



- 「動画を編集する」の手順2の画面で「」を選んだあと「新規保存」をタッチします。
- 「圧縮して新規保存」をタッチします。

圧縮後の画質

圧縮前	圧縮後
 FHD 59.94P	 HD 29.97P
 FHD 29.97P	 HD 29.97P
 FHD 23.98P	 HD 23.98P
 HD 29.97P	 HD 29.97P
 FHD 50.00P	 HD 25.00P
 FHD 25.00P	 HD 25.00P
 HD 25.00P	 HD 25.00P



-  FHD 29.97P  VGA 25.00P の動画は、圧縮できません。
- 編集した動画を保存するときに「上書き保存」を選ぶと、圧縮できません。

■ 短編動画を編集する

▶ 静止画 ▶ 動画

[🔍] モードや [📷] モードで作成されたチャプター (📖 53、📖 93) を 1 つずつ選んで消すことができます。消したチャプターはもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。



1 チャプターを選ぶ

- 「クリエイティブショットモードで記録した短編動画（クリエイティブショット動画）を見る」の手順 1～2 (📖 188) の操作、または「静止画を撮影したときに作成された短編動画（ダイジェスト動画）を見る」の手順 1～2 (📖 189) の操作で短編動画を再生し、[🔍] ボタンを押して動画操作パネルを表示します。
- [⏮] か [⏭] をタッチしてチャプターを選びます。

2 [🔍] を選ぶ

- [🔍] をタッチします。
- 選んだチャプターが繰り返し再生されます。



3 確認して消す

- [OK] をタッチします。
- チャプターが消去され、上書き保存されます。



- プリンターとつないだときは、チャプターを選んでも [🔍] は表示されません。

アルバムを見る（ストーリーハイライト）

▶ 静止画 ▶ 動画

日付や人物の名前などの条件を選ぶとカメラが条件にあった画像を自動で抽出し、それらをスライドショーのようにつなぎあわせたアルバムにして、2～3分程度の短編動画として保存できます。

なお、バッテリーはフル充電してからお使いください。また、アルバムの作成にはカードの空き容量が必要となるため、目安として 16 GB 以上のカードを使用し、1 GB 以上の空き容量を残してください。

アルバムを作成するときに選べる抽出条件

〔🔍〕 ボタンを押したあと、ストーリーハイライトの項目を選択してホーム画面を表示すると、カメラに抽出させる画像の条件を選ぶことができます。なお、お気に入りに設定 (📖 213) した画像は、抽出されやすくなります。

日付	ある 1 日に撮った画像の中から抽出して、アルバムにします。 ホーム画面を表示する前に選んだ 1 枚の静止画と同じ撮影日に撮った画像から抽出します。
人物の名前	こどものアルバムを毎月作って成長記録とするなど、月ごとの記録としてアルバムにまとめることができます。 個人認証登録をしてから撮影した画像が対象になります。 ホーム画面を表示する前に選んだ 1 枚の静止画に含まれる人物を中心とした、同じ撮影月に撮った画像から抽出します。
イベント	旅行やパーティーのアルバムを作りたいときにおすすめです。 ホーム画面を表示する前に選んだ 1 枚の静止画の撮影日前後のイベントに含まれる画像から抽出します。
カスタム	指定した画像や日付、個人認証登録された人物に関連する画像から抽出します。



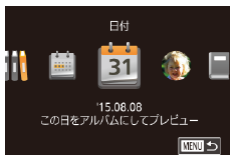
1 画像を選ぶ

- 画像を選び、1 枚表示にします。
- 画像の撮影日時や人物情報によって、手順 3 で選べる抽出条件が変わります。



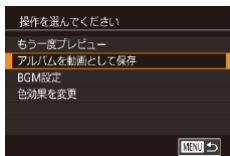
2 ホーム画面を表示する

- [SET] ボタンを押したあと、[日付] を選び、[SET] ボタンを押します (p.39)。
- [処理中] が表示されたあと、ホーム画面が表示されます。



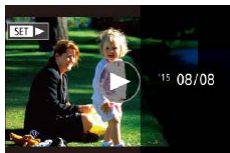
3 プレビュー再生する

- [日付]、「人物の名前」、[イベント] から抽出条件を選び、[SET] ボタンを押します。
- [読み込み中] が数秒間表示されたあと、アルバムがプレビュー再生されます。



4 アルバムを保存する

- [アルバムを動画として保存] を選び、[SET] ボタンを押します。
- 保存が完了すると、[保存しました] が表示されます。



5 再生する (p.184)



- アルバムの対象となるのはこのカメラで撮影した次の画像です。
 - 静止画
 - ダイジェスト動画（📖53）（圧縮した動画は除く）
 - 再生時間が2秒以上のショートクリップ動画（📖123）とクリエティブショット動画（📖93）（圧縮した動画は除く）



- カード残量が足りないときは、アルバムを保存できません。
- MENU（📖41）の [▶ 2] タブの [📖] ストーリーハイライト] でもホーム画面を表示できます。
- プレビュー再生中に、画面を左方向にドラッグすると次のチャプターへジャンプし、右方向にドラッグすると前のチャプターへジャンプします。
- 手順4の操作で「色効果を変更」を選んでから [🔍] ボタンを押すと、色効果を選べます。左右にドラッグして色効果を選び [🔍] ボタンを押したあと、手順4の画面で「もう一度プレビュー」を選べると、選んだ色効果でアルバムがプレビュー再生されます。
- 保存したアルバムは、ストーリーハイライトのホーム画面で「アルバム一覧」を選び、[🔍] ボタンを押したあと、アルバム一覧画面からアルバムを選んでタッチすると再生することができます。

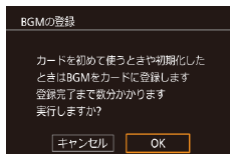
■ アルバムに BGM をつける

▶ 静止画 ▶ 動画

アルバムを再生したときに流れる BGM を、7 種類から選ぶことができます。

1 BGM をカードに登録する

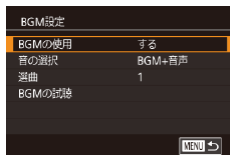
- 「アルバムを見る（ストーリーハイライト）」（📖229）の手順1～4の操作で「BGM 設定」を選び、[🔍] ボタンを押します。



- 初めて使うカードや初期化したときは、左の画面が表示されるので、[OK] をタッチすると約 4 分で 7 種類の BGM がカードに登録されます。
- BGM を登録したカードをお使いのときは、手順 2 から操作してください。

2 アルバムを作成する

- 「アルバムを見る（ストーリーハイライト）」（[書229](#)）の手順 1 ～ 3 の操作でアルバムを作成します。



3 BGM を設定する

- 目的の項目を選び、 ボタンを押したあと、内容を選びます（[書41](#)）。

4 保存する

- 「アルバムを見る（ストーリーハイライト）」（[書229](#)）の手順 4 の操作で保存します。



- 一度保存したアルバムに、あとから BGM をつけることはできません。また、アルバムに登録した BGM は、消したり変えることはできません。
- BGM をつけたアルバムは、チャプター編集できません（[書228](#)）。



- BGM をつけないときは、手順 3 の画面で [BGM の使用] を [しない] にしてください。
- 動画の音声を入れずに BGM のみにするときは、手順 3 の画面で [音の選択] を [BGM のみ] にします。
- 手順 3 の画面で [BGM の試聴] を選んで  ボタンを押すと、[選曲] で選んだ BGM を試聴することができます。

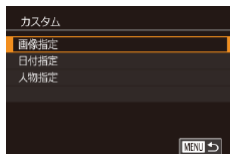
自分好みのアルバムを作る

▶ 静止画 ▶ 動画

自分で画像を選んでアルバムを作ることができます。

1 カスタムを選ぶ

- 「アルバムを見る（ストーリーハイライト）」（ 229）の手順 1 ～ 3 の操作で「カスタム」を選び、 ボタンを押します。

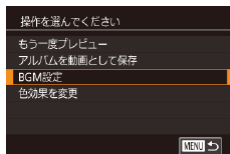


2 指定方法を選ぶ

- 「画像指定」、[日付指定] または [人物指定] を選び、 ボタンを押します。

3 対象を指定する

- アルバムにしたい項目を選びタッチすると、選ばれた項目には [✓] が表示されます。
- 「画像指定」で静止画、ショートクリップ動画またはクリエイティブショット動画、[日付指定] または [人物指定] で日付または人物を選んだあと、[MENU] ボタンを押します。
- 「プレビュー」を選び、 ボタンを押します。



4 BGM を選ぶ

- 左の画面が表示されたら [BGM 設定] を選び、「アルバムに BGM をつける」(書 231) の操作で BGM をつけたあと、[MENU] ボタンを押します。



5 色効果を選ぶ

- 手順 4 の画面で [色効果を変更] を選びます。
- 左右にドラッグして色効果を選び、[SET] ボタンを押します。

6 保存する

- 「[アルバムを見る（ストーリーハイライト）]」(書 229) の手順 4 の操作で保存します。



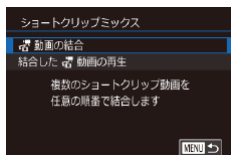
- [画像指定] を選んだときは、最大 40 ファイル（動画は 10 ファイル）まで指定できます。なお、2 回目以降は [前回の内容をもとにして編集しますか？] が表示され、[はい] を選ぶと前回選んだ静止画、クリエイティブ動画またはショートクリップ動画に [✓] が入った状態でマルチ再生画面が表示されます。
- [日付指定] を選んだときは、最大 15 日間の日付を指定できます。
- 画像によっては、色効果がかからないことがあります。

ショートクリップ動画を結合して動画作品を作る

▶ 静止画 ▶ 動画

複数のショートクリップ動画を結合して、動画作品を作ることができます。

ただし、結合した動画はストーリーハイライト (229) のアルバムの対象になりません。



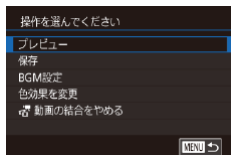
1 編集画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 2] タブの「ショートクリップミックス」を選んだあと、[動画の結合] を選びます (41)。



2 結合する動画を指定する

- 画面の上半分に表示されている動画を左右方向にドラッグして、結合したい動画を選んだあと、[SET] ボタンを押します。
- 指定した動画が画面の下半分に表示されます。
- もう一度 [SET] ボタンを押すと、指定が解除されます。
- 上記の操作を繰り返して、結合したい動画を指定します。
- 動画の指定が終わったら、[MENU] ボタンを押します。

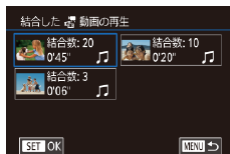


3 プレビュー再生する

- [プレビュー] を選び、[SET] ボタンを押します。
- [読み込み中] が数秒間表示されたあと、結合された動画がプレビュー再生されます。

4 保存する

- [保存] を選び、**[SET]** ボタンを押します。
- 保存が完了すると、[保存しました] が表示されます。



5 再生する

- 手順 1 の画面で [結合した 動画の再生] を選ぶと、作成した動画が一覧で表示されます。
- 再生したい動画を選んで、**[SET]** ボタンを押します。



- 手順 2 の画面でズームレバーを **[↑]** 側に押すと、選ばれている動画が再生されます。
- 手順 2 の画面で [並べ換え] をタッチしたあと、動画を選び **[SET]** ボタンを押してから左右方向にドラッグしてもう一度 **[SET]** ボタンを押すと、動画の順番を並べ換えられます。
- 手順 3 の画面で [色効果を変更] を選ぶと、色効果をつけられます。
- 手順 3 の画面で [BGM 設定] を選ぶと、BGM をつけることができます (p.231)。
- 保存される動画の画質は、**[HD 29.97P]** (NTSC 時) または **[HD 25.00P]** (PAL 時) になります。
- フル充電されたバッテリーを使うことをおすすめします。

Wi-Fi 機能

カメラで撮影した画像を無線でいろいろな無線対応機器へ送ったり、Web サービスを利用する



- Wi-Fi 機能を使う前に「Wi-Fi（無線 LAN）について」（📖398）を必ずお読みください。

Wi-Fi でできること

このカメラは、以下の機器やサービスと Wi-Fi で接続して、画像の送受信やカメラの操作ができます。

- スマートフォン、タブレット端末

Wi-Fi 機能を持つスマートフォンやタブレット端末に画像を送信できます。また、スマートフォンやタブレット端末を使ってリモート撮影したり、カメラで撮影した画像に位置情報を記録することができます。なお、以降、スマートフォンとタブレット端末をあわせて「スマートフォン」と記載しています。

- パソコン

カメラとパソコンを Wi-Fi で接続し、ソフトウェアを使ってカメラの画像を取り込むことができます。

- Web サービス

キヤノンのオンラインフォトサービス CANON iIMAGE GATEWAY や、いろいろな Web サービスをカメラに登録して、カメラ内の画像を送信できます。また、カメラ内の未転送画像を CANON iIMAGE GATEWAY 経由でパソコンや Web サービスに送ることもできます。

- プリンター

Wi-Fi で使える PictBridge (DPS over IP) に対応したプリンターに画像を送って印刷できます。

- 別のカメラ

キヤノン製の Wi-Fi 対応カメラ同士で画像を送信できます。

スマートフォンに画像を送る

カメラとスマートフォンを接続して画像を送るにはいくつかの方法があります。

- NFC 機能を使って接続する (📖 240)
Android (OS バージョン 4.0 以上) で NFC に対応しているスマートフォンをタッチするだけでかんたんに接続できます。
-  ボタンに登録して接続する (📖 244)
 ボタンを押すだけで、スマートフォンと接続するようになります。スマートフォンから画像取り込みの操作 (📖 244) をするときにおすすめです。なお、 ボタンに登録できるスマートフォンは 1 台です。
- Wi-Fi メニューを使って接続する (📖 247)
パソコンなどほかの接続先と同様の操作で接続できます。また、複数のスマートフォンを登録できます。

カメラと接続する前に、お使いのスマートフォンに専用のアプリケーション「Camera Connect」(無料) をインストールする必要があります。アプリケーションの詳細 (対応するスマートフォンや機能など) については、弊社 Web サイトで確認してください。



- キヤノン製の Wi-Fi 対応カメラをお持ちで、「CameraWindow」を使ってカメラとスマートフォンを Wi-Fi 接続されているかたは、スマートフォン用のアプリケーションを「Camera Connect」に変えることをおすすめします。

■ NFC 対応のスマートフォンに画像を送る

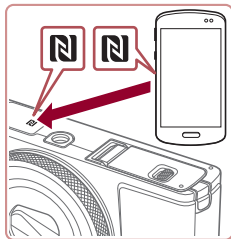
Android (OS バージョン 4.0 以上) で NFC に対応しているスマートフォンでは、NFC 機能を使って、Camera Connect のインストールやカメラへの接続をかんたんにすることができます。

NFC 機能でスマートフォンと接続するときは、タッチする前のカメラの状態によって動作が異なります。

- 撮影モードまたは電源を切っているときにスマートフォンをタッチすると、画像を選択する画面で画像を選んで送信できます。また、接続後にリモート撮影したり、カメラで撮影した画像に位置情報を記録することもできます (284)。また、最近接続した接続先名として履歴が残るので、次回以降、Wi-Fi メニューからでもかんたんに接続できます。
- 再生モードでスマートフォンをタッチすると、送信する画像を選ぶ画面が一覧表示されるので、画像を選んで送信できます。送信後は接続は自動で切断されます。

ここでは、まず、撮影モードまたは電源を切っているときの接続について説明します。

撮影モード／電源を切っているときの NFC 接続

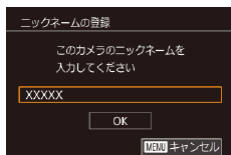


1 Camera Connect をインストールする

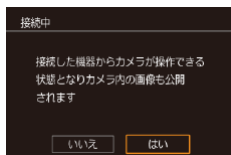
- スマートフォンの NFC 機能を有効にしたあと、スマートフォンとカメラの **N** (N マーク) 同士をタッチすると、スマートフォンで Google Play が自動的に起動します。Camera Connect のダウンロード画面が表示されたら、ダウンロードしてインストールします。

2 接続する

- カメラの電源が切れているか、撮影モードであることを確認します。
- Camera Connect がインストールされたスマートフォンとカメラの **N**（N マーク）同士をタッチします。
- カメラが自動で起動します。
- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[OK] をタッチします。



- スマートフォンで Camera Connect が起動します。
- スマートフォンとカメラが自動で接続します。



3 公開設定する

- この画面が表示されたときは、[はい] をタッチします。
- スマートフォンの操作で、カメラ内の画像の閲覧や取り込み、GPS 情報の記録、リモート撮影ができるようになります。



4 画像を送る

- 画像を左右方向にドラッグして、送信したい画像を選び、[この画像を送信] をタッチします。
- 画像の送信が開始されます。画像の送信中は画面が暗くなります。
- 送信が完了すると、[送信が完了しました] と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。
- カメラとの接続を切断するには、画面右上の **[MENU]** をタッチして表示される確認画面で **[OK]** をタッチします。また、スマートフォンを操作して接続を切断することもできます。

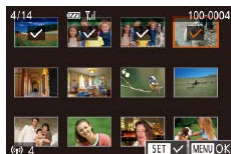


- NFC 機能をお使いになるときは、次のことに注意してください。
 - スマートフォンをカメラに強く当てないでください。スマートフォンやカメラに傷がつくことがあります。
 - スマートフォンによっては、認識されにくいことがあるので、位置をずらすなどしてゆっくりタッチしてください。接続できないときはカメラの画面が変わるまでタッチしたままにしてください。
 - 電源を切っているときに接続しようすると、カメラの電源を入れるよう、スマートフォンにメッセージが表示されることがあります。このときは、カメラの電源を入れてからタッチしておってください。
 - カメラとスマートフォンの間にものを置かないでください。また、カメラやスマートフォンにケースなどをつけていると、通信できないことがあります。
- 手順3で **[はい]** を選ぶと、接続したスマートフォンから、カメラ内のすべての画像を見ることができるようになります。スマートフォンにカメラ内の画像を表示したくないときは、手順3の操作で **[いいえ]** を選んでください。
- 登録済みのスマートフォンに対する画像の公開設定を変更することもできます (287)。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- 手順 2 の画面でカメラのニックネームを変えることもできます (📖 288)。
- NFC に対応したスマートフォンでも **N** がありません。詳しくはスマートフォンの使用説明書を参照してください。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズを変えて送ったりすることができます (📖 274)。
- MENU (📖 41) で **[4]** タブの **[Wi-Fi 設定]** を選び、**[NFC 接続]** を **[切]** にすると NFC 接続しないようにできます。

再生モードでの NFC 接続



- **[▶]** ボタンを押して電源を入れます。
- Camera Connect がインストールされたスマートフォン (📖 240) とカメラの **N** (N マーク) 同士をタッチします。
- 送信したい画像をタッチすると **[✓]** が表示されます。
- もう一度タッチすると **[✓]** が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。
- 画像の選択が終わったら、**[MENU]** ボタンを押したあと **[OK]** をタッチします。
- **[送信]** をタッチします。
- 画像が送信されます。送信後は自動で接続が切断されます。



- 接続中、カメラの画面にニックネームの入力を促す画面が表示されたら「文字の入力方法」(📖44) の操作で入力してください。
- 再生モードのときに NFC 機能で接続したスマートフォンの履歴はカメラには残りません。
- 送信される画像のサイズをあらかじめ設定しておくことができます (📖274)。

■ ボタンにスマートフォンを登録して画像を送る

📱 ボタンを押してスマートフォンと接続すると、次回からは 📱 ボタンを押すだけで、スマートフォンと接続して、カメラ内の画像を見たり取り込んだりできるようになります。

なお、ここではカメラをアクセスポイントにして接続する手順を説明しますが、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます (📖249)。

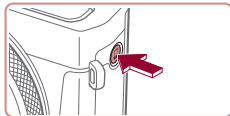


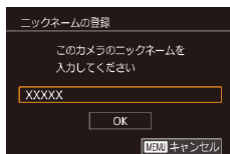
1 Camera Connect をインストールする

- iPhone や iPad では、App Store から Camera Connect を検索してダウンロードし、インストールします。
- Android のスマートフォンでは、Google Play から Camera Connect を検索してダウンロードし、インストールします。

2 📱 ボタンを押す

- 📱 ボタンを押します。



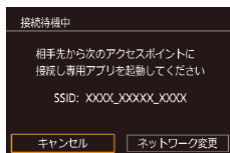


- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[OK] をタッチします。



3 を選ぶ

-  をタッチします。



- 画面にカメラの SSID が表示されます。



4 スマートフォンをネットワークに接続する

- スマートフォンの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名) を選択して接続します。



5 Camera Connect を起動する

- スマートフォンを操作して Camera Connect を起動します。
- カメラがスマートフォンを認識すると、スマートフォンを選択する画面がカメラに表示されます。



6 接続するスマートフォンを選ぶ

- スマートフォンの名前をタッチします。
- スマートフォンが接続され、カメラの画面にスマートフォンの名前が表示されます（約 1 分後に画面は消えます）。



7 画像を取り込む

- スマートフォンを操作してカメラ内の画像をスマートフォンに取り込みます。
- スマートフォンを操作して接続を切断すると、カメラの電源は自動的に切れます。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- 手順 2 の画面でカメラのニックネームを変えることもできます（[288](#)）。
- MENU（[41](#)）で【 4】タブの【Wi-Fi 設定】を選び、【パスワード】を【入】にすると、手順 3 の画面に【パスワード】が表示されるようになり、セキュリティを強化できます。このときは、手順 4 でスマートフォンを操作するときに、カメラに表示されたパスワードをパスワード欄に入力してください。
- ボタンに登録できるスマートフォンは 1 台です。ほかのスマートフォンを ボタンに登録するときは、MENU（[41](#)）の【 4】タブの【ワンタッチスマホボタン設定】で登録済みのスマートフォンを解除してから登録してください。
- タッチアクション設定（[215](#)）で接続先を設定すると、次回以降は、接続する操作をせずにドラッグ操作だけで最後に接続した接続先にカメラが自動で接続しにいきます。

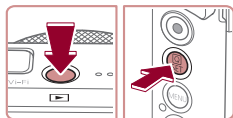
Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する

ここではカメラをアクセスポイントにして接続する手順を説明しますが、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます (📖249)。



1 Camera Connect をインストールする

- iPhone や iPad では、App Store から Camera Connect を検索してダウンロードし、インストールします。
- Android のスマートフォンでは、Google Play から Camera Connect を検索してダウンロードし、インストールします。



2 Wi-Fi メニューを表示する

- [▶] ボタンを押します。
- [SET] ボタンを押します。
- [(P)] をタッチしたあと、[SET] ボタンを押します。
- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[OK] を選びます (📖244)。

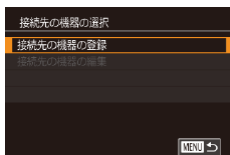
3 [📱] を選ぶ

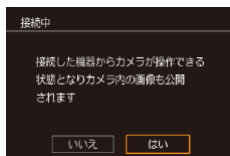
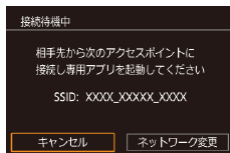
- [📱] をタッチします。



4 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [接続先の機器の登録] をタッチします。





- 画面にカメラの SSID が表示されます。
- 「ボタンにスマートフォンを登録して画像を送る」(P244) の手順 4 ～ 6 の操作で接続するスマートフォンを選びます。

5 公開設定する

- [[はい] をタッチします。
- スマートフォンの操作で、カメラ内の画像の閲覧や取り込み、GPS 情報の記録、リモート撮影ができるようになります。

6 画像を送る

- 画像を左右方向にドラッグして、送信したい画像を選び、[この画像を送信] をタッチします。
- 画像の送信が開始されます。画像の送信中は画面が暗くなります。
- 送信が完了すると、[送信が完了しました] と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。
- カメラとの接続を切断するには、画面右上の [MENU] をタッチして表示される確認画面で [OK] をタッチします。また、スマートフォンを操作して接続を切断することもできます。
- 複数のスマートフォンを登録するときは、手順 1 から繰り返します。



- 手順 5 で [はい] を選ぶと、接続したスマートフォンから、カメラ内のすべての画像を見ることができるようになります。スマートフォンにカメラ内の画像を表示したくないときは、手順 5 の操作で [いいえ] を選んでください。
- 登録済みのスマートフォンに対する画像の公開設定を変更することもできます (📖287)。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとする、最近接続した接続先名が最初に表示され、項目をタッチするだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは左右にドラッグして機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (📖41) の [🔌4] タブにある [Wi-Fi 設定] の [接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズを変えて送ったりすることができます (📖274)。
- タッチアクション設定 (📖215) で接続先を設定すると、次回以降は、接続する操作をせずにドラッグ操作だけで最後に接続した接続先にカメラが自動で接続しにいきます。

■ ほかのアクセスポイントを使う

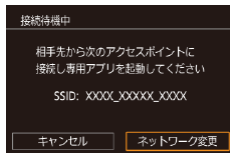
📱 ボタンや Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンとカメラを接続するときは、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます。

1 接続待機の状態にする

- 「ボタンにスマートフォンを登録して画像を送る」 (📖244) の手順 1 ~ 3 または「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」 (📖247) の手順 1 ~ 4 の操作で接続待機中の画面を表示します。

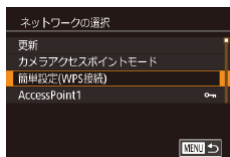


2 スマートフォンをアクセスポイントに接続する



3 [ネットワーク変更] を選ぶ

- [ネットワーク変更] をタッチします。
- 検索されたアクセスポイントの一覧が表示されます。



4 アクセスポイントに接続してスマートフォンを選ぶ

- WPS に対応したアクセスポイントでは、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(256) の手順 5 ～ 8 の操作でアクセスポイントに接続して、スマートフォンを選びます。
- WPS に対応していないアクセスポイントでは、「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」(260) の手順 2 ～ 4 の操作でアクセスポイントに接続して、スマートフォンを選びます。

5 公開設定して画像を送る

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(247) の手順 5 ～ 6 の操作で公開設定して、画像を送ります。

■ 接続したことのあるアクセスポイントがあるとき

接続したことのあるアクセスポイントがあるときは、「ボタンにスマートフォンを登録して画像を送る」(📖244)の手順3や、「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(📖247)の手順4の操作で、カメラが自動でそのアクセスポイントに接続します。

- カメラをアクセスポイントにするときは、接続の最中に表示される画面の「ネットワーク変更」を選び、表示された画面で「カメラアクセスポイントモード」を選びます。
- 接続したことのあるアクセスポイントを使って接続するときは、「ほかのアクセスポイントを使う」(📖249)の手順5から操作してください。
- 別のアクセスポイントを使うときは、接続の最中に表示される画面の「ネットワーク変更」を選んだあと、「ほかのアクセスポイントを使う」(📖249)の手順4から操作してください。

パソコンに画像を取り込む

■ パソコンを登録するための準備をする

パソコンの環境を確認する

カメラと Wi-Fi 接続できるパソコンは以下のとおりです。詳細なシステム構成や最新の OS を含む対応状況については、弊社 Web サイトを確認してください。

- Windows 8/8.1
- Windows 7 SP1
- Mac OS X 10.9
- Mac OS X 10.8.2 以降



- Windows 7 Starter / Home Basic には対応していません。
- Windows 7 N (欧州版) / KN (韓国版) では、Windows Media Feature Pack を別途マイクロソフトのサポートページからダウンロードしてインストールする必要があります。詳しくは、次の Web サイトで確認してください。
<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=159730>

インストールする

ここでは、Windows 7 と Mac OS X 10.8 を使って説明をしています。

1 ソフトウェアをダウンロードする

- パソコンからインターネットへ接続し、以下のサイトを表示します。

<http://cweb.canon.jp/e-support/software/index.html>

- 圧縮された状態のソフトウェアがパソコンにダウンロードされます。



2 インストールをはじめる

- ダウンロードしたファイルをダブルクリックすると、左の画面が表示されますので、[おまかせインストール] をクリックしてから、引き続き表示される画面にしたがって操作を進めます。
- お使いのパソコンやインターネット環境によってはインストールに時間がかかることがあります。
- インストールを終えると表示される画面の[完了] または[再起動] をクリックします。



- インターネットに接続できる環境が必要なため、プロバイダーとの接続料金や通信料金が別途かかります。



- ソフトウェアをアンインストール（削除）するときは以下の操作を行います。
 - Windows のときは、[スタート] メニュー ▶ [すべてのプログラム] ▶ [Canon Utilities] のあと、アンインストールしたいソフトウェアを選びます。
 - Mac OS のときは、[アプリケーション] フォルダ ▶ [Canon Utilities] フォルダを選んだあと、アンインストールしたいソフトウェアのフォルダをゴミ箱に移動し、ゴミ箱を空にします。

Wi-Fi 接続するための設定をする（Windows のみ）

お使いのパソコンが Windows のときは、カメラと Wi-Fi で接続するために、次の手順で Windows の設定を行ってください。



1 パソコンがアクセスポイントに接続していることを確認する

- 確認方法はパソコンの使用説明書を参照してください。

2 設定する

- [スタート] メニュー ▶ [すべてのプログラム] ▶ [Canon Utilities] ▶ [CameraWindow] ▶ [Wi-Fi 接続のための設定] の順にクリックします。
- 起動したアプリケーションの画面にしたがって、設定してください。



- 手順 2 のアプリケーションを実行すると、Windows に次の設定が行われます。
 - メディアストリーミングを有効にする
Wi-Fi で接続するパソコンをカメラが参照（検索）できるようになります。
 - ネットワーク探索を有効にする
パソコンがカメラを参照（検索）できるようになります。
 - ICMP（Internet Control Message Protocol）を有効にする
ネットワーク接続の通信状態を確認できるようになります。
 - UPnP（Universal Plug & Play）を有効にする
ネットワーク機器を自動認識できるようになります。
- パソコンにインストールされているセキュリティソフトによっては、上記の操作を行っても設定できないことがあります。セキュリティソフトの設定を確認してください。

■ カメラとパソコンを接続して画像を取り込む

既存のアクセスポイントにカメラを Wi-Fi 接続します。

お使いのアクセスポイントの使用説明書もあわせて参照してください。

アクセスポイントを確認する

アクセスポイントとなる Wi-Fi 親機 (Wi-Fi ルーターなど) は、「カメラ」(386) に記載している Wi-Fi 規格に対応しているものをお使いください。

アクセスポイントが WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応しているとき (256) と対応していないとき (260) で、接続方法は異なります。また、WPS に対応していないアクセスポイントでは、次の項目を確認してください。

- ネットワーク名 (SSID/ESSID)
お使いのアクセスポイントの SSID または ESSID です。「アクセスポイント名」や「ネットワーク名」とも呼ばれることもあります。
- ネットワークの認証 / データの暗号化 (暗号化方式 / 暗号化モード)
無線通信時のデータを暗号化する方式です。「WPA2-PSK (AES)」 「WPA2-PSK (TKIP)」 「WPA-PSK (AES)」 「WPA-PSK (TKIP)」 「WEP (オープンシステム認証)」 「なし」 のいずれであるかを確認してください。
- パスワード (暗号化キー / ネットワークキー)
無線通信時のデータを暗号化するために使われるキー (鍵) です。「暗号化キー」や「ネットワークキー」と呼ばれることもあります。
- キーのインデックス (送信キー)
「ネットワークの認証 / データの暗号化」が「WEP」のときに設定するキーです。「1」にしてください。



- システム管理者がいるネットワーク内で設定するときは、ネットワーク管理者にネットワーク設定の詳細をお問い合わせください。
- これらの情報はセキュリティ上大変重要なものです。取り扱いには十分ご注意ください。



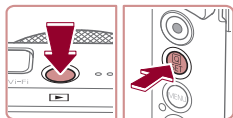
- アクセスポイントが WPS に対応しているかどうかや、設定の確認方法は、お使いのアクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- ルーターとは、複数のパソコンなどを接続して、ネットワーク (LAN) を構築するときに使われる機器です。さらに、Wi-Fi 機能を内蔵しているルーターを「Wi-Fi ルーター」と呼びます。
- 本書では、Wi-Fi ルーターなどの Wi-Fi 親機すべてを「アクセスポイント」と呼びます。
- お使いの Wi-Fi で MAC アドレスをフィルタリングしているときは、アクセスポイントにカメラの MAC アドレスを登録してください。カメラの MAC アドレスは、MENU (41) の [4] タブにある [Wi-Fi 設定] の [MAC アドレスの確認] を選ぶと確認できます。

WPS に対応したアクセスポイントを使う

WPS とは、Wi-Fi 機器同士を接続する際の各種設定をかんたんに行う仕組みです。WPS に対応した機器では、設定方式としてプッシュボタン方式と PIN コード方式を使用できます。

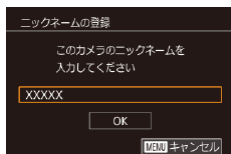
1 パソコンがアクセスポイントに接続されていることを確認する

- 確認方法はそれぞれの機器およびアクセスポイントの使用説明書を参照してください。



2 Wi-Fi メニューを表示する

- [▶] ボタンを押します。
- [SET] ボタンを押します。
- [(W)] をタッチしたあと、[SET] ボタンを押します。

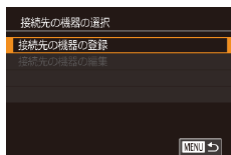


- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[OK] をタッチします。



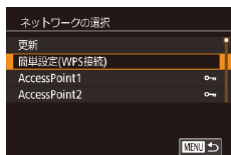
3 [パソコン] を選ぶ

- [パソコン] をタッチします。



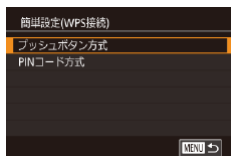
4 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [接続先の機器の登録] をタッチします。



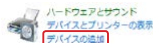
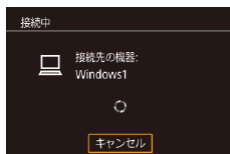
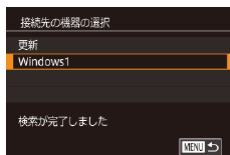
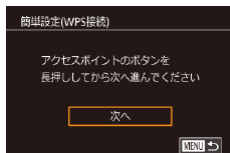
5 [簡単設定 (WPS 接続)] を選ぶ

- [簡単設定 (WPS 接続)] をタッチします。



6 [プッシュボタン方式] を選ぶ

- [プッシュボタン方式] をタッチします。



7 接続をはじめる

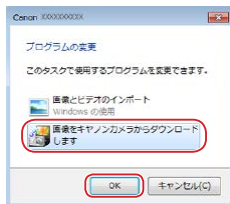
- アクセスポイントにある WPS 接続用のボタンを数秒間押したままにします。
- [次へ] をタッチします。
- カメラがアクセスポイントに接続し、そのアクセスポイントに接続している機器の一覧が「接続先の機器の選択」画面に表示されます。

8 接続先の機器を選ぶ

- 接続先の機器の名前をタッチしたあと、[SET] ボタンを押します。

9 ドライバーをインストールする (Windows の初回接続時のみ)

- カメラにこの画面が表示されたら、パソコンのスタートメニューから「コントロールパネル」をクリックし、「デバイスの追加」をクリックします。
- 接続したカメラのアイコンをダブルクリックします。
- ドライバーのインストールがはじまります。
- ドライバーのインストールが終わってカメラとパソコンの接続が完了すると、「自動再生」画面が表示されます。このとき、カメラの画面には何も表示されなくなります。



10 CameraWindow を表示する

- Windows では、[画像をキヤノンカメラからダウンロードします] をクリックすると、CameraWindow が表示されます。
- Mac OS では、カメラとパソコンが Wi-Fi で通信できる状態になると、CameraWindow が自動的に表示されます。

11 画像を取り込む

- [カメラ内の画像の取り込み] をクリックしたあと、[未転送画像を取り込む] をクリックします。
- 画像がパソコンに取り込まれて、「ピクチャ」フォルダ内に撮影日ごとのフォルダに分けられて保存されます。
- 取り込みの完了画面で、[OK] をクリックします。
- パソコンに取り込んだ画像を見るときは Digital Photo Professional、動画を見るときはカメラで撮影した動画に対応したソフトウェア（パソコンに標準でインストールされているソフトウェアや汎用のソフトウェア）をお使いください。

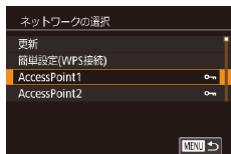


- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示され、項目をタッチするだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは左右にドラッグして機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (📖41) の [🔌4] タブにある [Wi-Fi 設定] の [接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- 手順 2 の画面でカメラのニックネームを変えることもできます (📖288)。
- パソコンとの接続中、カメラの画面には何も表示されません。
- Mac OS で CameraWindow が表示されないときは、Dock (デスクトップ下部に表示されるバー) の [CameraWindow] アイコンをクリックします。
- カメラとの接続を切断するには、カメラの電源を切ってください。
- 手順 6 で [PIN コード方式] を選択したときは、画面に表示された PIN コードをアクセスポイントに設定します。次に [接続先の機器の選択] 画面で接続する機器を選びます。詳しくは、お使いのアクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- タッチアクション設定 (📖215) で接続先を設定すると、次回以降は、接続する操作をせずにドラッグ操作だけで最後に接続した接続先にカメラが自動で接続しにいきます。

一覧に表示されたアクセスポイントを使う

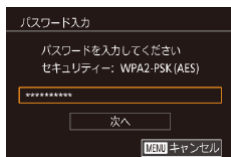
1 アクセスポイントの一覧を表示する

- 「WPS に対応したアクセスポイントを使う」 (📖256) の手順 1 ～ 4 の操作で、ネットワーク (アクセスポイント) の一覧を表示します。



2 アクセスポイントを選ぶ

- ネットワーク（アクセスポイント）を選んでタッチします。



3 アクセスポイントのパスワードを入力する

- 図の枠内をタッチしてキーボードを表示し、パスワードを入力します (📖44)。
- [次へ] をタッチします。



4 [自動] を選ぶ

- [自動] を選びタッチします。
- 「WPS に対応したアクセスポイントを使う」 (📖256) の手順 8 以降の操作で、パソコンと接続して画像を取り込みます。



- アクセスポイントのパスワードについては、アクセスポイントの本体あるいは使用説明書を参照してください。
- 手順 2 で [更新] を選んで一覧を更新してもアクセスポイントが検出されないときは、手順 2 で [手動設定] を選ぶと、アクセスポイントを手動で設定できます。画面の指示にしたがって SSID の入力、セキュリティ設定、パスワードの入力を行ってください (📖255)。
- 接続したことのあるアクセスポイントを使って他の機器に接続するときは、手順 3 でパスワードが「*」で表示されます。同じパスワードを使うときは、そのまま、[次へ] をタッチします。

接続したことのあるアクセスポイントがあるとき

接続したことのあるアクセスポイントがあるときは、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(📖256)の手順 4 の操作で、カメラが自動でそのアクセスポイントに接続します。

- そのアクセスポイントを使って接続するときは、接続先の機器がそのアクセスポイントに接続されていることを確認し、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(📖256)の手順 8 から操作してください。
- 別のアクセスポイントを使うときは、接続の最中に表示される画面の「ネットワーク変更」を選んだあと、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(📖256)の手順 5 または「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」(📖260)の手順 2 から操作してください。

■ 利用する Web サービスの情報を登録する

パソコンまたはスマートフォンを使って、利用する Web サービスの情報をカメラに登録します。

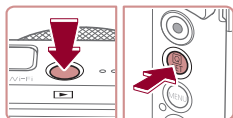
- CANON IMAGE GATEWAY をはじめとする各種 Web サービスの設定には、インターネットに接続できるパソコンまたはスマートフォンおよびブラウザが必要です。
- CANON IMAGE GATEWAY に接続する際にお使いいただくブラウザ（Microsoft Internet Explorer など）のバージョンや設定条件については、CANON IMAGE GATEWAY のサイトで確認してください。
- CANON IMAGE GATEWAY のサービスに対応している国 / 地域の情報は、弊社 Web サイト（<http://www.canon.com/cig/>）で確認してください。
- CANON IMAGE GATEWAY 以外の Web サービスも利用するときは、その Web サービスのアカウントが必要です。詳しくは、各 Web サービスの Web サイトを確認してください。
- プロバイダーとの接続料金、およびプロバイダーのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。



- CANON IMAGE GATEWAY から使用説明書をダウンロードすることができます。

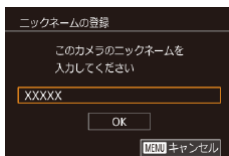
CANON iMAGE GATEWAY を登録する

CANON iMAGE GATEWAY とカメラを連携できるように、CANON iMAGE GATEWAY をカメラに登録します。なお、この設定では、カメラ連携設定をするための通知メールを送りますので、お使いのパソコンやスマートフォンのメールアドレスが必要になります。



1 Wi-Fi メニューを表示する

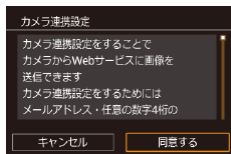
- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- [Wi-Fi] ボタンを押します。
- [Wi-Fi] をタッチしたあと、[SET] ボタンを押します。
- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[OK] をタッチします。



2 [☁] を選ぶ

- [☁] をタッチします。





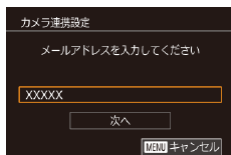
3 メールアドレス入力許諾に同意する

- 表示される記載を読み「同意する」をタッチします。



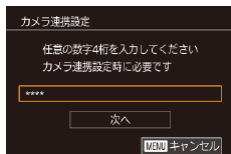
4 アクセスポイントへの接続をはじめる

- 「Wi-Fi に対応したアクセスポイントを使う」(256) の手順 5～7 または「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」(260) の手順 2～4 の操作でアクセスポイントへの接続を行います。



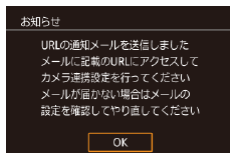
5 メールアドレスを入力する

- カメラがアクセスポイントを経由して CANON iMAGE GATEWAY に接続するとメールアドレスを入力する画面が表示されます。
- メールアドレスを入力し、「次へ」をタッチします。



6 4桁の数字を入力する

- 任意の数字 4 桁を入力し、「次へ」をタッチします。
- この 4 桁の数字は、手順 8 の CANON iMAGE GATEWAY でカメラ連携の設定をするときに必要になります。



7 通知メールが送信されたことを確認する

- CANON iIMAGE GATEWAY に情報を送られると、手順 5 で入力したメールアドレスに通知メールが送信されます。
- 通知メールを送信したお知らせの画面が表示されるので、[OK] をタッチします。
- [☁] が [☁📷] になります。

8 受信した通知メールの URL にアクセスしてカメラ連携の設定をする

- パソコンまたはスマートフォンから通知メールに記載してある URL にアクセスします。
- カメラ連携設定ページの案内にしたがって設定します。

9 カメラに CANON iIMAGE GATEWAY を設定する

- [☁📷] をタッチします。
- [📷] (📖 279) と CANON iIMAGE GATEWAY が送信先として追加されます。
- 続けて Web サービスを追加することもできます。このときは、「他の Web サービスを登録する」(📖 267) の手順 2 から操作してください。



- お使いのパソコンまたはスマートフォンのメール設定が、特定ドメインのメールを受信拒否するようになっていると、通知メールを受信できないことがありますので事前に確認してください。



- 手順 1 の画面でカメラのニックネームを変えることもできます (288)。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとする、最近接続した接続先名が最初に表示されるので、左右にドラッグして機器の選択画面を表示して設定します。
- タッチアクション設定 (215) で接続先を設定すると、次回以降は、接続する操作をせずにドラッグ操作だけで最後に接続した接続先にカメラが自動で接続しにいきます。

他の Web サービスを登録する

CANON iIMAGE GATEWAY 以外の Web サービスをカメラに登録します。



1 CANON iIMAGE GATEWAY にアクセスして、カメラ連携設定のページを表示する

- パソコンまたはスマートフォンを操作して、インターネットで CANON iIMAGE GATEWAY サイト
「<http://www.canon.com/cig/>」へアクセスします。



2 利用する Web サービスの設定をする

- パソコンまたはスマートフォンを操作し、画面の指示にしたがって、利用する Web サービスの設定をします。



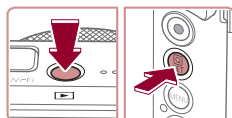
3 [☁️] を選ぶ

- 再生モードで [⏮️] ボタンを押します。
- [⏮️] をタッチしたあと、[⏮️] ボタンを押します。
- 画面を左右にドラッグして [☁️] をタッチします。
- Web サービスの設定が更新されます。



- 一度設定した内容を変更するときも同じ操作でカメラの設定を更新してください。

■ Web サービスに画像を送る



1 Wi-Fi メニューを表示する

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- [⏮️] ボタンを押します。
- [⏮️] をタッチしたあと、[⏮️] ボタンを押します。



2 接続先を選ぶ

- 接続先のWebサービスのアイコンをタッチします。
- 同じ Web サービスに複数の送信先や公開範囲などがあるときは、[送信先の選択] 画面が表示されるので、項目をタッチしたあと、[⏮️] ボタンを押します。



3 画像を送る

- 画像を左右方向にドラッグして、送信したい画像を選び、[この画像を送信]をタッチします。
- YouTube へ送信するときは、続いて表示される利用規約を読み [同意する] をタッチします。
- 画像の送信が開始されます。画像の送信中は画面が暗くなります。
- 送信が完了したら表示される画面で [OK] をタッチすると、再生モードの画面に戻ります。



- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズの変更やコメントの追加をして送ったりすることができます (P.274)。
- スマートフォンで CANON iMAGE GATEWAY に送信した画像を見るときは、専用のアプリケーション「Canon Online Photo Album」を使うことをおすすめします。iPhone や iPad では App Store から、Android のスマートフォンでは Google Play から、Canon Online Photo Album を検索してダウンロードし、インストールしてください。

プリンターにつないで画像を印刷する

Wi-Fi 機能を持つプリンターとカメラを接続して印刷します。

なお、ここではカメラをアクセスポイントにして接続する手順を説明しますが、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます(📖249)。

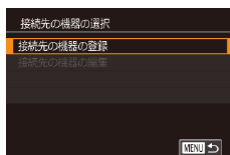
1 Wi-Fi メニューを表示する

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(📖247) の手順 2 の操作で Wi-Fi メニューを表示します。



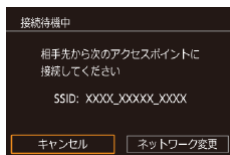
2 [🖨️] を選ぶ

- [🖨️] をタッチします。



3 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [接続先の機器の登録] をタッチします。

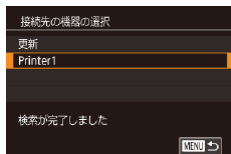


- 画面にカメラの SSID が表示されます。



4 プリンターをネットワークに接続する

- プリンターの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名) を選択して接続します。



5 プリンターを選ぶ

- プリンターの名前をタッチします。



6 画像を選んで印刷する

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選びます。
- [⌂] ボタンを押したあと、[⌂] を選び、[⌂] ボタンを押します。
- [印刷] をタッチします。
- 詳しい印刷方法については「印刷する」(324)を参照してください。
- 接続を切断するには、[中止] をタッチして表示された確認画面で [OK] をタッチします。



- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとする、最近接続した接続先名が最初に表示され、項目を選ぶだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは画面を左右にドラッグして機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (41) の [4] タブにある [Wi-Fi 設定] の [接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- ほかのアクセスポイントを使うときは、「ほかのアクセスポイントを使う」(249)の手順3～4を参照してください。
- タッチアクション設定 (215) で接続先を設定すると、次回以降は、接続する操作をせずにドラッグ操作だけで最後に接続した接続先にカメラが自動で接続していきます。

別のカメラに画像を送る

2 台のカメラ同士で Wi-Fi 接続して画像を送信できます。

- Wi-Fi 接続できるのは、キヤノン製の Wi-Fi 対応カメラのみです。Eye-Fi カードに対応していても Wi-Fi に対応していないキヤノン製カメラへは接続できません。

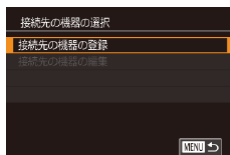
1 Wi-Fi メニューを表示する

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(P.247) の手順 2 の操作で Wi-Fi メニューを表示します。



2 [カメラ] を選ぶ

- [カメラ] をタッチします。



3 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [接続先の機器の登録] をタッチします。
- 相手のカメラも手順 1 ～ 3 を行います。
- 両方のカメラで [接続先のカメラでも通信を開始してください] 画面が表示されると登録が始まります。



4 画像を送る

- 画像を左右方向にドラッグして、送信したい画像を選び、[この画像を送信]をタッチします。
- 画像の送信が開始されます。画像の送信中は画面が暗くなります。
- 送信が完了すると、[送信が完了しました]と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。
- カメラとの接続を切断するには、画面右上の **[MENU]** をタッチして表示される確認画面で **[OK]** をタッチします。



- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとする、最近接続した接続先名が最初に表示され、項目を選ぶだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは画面を左右にドラッグして機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (📖 41) の **[🔧 4]** タブにある **[Wi-Fi 設定]** の **[接続先履歴の表示]** で **[切]** を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズを変えて送ったりすることができます (📖 278)。
- タッチアクション設定 (📖 215) で接続先を設定すると、次回以降は、接続する操作をせずにドラッグ操作だけで最後に接続した接続先にカメラが自動で接続していきます。

画像送信について

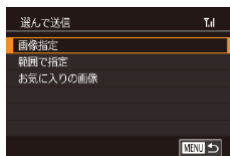
複数の画像を選んで同時に送ったり、記録画素数（画像の大きさ）を変えて送ることができます。また、Web サービスによっては、コメントをつけて画像を送信することができます。

複数の画像を送信する



1 「選んで送信」を選ぶ

- 画像送信の画面で、「選んで送信」をタッチします。



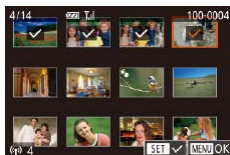
2 指定方法を選ぶ

- 指定方法をタッチしたあと、[Q/SET] を押します。

1 枚ずつ指定する

1 「画像指定」を選ぶ

- 「複数の画像を送信する」の手順 2 (p.274) の操作で「画像指定」を選び、[Q/SET] ボタンを押します。



2 画像を選ぶ

- 送信したい画像をタッチすると [✓] が表示されます。
- もう一度タッチすると [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。
- 画像の選択が終わったら、[MENU] ボタンを押します。
- [OK] をタッチします。

3 送信する

- [送信] をタッチします。



- 手順 2 でズームレバーを [Q] 側に 2 回押すと、1 枚表示に切り換わり、画像をタッチすることもできます。

範囲で指定する

1 [範囲で指定] を選ぶ

- 「複数の画像を送信する」の手順 2 (274) の操作で [範囲で指定] を選び、[OK] ボタンを押します。



2 画像を指定する

- 「範囲で指定する」の手順2～3（[書205](#)）の操作で指定します。
- 動画も送信するときは、 をタッチして「動画含む」に[✓]を付けます。
- [OK] をタッチします。

3 送信する

- [送信] をタッチします。

お気に入り設定した画像を送る

お気に入り設定（[書213](#)）した画像をまとめて送ることができます。

1 【お気に入りの画像】を選ぶ

- 「複数の画像を送信する」の手順2（[書274](#)）の操作で「お気に入りの画像」を選び、 ボタンを押します。
- お気に入り設定した画像だけの画像選択画面が表示されます。画像をタッチして[✓]を外し、送信しないようにすることもできます。
- 画像の選択が終わったら、[MENU] ボタンを押します。
- [OK] をタッチします。

2 送信する

- [送信] をタッチします。



- お気に入り設定された画像がないときは、手順1で「お気に入りの画像」は選べません。

■ 画像送信時の注意事項

- お使いの通信環境によっては、動画の送信に非常に時間がかかります。バッテリー残量にご注意ください。
- Web サービスによっては送信できる画像の数や動画の時間が制限されます。
- 圧縮 (227) していない動画は、再圧縮されてもとの動画とは別の動画として送信されます。また、この処理に時間がかかることや、カード容量の不足で送信できないことがあります。
- スマートフォンに送信するとき、スマートフォンによっては、送信できる動画の画質に制限があります。詳しくは、お使いのスマートフォンの使用説明書などを参照してください。
- 画面には電波の状態を示す以下のアイコンが表示されます。
[電波アイコン] 強、[電波アイコン] 中、[電波アイコン] 弱、[電波アイコン] 微弱
- Web サービスに送信するとき、一度、送信したことがある画像では、CANON iIMAGE GATEWAY のサーバーにある画像が再利用されるので送信時間は短くなります。

記録画素数（画像の大きさ）を選ぶ

画面で、**[F4]** をタッチして、送信する画像の記録画素数（画像の大きさ）を選ぶことができます。

- **[しない]** を選ぶと、リサイズされずもとの画像の大きさのままで送信されます。
- **[M2]** を選ぶと、選んだ記録画素数より大きい画像がリサイズされて送信されます。
- 動画はリサイズできません。



- MENU (📖 41) で **[F4]** タブの **[Wi-Fi 設定]** を選び、**[送信時のリサイズ設定]** でも設定できます。

コメントを入力して送信する

SNS やメールなどに画像を送信するときに、カメラでコメントを入力することができます。なお、送信先の Web サービスによって入力できる文字数は異なります。



1 コメント入力画面を表示する

- 画像を送信する画面で **[🗨]** をタッチします。

2 コメントを入力する (📖 44)

3 送信する



- コメントを入力しなかったときは、CANON IMAGE GATEWAY で設定したコメントが自動で送信されます。
- 複数の画像を送信するときにもコメントを入力できます。同時に送るすべての画像で同じコメントになります。

画像を自動で送る（クラウドシンクロ）

カード内の未転送の画像を CANON iIMAGE GATEWAY 経由でパソコンや Web サービスに送信することができます。

なお、Web サービスだけに送信することはできません。

■ 準備する

カメラの準備をする

接続先として [E] を登録します。なお、[] ボタンに [E] を登録しておくと、[] ボタンを押すだけで、カード内の未転送の画像を CANON iIMAGE GATEWAY 経由でパソコンに送信することができます。

送信先のパソコンに、クラウドシンクロ用のソフトウェア「Image Transfer Utility（イメージ トランスファー ユーティリティ）」（無料）をインストールして設定します。



1 [E] を登録する

- 「CANON iIMAGE GATEWAY を登録する」(264) の操作で、カメラに送信先として [E] を登録します。
- Web サービスにも画像を送信するときは、CANON iIMAGE GATEWAY にログインし (263)、カメラの機種を選んでから、Web サービス設定の画面を表示して、クラウドシンクロの設定で、送信したい Web サービスを選んでください。詳しくは、CANON iIMAGE GATEWAY のヘルプをご確認ください。

2 送信する画像の種類を選択する（動画も一緒に送信するときのみ）

- [MENU] ボタンを押して、[📁 4] タブの [Wi-Fi 設定] を選びます (📖 41)。
- [クラウドシンクロ] を選び [📺] ボタンを押したあと、[静止画+動画] を選びます。



3 [📺] ボタンに [📺] を登録する ([📺] ボタンを押して送信するときのみ)

- [📺] ボタンにスマートフォンを登録しているときは解除します (📖 244)。
- [📺] ボタンを押して画面を表示したあと、[📺] を選び、[📺] ボタンを押します。

パソコンの準備をする

送信先のパソコンにソフトウェアをインストールして設定します。



1 Image Transfer Utility をインストールする

- インターネットに接続したパソコンに Image Transfer Utility をインストールします（[図 252](#)）。
- Image Transfer Utility は CANON iIMAGE GATEWAY のクラウドシンクロ設定画面（[図 279](#)）からもダウンロードできます。

2 カメラを登録する

- Windows では、タスクバー（画面下部に表示されるバー）で  を右クリックして「新しいカメラの追加」をクリックします。
- Mac OS では、メニューバー（画面上部に表示されるバー）で  をクリックして「新しいカメラの追加」をクリックします。
- CANON iIMAGE GATEWAY と連携しているカメラの一覧が表示されるので、送信元になるカメラを選びます。
- カメラが登録されて画像を受信できるようになると、アイコンが  に変わります。

■ 画像を送る

カメラを操作して画像を送信すると、パソコンに自動で保存されます。
なお、転送先に設定したパソコンが起動していないときは CANON
iIMAGE GATEWAY のサーバーに一時的に画像を保存しています。一定
期間で削除されるのでパソコンを起動して画像を保存してください。

1 画像を送る

-  ボタンに  を登録しているときは、
 ボタンを押します。
- 登録していないときは、「Web サービス
に画像を送る」( 268) の手順 1 ～
2 の操作で  を選びます。
- 送信された画像には  が表示されます。

2 パソコンに保存する

- パソコンを起動すると、自動で画像が保
存されます。
- Web サービスには、パソコンを起動しな
くても、CANON iIMAGE GATEWAY
のサーバーから画像が自動で転送されま
す。



- 画像を送信するときは、フル充電されたバッテリーか AC アダプ
ターキット（別売）( 310) を使うことをおすすめします。



- 他の方法でパソコンに取り込んだ画像でも、CANON iIMAGE
GATEWAY 経由で未転送のときは送信されます。
- カメラと同じネットワークに送信先のパソコンが接続されている
ときは、CANON iIMAGE GATEWAY を経由しないで、アクセ
スポイント経由で画像が送信されるので、送信時間が短くなりま
す。なお、パソコンに保存された画像は、パソコンから CANON
iIMAGE GATEWAY に送信されるので、パソコンがインターネット
に接続している必要があります。

クラウドシンクロで送信した画像をスマートフォンで見ると

スマートフォンに「Canon Online Photo Album (Canon OPA)」をインストールすると、クラウドシンクロで送信して CANON iMAGE GATEWAY に一時的に保存されている画像を、スマートフォンで見たりダウンロードすることができます。

なお、事前に次の準備が必要です。

- 「パソコンの準備をする」(281) の設定が終わっている必要があります。
- iPhone や iPad では App Store から、Android のスマートフォンでは Google Play から、Canon Online Photo Album を検索してダウンロードし、インストールしてください。
- CANON iMAGE GATEWAY にログインし (263)、カメラの機種を選んでから、Web サービス設定の画面を表示して、クラウドシンクロの設定で、スマートフォンで閲覧・ダウンロードできるように設定を変えてください。詳しくは、CANON iMAGE GATEWAY のヘルプをご確認ください。



- 一定期間を過ぎて CANON iMAGE GATEWAY から削除された画像は見ることはできません。
- クラウドシンクロの設定で、スマートフォンで閲覧・ダウンロードできるように設定する前に送信した画像は見ることはできません。



- Canon Online Photo Album の操作については、Canon Online Photo Album のヘルプを参照してください。

スマートフォンでカメラ内の画像やカメラを操作する

スマートフォンの専用アプリケーション Camera Connect を使うと次の操作が行えます。

- カメラ内の画像を一覧で表示したり、スマートフォンに保存したりする
- カメラ内の画像に GPS 情報を記録する (📖284)
- リモート撮影をする (📖285)



- 操作するスマートフォンに対して画像を公開する設定にしておく必要があります (📖244、📖247、📖287)。

カメラ内の画像に GPS 情報を記録する

スマートフォンの専用アプリケーション Camera Connect で記録しておいた GPS 情報（緯度、経度、標高など）を、カメラ内の画像に記録することができます。



- 撮影前に「日付／時刻を設定する」(📖23) で日付／時刻と自宅エリアが正しく設定されていることを確認してください。また、旅行先など、自宅エリアと時差のある場所で撮影するときは、「世界時計を使う」(📖298) で訪問先のエリアを設定してください。
- GPS 情報を記録した静止画や動画は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのため、GPS 情報が記録されている静止画や動画を他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。

■ リモート撮影をする

スマートフォンで撮影画面を確認しながら、スマートフォンをリモコン代わりに操作して撮影することができます。

1 撮影モードを選ぶ

- モードダイヤルを回して **[P]** **[Tv]** **[Av]** **[M]** **[C]** のどれかのモードを選びます。

2 カメラを固定する

- リモート撮影をはじめるとカメラのレンズが出てきます。また、ズーム操作によるレンズの動きでカメラが傾くことがあります。三脚に取り付けるなどしてカメラを安定させてください。

3 カメラとスマートフォンを接続する (244、 247)

- 画像の公開設定では **「はい」** を選んでください。

4 リモート撮影を選ぶ

- スマートフォンを操作して、Camera Connect でリモート撮影を選びます。
- カメラのレンズが出てくるので、レンズ付近を押さえたり、物を置かないようにしてください。
- リモート撮影の準備ができると、スマートフォンの画面にカメラからの映像が表示されます。
- カメラの画面にはメッセージが表示され、電源ボタン以外は操作できなくなります。

5 撮影する

- スマートフォンを操作して撮影します。



- **[P]** **[Tv]** **[Av]** **[M]** **[C]** 以外のモードに設定しているときは、**[P]** モードで撮影されます。ただし、あらかじめ設定したクイック設定メニューや MENU の一部が、自動的に変わることがあります。
- 動画は撮影できません。



- 接続環境によっては、スマートフォンに表示されるカメラからの映像がややごちちなくなることがありますが、記録される画像に影響はありません。
- 撮影した画像はスマートフォンには転送されません。スマートフォンを操作して、カメラ内の画像を表示して保存してください。

Wi-Fi の設定を編集 / 消去する

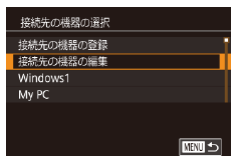
Wi-Fi に関する、設定の編集 / 消去方法について説明します。

接続情報を編集する



1 Wi-Fi メニューを表示し、編集する機器を選ぶ

- [▶] ボタンを押します。
- [SET] ボタンを押します。
- [(P)] をタッチしたあと、[SET] ボタンを押します。
- 画面を左右にドラッグして機器の選択画面を表示したあと、編集したい機器のアイコンをタッチします。



2 [接続先の機器の編集] を選ぶ

- [接続先の機器の編集] をタッチしたあと、[SET] ボタンを押します。



3 編集する接続先を選ぶ

- 編集したい接続先をタッチしたあと、[SET] ボタンを押します。

4 編集する項目を選ぶ

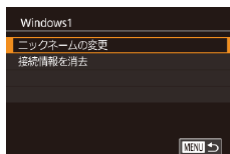
- 編集したい項目をタッチします。
- 編集できる項目は、接続先によって異なります。

編集できる項目	接続先				
					Web サービス
[ニックネームの変更] (📖288)	○	○	○	○	—
[画像の公開設定] (📖244)	—	○	—	—	—
[接続情報を消去] (📖288)	○	○	○	○	—

○：設定可 —：設定不可

接続先のニックネームを変更する

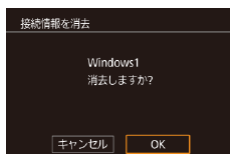
カメラに表示させる接続先のニックネーム（表示名）を変更できます。



- 「接続情報を編集する」(📖287)の手順4の操作で「ニックネームの変更」を選び、[🔍] ボタンを押します。
- 入力欄を選んで [🔍] ボタンを押し、表示されたキーボードでニックネームを入力しなおします (📖44)。

接続情報を消去する

接続情報（接続先の機器の情報）を消去できます。



- 「接続情報を編集する」(📖287)の手順4の操作で「接続情報を消去」を選び、[🔍] ボタンを押します。
- 「消去しますか？」が表示されたら、[OK] をタッチします。
- 接続情報が消去されます。

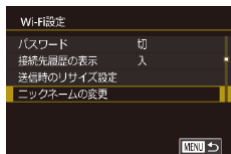
カメラのニックネームを変える

接続先の機器に表示されるカメラのニックネームを変えることができます。



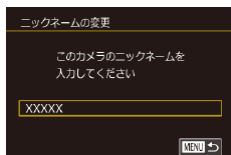
1 [Wi-Fi 設定] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[Wi-Fi 設定] を選びます (41)。



2 [ニックネームの変更] を選ぶ

- 画面を上下方向にドラッグして [ニックネームの変更] を選び、[SET] ボタンを押します。



3 ニックネームを変更する

- [SET] ボタンを押して表示されたキーボード (44) でニックネームを入力します。



- ニックネームの 1 文字目に記号やスペースを入力しようとするとメッセージが表示されます。[SET] ボタンを押してから入力をお願いします。
- はじめて Wi-Fi 機能を使うときに表示される [ニックネームの登録] 画面で、入力欄を選んで [SET] ボタンを押してキーボードを表示させて、ニックネームを変えることもできます。

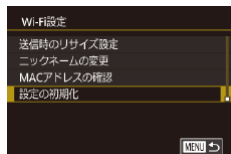
Wi-Fi の設定を初期化する

カメラを譲渡したり廃棄したりするときは、Wi-Fi の設定を初期化します。Wi-Fi の設定を初期化すると、Web サービスの設定内容もすべて消去されます。十分に確認してから初期化してください。



1 [Wi-Fi 設定] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[🔌 4] タブの [Wi-Fi 設定] を選びます (📖41)。



2 [設定の初期化] を選ぶ

- 画面を上下方向にドラッグして [設定の初期化] をタッチします。

3 初期化する

- [OK] をタッチします。
- Wi-Fi の設定が初期化されます。



- Wi-Fi 以外の設定を初期化するときは、[🔌 4] タブの [カメラ設定初期化] を選びます (📖306)。

設定メニュー

カメラの基本機能を変えて使いやすくする

カメラの基本機能を変える

MENU (📖 41) の [🔧 1] [🔧 2] [🔧 3] [🔧 4] [🔧 5] タブで設定します。
ふだん使う上での便利な機能を自分好みに設定することができます。

フォルダを撮影日ごとに作る

撮影した画像を保存するフォルダは月ごとに作成されますが、撮影日ごとに作成することもできます。



- [🔧 1] タブの [フォルダ作成] を選び、[毎日] を選びます。
- 撮影日ごとに新しいフォルダが作られ、撮影した画像が保存されます。

画像番号のつけかたを変える

撮影した画像には、撮影した順に 0001 ~ 9999 の番号がつけられ、1 つのフォルダに 2000 枚ずつ保存されます。この画像番号のつけかたを変えることができます。



- [🔧 1] タブの [画像番号] を選び、目的の項目を選びます。

通し番号	画像番号 9999 の画像が撮影／保存されるまでは、カードを変えて撮影しても連番になります。
オートリセット	カードを変えたり、フォルダが新しく作られたときは、画像番号が 0001 に戻ります。



- [通し番号] [オートリセット] とともに、変えるカードに画像が入っているときは、その画像番号の続き番号になることがあります。画像番号 0001 の画像から順に保存したいときは、初期化 (📖 293) したカードをお使いください。

■ カードを初期化する

新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）することをおすすめします。

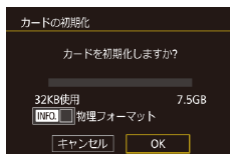
初期化するとカード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから初期化をしてください。

1 [カードの初期化] 画面を表示する

- [🔧 1] タブの [カードの初期化] を選び [🔧] ボタンを押します。

2 [OK] を選ぶ

- [OK] をタッチします。
- カードが初期化されます。



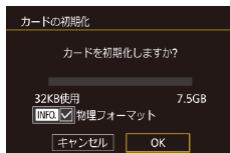
- カード内のデータは、初期化や消去をしてもファイル管理情報が変わるだけで、完全には消えません。カードを譲渡や廃棄するときは注意してください。廃棄するときはカードを破壊するなどして、個人情報の流出を防いでください。



- 初期化の画面で表示されるカードの総容量は、カードに表記されている容量よりも少なくなることがあります。

カードを物理フォーマット（初期化）する

「カードが異常です」のメッセージが表示されたとき、カメラが正しく動作しない、カードへの画像記録／再生時の読み出しや連続撮影速度が遅くなった、動画撮影が途中で止まるなどのときに行います。物理フォーマットをすると、カード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから物理フォーマットをしてください。



- 「カードを初期化する」の手順2 (📖 293) の画面で、[INFO.] ボタンを押して「物理フォーマット」に [✓] を表示します。
- 「カードを初期化する」の手順2 (📖 293) の操作で、初期化(物理フォーマット)します。



- 物理フォーマットはカード内の全記憶領域を初期化するため、「カードを初期化する」(📖 293) よりも時間がかかります。
- 物理フォーマット中に「中止」を選ぶと、初期化を中止できます。中止してもデータはすべて消去されますが、カードは問題なく使えます。

ビデオ方式を変える

テレビの映像方式を設定します。この設定に応じて、動画で選べる画質(フレームレート) も変わります。



- [📷 1] タブの「ビデオ方式」を選び、目的の項目を選びます。

水準器を調整する

水準器を使っても傾きが気になるときは、水準器を調整します。
グリッドライン（ 174）を使って、事前にカメラを水平にしておく、より確実に調整できます。

1 カメラを傾きがない状態にする

- 傾きがない台などの上にカメラを置きます。

2 調整する

- [ 1] タブの「水準器」を選び、[] ボタンを押します。
- 「調整」を選び [] ボタンを押すと、確認画面が表示されます。
- [OK] をタッチします。



水準器を初期化する

水準器の設定を初期状態に戻せます。水準器を調整していないときは、初期化できません。

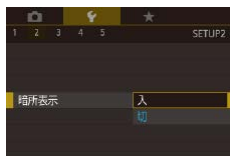
- [ 1] タブの「水準器」を選び、[] ボタンを押します。
- 「初期化」を選び、[] ボタンを押します。
- [OK] をタッチします。



画面に表示される情報の色を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

画面に表示される情報やメニュー画面の色を、暗いところで撮影をするときに適した色に変えられます。[] モード (📖 107) など撮影するときには、[入] にすることをおすすめします。



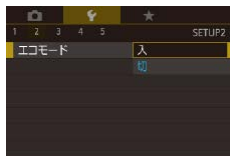
- [2] タブの [暗所表示] を選び、[入] を選びます (📖 41)。
- もとに戻すときは [切] を選びます。



- 撮影画面や再生モードで 1 枚表示のときに [INFO.] ボタンを 1 秒以上押したままにすることでも [切] に戻せます。

エコモードを使う

撮影モードでのバッテリーの消耗をおさえる機能です。カメラを操作していないときに、素早く画面を暗くして消費電力をおさえることができます。



1 設定する

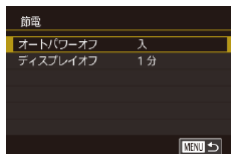
- [2] タブの [エコモード] を選び、[入] を選びます。
- 撮影画面 (📖 349) に [ECO] が表示されます。
- カメラを操作しないと約 2 秒後に画面が暗くなり、その約 10 秒後に画面が消えます。約 3 分後には電源が切れます。

2 撮影する

- 画面が消えている状態でもレンズが出ているときは、シャッターボタンを半押しすると画面が表示され、撮影できます。

■ 節電機能（オートパワーオフ）の設定を変える

節電機能（オートパワーオフ）を切ったり、画面が消えるまでの時間（ディスプレイオフ）を変えたりできます（[図 35](#)）。



- [🔧 2] タブの「節電」を選び、[ⓘ SET] ボタンを押します。
- 項目を選んだあと、設定を選びます。



- バッテリーの消耗を防ぐため、通常は、「オートパワーオフ」を「入」にし、「ディスプレイオフ」を「1分」以下にすることをすすめます。



- 「ディスプレイオフ」は、「オートパワーオフ」が「切」のときも働きます。
- エコモード（[図 296](#)）を「入」にしているときは、節電機能は使えません。

■ 画面の明るさを変える

画面の明るさを変えられます。



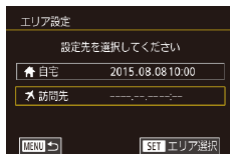
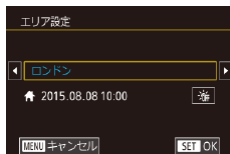
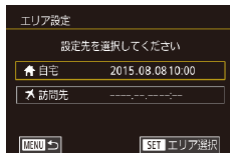
- [🔧 2] タブの「画面の明るさ」を選び、[ⓘ SET] ボタンを押します。
- [☀] か [★] をタッチして明るさを変えます。



- 撮影画面や再生モードで 1 枚表示のときに **[INFO.]** ボタンを 1 秒以上押したままにすると、画面が最高の明るさになります（**[F2]** タブの「画面の明るさ」設定は無効になります）。もう一度 **[INFO.]** ボタンを 1 秒以上押したままにするか、電源を入れなおすと、もとの明るさに戻ります。

世界時計を使う

海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先（旅行先）のエリアを登録しておく、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付／時刻を設定しなおす必要がなく便利です。

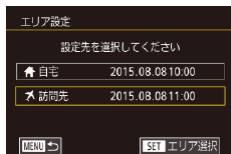


1 自宅のエリアを設定する

- **[F2]** タブの「エリア設定」を選び、**[SET]** ボタンを押します。
- はじめて設定するときは、**[↑自宅]** が選択されていることを確認し、**[SET]** ボタンを押します。
- **[◀]** か **[▶]** をタッチして自宅エリアを選びます。
[☀] をタッチすると、サマータイム（1 時間プラスされます）を設定できます。
- **[SET]** ボタンを押します。

2 訪問先のエリアを設定する

- **[✕訪問先]** をタッチしたあと、**[SET]** ボタンを押します。
- **[◀]** か **[▶]** をタッチして訪問先エリアを選びます。
- 手順 1 と同じように、サマータイムも設定できます。
- **[SET]** ボタンを押します。



3 訪問先のエリアに切り換える

- [✕訪問先] が選択されていることを確認し、[MENU] ボタンを押します。
- [エリア設定] や撮影画面 (349) に [✕] が表示されます。



- [✕] の状態で日付／時刻を変える (25) と、[🏠自宅] の日時も自動的に変わります。

日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。



- [🔧 2] タブの [日付／時刻] を選び、[SET] ボタンを押します。
- 設定する項目をタッチしたあと、[▲] か [▼] をタッチして設定します。

レンズ収納時間を変える

撮影状態から [▶] ボタンを押して約 1 分経過すると、安全のためレンズが収納されます (34)。[▶] ボタンを押すとすぐにレンズが収納されるようにしたいときは、収納時間を [0 秒] に設定します。



- [🔧 2] タブの [レンズ収納時間] を選び、[0 秒] を選びます。

表示言語を変える

画面に表示される言語を変えられます。



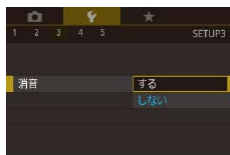
- [F3] タブの「言語」を選び、[SET] ボタンを押します。
- 言語を選び、[SET] ボタンを押します。



- 再生モードにして、[SET] ボタンを押したまま、すぐに「MENU」ボタンを押すことでも言語画面を表示できます。

音を鳴らさない

カメラの各種動作音や動画再生時の音声を鳴らさないようにできます。



- [F3] タブの「消音」を選び、[する] を選びます。



- 「INFO」ボタンを押したまま電源を入れても、音を鳴らさないようにできます。
- 音を鳴らさないようにしたときは、動画を再生したとき (184) の音声も鳴らなくなります。動画再生中に画面を上方向にドラッグすると音声は鳴り、上下方向にドラッグすると音量を調整できます。

音量を変える

カメラの各種動作音の音量を変えられます。



- [F3] タブの [音量] を選び、[SET] ボタンを押します。
- 画面を上下方向にドラッグして項目を選び、バーの上で設定したい位置をタッチして音量を変えます。

音を変える

カメラの各種動作音を変えられます。



- [F3] タブの [音の選択] を選び、[SET] ボタンを押します。
- 項目を選び、[SET] ボタンを押します。
- 内容を選びます。



- [A] モード (53) で撮影したダイジェスト動画に記録されるシャッター音は変えられません。

起動画面を変える

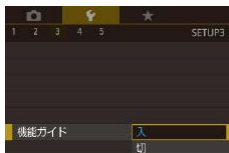
電源を入れたときに表示される起動画面を変えられます。



- [F1] タブの [起動画面] を選び、[SET] ボタンを押します。
- 内容を選びます。

機能の説明を表示しない

クイック設定メニュー（ 39）で項目を選ぶと、機能の説明が表示されます。この説明を表示しないようにすることができます。



- [📷 3] タブの [機能ガイド] を選び、[切] を選びます。

撮影モードを一覧で表示する

撮影モードの選択画面で、モード名は表示せず、撮影モードのアイコンだけを一覧表示することで素早くモードを選ぶことができます。



- [📷 3] タブの [撮影モード選択画面] を選び、[一覧表示] を選びます。

タッチパネルの感度を上げる

タッチパネルの感度を上げて、軽いタッチにも敏感に反応するようにできます。



- [📷 4] タブの [タッチ操作] を選び、[敏感] を選びます。

タッチパネルを一時的にロックする

撮影画面でタッチパネルに誤って触れてしまったときの誤操作を防ぐことができます。



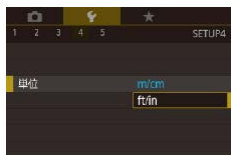
- [🔒 4] タブの[タッチロック設定]を選び、[🔒] ボタンを押します。
- [タッチロック] を選び、[する] を選びます。
- [ロックするまでの時間] を選び、目的の項目を選びます。
- ロックを解除するときは、シャッターボタンを半押しします。



- [MENU] ボタンなどの操作ボタンを押したり、[🔍] リングを回してもロックは解除されます。

距離表示の単位を変える

ズームバー (📖 50)、MF インジケーター (📖 141) などの表示単位を、m/cm から ft/in (フィート/インチ) に変えることができます。



- [🔒 4] タブの[単位] を選び、[ft/in] を選びます。

認証マークを確認する

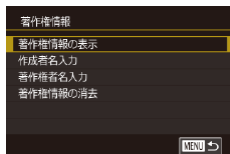
このカメラが対応している認証マークの一部は、画面に表示して確認できます。また、その他の認証マークは、本ガイドやカメラ本体、カメラが入っていた箱にも表記されています。



- [F4] タブの「認証マーク表示」を選び、
[SET] ボタンを押します。

画像に記録する著作権の情報を登録する

作成者名や著作権者名を登録しておく、撮影した画像に登録した情報を記録できます。



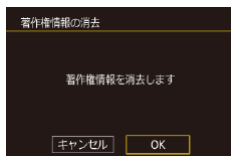
- [F4] タブの「著作権情報」を選び、
[SET] ボタンを押します。
- 「作成者名入力」か「著作権者名入力」を選び、
[SET] ボタンを押してキーボードを表示して、名前を入力します (44)。
- [MENU] ボタンを押すと、「変更内容を保存しますか？」が表示されるので、
[はい] をタッチします。
- 撮影する画像に、情報が記録されるようになります。



- 入力した内容は、上記の画面で「著作権情報の表示」を選び、
[SET] ボタンを押すと確認できます。

登録した著作権情報をまとめて消す

登録されている作成者名と著作権者名をまとめて消すことができます。



- 「画像に記録する著作権の情報を登録する」(📖 304) の操作で、[著作権情報の消去] を選びます。
- [OK] をタッチします。



- 画像に記録されている著作権情報は消されません。

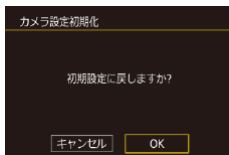
その他の基本機能を変える

次の機能も設定できます。

- [🔧 4] タブの [Wi-Fi 設定] (📖 237)
- [🔧 4] タブの [ワンタッチスマホボタン設定] (📖 244)

■ カメラの設定を初期状態に戻す

カメラの設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます。



1 [カメラ設定初期化] 画面を表示する

- [🔍 5] タブの [カメラ設定初期化] を選び、
[🔍 5] ボタンを押します。

2 初期状態に戻す

- [OK] をタッチします。
- カメラが初期状態に戻ります。

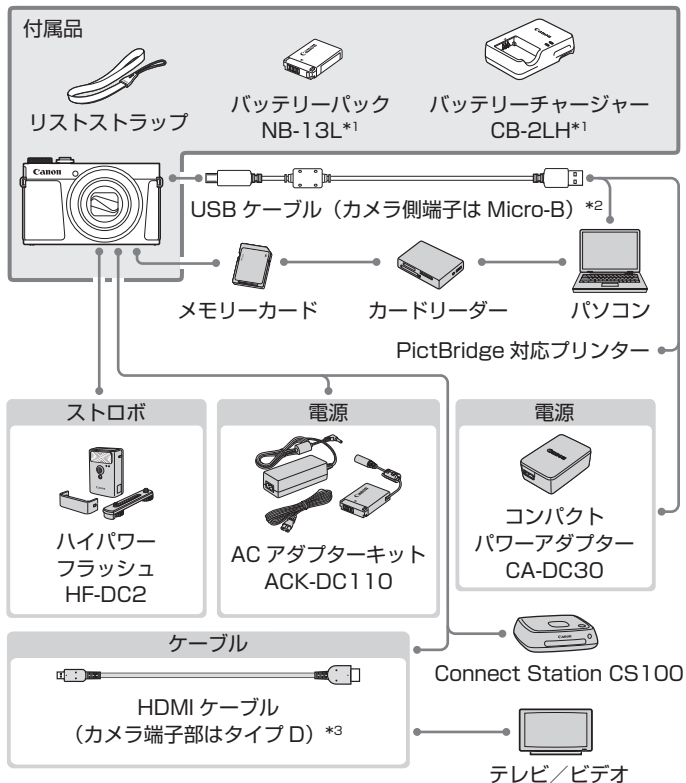


- 次の機能は初期状態に戻りません。
 - 個人認証機能で登録した内容 (📖 70)
 - [🔍 1] タブの [ビデオ方式] (📖 294)
 - [🔍 2] タブの [エリア設定] (📖 298)、[日付 / 時刻] (📖 299)、
[🔍 3] タブの [言語] (📖 300)
 - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ (📖 136)
 - 撮影モード
 - Wi-Fi 機能で登録した内容 (📖 237)
 - 水準器の調整内容 (📖 295)
 - 著作権情報 (📖 304)

アクセサリ

別売アクセサリや市販の対応機器を使って楽しみかたを広げる

システムマップ



*1 別売りも用意されています。

*2 キヤノン純正品 (インターフェースケーブル IFC-600PCU) もあります。

*3 長さ 2.5m 以下の市販品をお使いください。

アクセサリはキャノン純正品のご使用をおすすめします

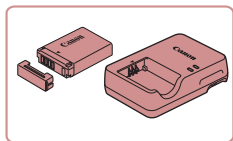
本製品は、キャノン純正の専用アクセサリと組みあわせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キャノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキャノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

別売アクセサリ

必要に応じてお買い求めの上、ご利用ください。なお、アクセサリは、諸事情により予告なく販売を終了することがあります。また、地域によってはお取り扱いがないことがあります。

電源



バッテリーパック NB-13L

- 充電式のリチウムイオン電池です。

バッテリーチャージャー CB-2LH

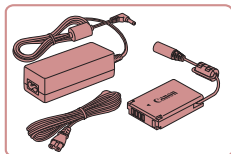
- バッテリーパック NB-13L 用のバッテリーチャージャーです。



- このカメラでキャノン純正以外のバッテリーをお使いになると、[バッテリー通信エラー] のメッセージが表示され、所定の操作が必要となります。なお、純正以外のバッテリーに起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。

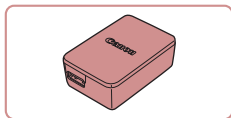


- バッテリーには、カバーがついているので、充電したバッテリーは▲が見えるように、充電前のバッテリーは▲が隠れるようにカバーを取り付けると、充電状態を見分けることができます。



AC アダプターキット ACK-DC110

- 家庭用電源でカメラを使えます。カメラを長時間連続して使うときや、プリンターやパソコンとつなぐときには、この AC アダプターキットをお使いになることをおすすめします（カメラ内のバッテリーは充電できません）。



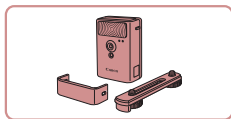
コンパクトパワーアダプター CA-DC30

- 付属のバッテリーをカメラに入れて充電します。カメラとつなぐには、インターフェースケーブル IFC-600PCU（別売）が必要です。



- バッテリーチャージャー、AC アダプターキット、コンパクトパワーアダプターは、AC 100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。
- プラグの形状が合わないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。なお、海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

■ ストロボ



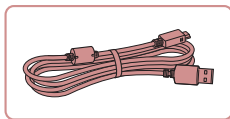
ハイパワーフラッシュ HF-DC2

- 被写体が遠すぎて内蔵ストロボの光が届かないときに使う外付けストロボです。なお、HF-DC1 もお使いになれます。



- ハイパワーフラッシュは、撮影モードが **[M]** **[Av]** **[Tv]** で、**[発光モード]** が **[マニュアル]** に設定されているときは使えません。

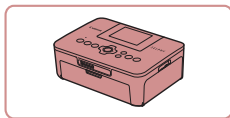
■ その他



インターフェースケーブル
IFC-600PCU

- パソコンやプリンターとカメラをつなぐケーブルです。

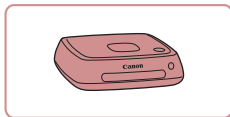
■ プリンター



キャノン製 PictBridge 対応プリンター

- プリンターをつなぐと、パソコンを使わずに、撮影した画像を印刷できます。製品の詳細については、ホームページやカタログで確認していただくか、お客様相談センターへお問い合わせください。

■ フォトストレージ



Connect Station CS100

- カメラで撮影した画像の保存やテレビでの観賞のほか、Wi-Fi 対応プリンターでの印刷やインターネットを活用した画像共有などが楽しめる機器です。

テレビで見る

市販の HDMI ケーブル（長さ 2.5m 以下、カメラ側端子はタイプ D）でカメラと HD 対応テレビをつないでカメラを操作すると、撮影した画像をテレビで見ることができます。また、**[FHD 59.94P]** **[FHD 29.97P]** **[FHD 23.98P]** **[HD 29.97P]** **[FHD 50.00P]** **[FHD 25.00P]** **[HD 25.00P]** で撮影した動画は HD（ハイビジョン）画質で見ることができます。

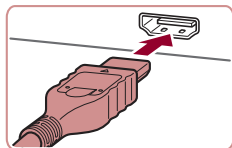
なお、お使いになるテレビとのつながりかたや入力の切り換えかたについては、テレビの使用説明書を参照してください。

- カメラで操作するときは、次の機能が使えます。
 - 画像の切り換え
画面を左右方向にドラッグします（ 184）。
 - 動画再生（ 185）
 - 拡大（ 200）
ズームレバーを **[↑]** 側に押すか、2 本の指で画面をタッチし、指の間隔を広げるように動かします。
 - グループ再生（ 196）
 - タッチアクション（ 215）
消去は呼び出せません。

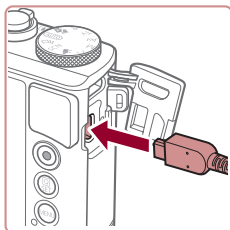
なお、カメラの画面には何も表示されないため、テレビを見ながらカメラの画面を操作してください。

1 カメラとテレビの電源を切る

2 カメラとテレビをつなぐ



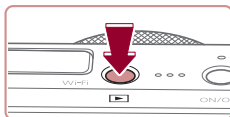
- ケーブルのプラグを、図のようにテレビの HDMI 入力端子へしっかりと差し込みます。



- ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラの端子へしっかりと差し込みます。

3 テレビの電源を入れて、外部入力に切り換える

- テレビの入力を、手順 2 の操作でつないだ外部入力に切り換えます。



4 カメラの電源を入れる

- [▶] ボタンを押します。
- 画像がテレビに表示されます（カメラの画面には何も表示されません）。
- 見終わったらカメラとテレビの電源を切ってから、ケーブルを抜きます。



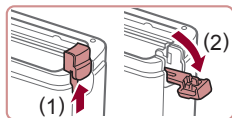
- テレビに表示しているときは、一部の情報が表示されないことがあります（[p.351](#)）。
- HD 対応テレビにつないだときは、操作音は鳴りません。

家庭用電源でカメラを使う

▶ 静止画 ▶ 動画

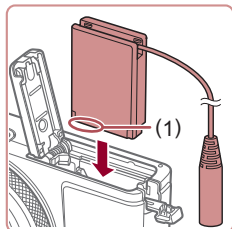
AC アダプターキット ACK-DC110 (別売) を使うと、バッテリーの残量を気にせずにカメラを使うことができます。

1 カメラの電源を切る



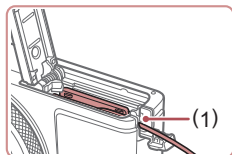
2 ふたを開ける

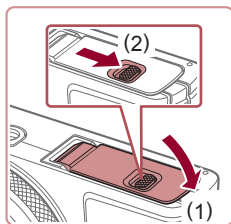
- 「バッテリーとカード (市販品) を入れる」の手順 1 (📖 21) の操作でカード／バッテリー収納部のふたを開き、図のように通し部のふたを開きます。



3 カプラーを入れる

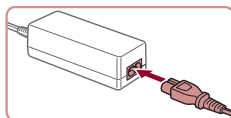
- カプラーの端子部 (1) を図の向きにして、「バッテリーとカード (市販品) を入れる」の手順 2 (📖 21) のバッテリーを入れる方法と同じ操作でカプラーを入れます。
- カプラーのケーブルを通し部 (1) に通します。





4 ふたを閉める

- ふたを (1) の方向へたおして押さえたまま、スイッチを (2) の方向へ「カチッ」と音がするまで動かして閉めます。



5 電源コードを取り付ける

- 電源コードをアダプターに差し込み、プラグをコンセントに差し込みます。
- カメラの電源を入れると、カメラが使えます。
- 使い終わったら、カメラの電源を切ってからプラグをコンセントから抜いてください。



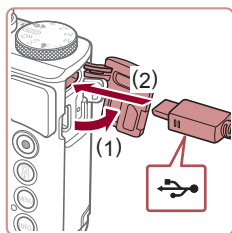
- カメラの電源を入れたまま、プラグや電源コードを抜かないでください。撮影した画像が消えたり、カメラが故障することがあります。
- 故障の原因となるためアダプターやコードを固定して使わないでください。

バッテリーを入れて充電する

付属のバッテリーとコンパクトパワーアダプター CA-DC30（別売）、インターフェースケーブル IFC-600PCU（別売）を使ってバッテリーを充電します。

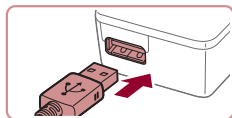
1 バッテリーを入れる

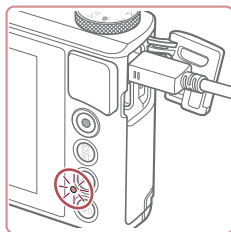
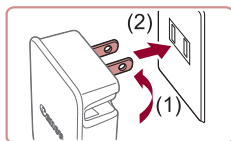
- 「バッテリーとカード（市販品）を入れる」の手順 1（📖 21）の操作でふたを開きます。
- 「バッテリーとカード（市販品）を入れる」の手順 2（📖 21）のバッテリーを入れる方法と同じ操作でバッテリーを入れます。
- 「バッテリーとカード（市販品）を入れる」の手順 4（📖 21）の操作でふたを閉めます。



2 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

- カメラの電源が切れた状態でふたを開き (1)、インターフェースケーブル（別売）の小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます (2)。
- インターフェースケーブルの大きい方のプラグをコンパクトパワーアダプターに差し込みます。





3 充電する

- プラグを (1) の方向へおこして、(2) コンセントに差し込みます。
- 充電がはじまり、USB 充電ランプが点灯します。
- 充電が完了すると、ランプは消灯します。
- コンパクトパワーアダプターをコンセントから抜き、カメラからインターフェースケーブルを外します。



- バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24 時間以上連続して充電しないでください。
- 別のバッテリーを充電するときは、必ずカメラからインターフェースケーブルを外した状態でバッテリーを交換し充電してください。



- 充電に必要な時間、フル充電したバッテリーで撮影できる枚数と時間については、「撮影できる枚数・時間、再生できる時間」(388) を参照してください。
- 充電中でもカメラの電源を入れると、充電しながら、再生モードで画像を見ることができます (30)。ただし、撮影はできません。
- 充電したバッテリーは、使わなくても自然放電によって少しずつ残量が減るため、充電は使う前日か当日にしてください。
- バッテリーチャージャーは、AC100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。プラグの形状が合わないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

パソコンを使って充電する

「バッテリーを入れて充電する」の手順 2 (📖 317) で、インターフェースケーブルの大きい方のプラグをパソコンの USB 端子につないで充電することもできます。パソコンの USB 端子については、パソコンの使用説明書を参照してください。



- カメラの電源を切っていると充電できません。
- パソコンによってはカードを入れていないと充電できないことがあります。カメラにカードを入れてから (📖 21)、パソコンの USB 端子につないでください。

ソフトウェアを使う

お使いのパソコンに、弊社 Web サイトからソフトウェアをダウンロードしてインストールすると、次のようなことができます。

- CameraWindow（カメラウィンドウ）
 - パソコンへの画像取り込み
- Image Transfer Utility（イメージトランスファーユーティリティ）
 - クラウドシンクロ（ 279）の設定、画像受信
- Map Utility（マップユーティリティー）
 - 画像に記録されている GPS 情報を地図上で表示
- Digital Photo Professional（デジタルフォトプロフェッショナル）
 - RAW 画像の閲覧をはじめ、現像処理や各種の編集



- パソコンで動画を見たり編集するときは、カメラで撮影した動画に対応したソフトウェア（パソコンに標準でインストールされているソフトウェアや汎用のソフトウェア）をお使いください。

■ ケーブルを使ってパソコンと接続する

パソコンの環境を確認する

ソフトウェアがお使いになれるパソコンは以下のとおりです。詳細なシステム構成や最新の OS を含む対応状況については弊社 Web サイトを確認してください。

- Windows 8/8.1
- Windows 7 SP1
- Mac OS X 10.10
- Mac OS X 10.9

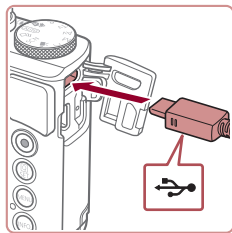
Wi-Fi 機能を使ってパソコンに画像を送るときは、「パソコンの環境を確認する」(252) でパソコンの環境を確認してください。

インストールする

ソフトウェアをインストールする方法については、「インストールする」(252) を参照してください。

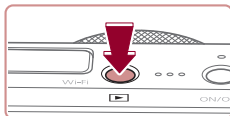
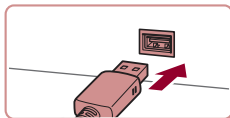
■ パソコンに画像を取り込む

パソコンに市販の USB ケーブル（カメラ側端子は Micro-B）でカメラをつなぐと、撮影した画像をパソコンへ取り込むことができます。



1 カメラとパソコンをつなぐ

- カメラの電源が切れた状態でふたを開き、ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます。



- ケーブルの大きい方のプラグをパソコンに差し込みます。パソコンとのつなぎかたについては、パソコンの使用説明書を参照してください。

2 電源を入れて CameraWindow（カメラウィンドウ）を表示する

- [] ボタンを押します。
- Mac OS では、カメラとパソコンが通信できる状態になると、CameraWindow が表示されます。
- Windows では、以下の操作を行います。
- 表示された画面で [] のプログラムを変えるためのリンクをクリックします。
- [画像をキャノンカメラからダウンロードします] を選び、[OK] をクリックします。



- [] をダブルクリックします。



3 画像を取り込む

- [カメラ内の画像の取り込み] をクリックしたあと、[未転送画像を取り込む] をクリックします。
- 画像がパソコンに取り込まれて、「ピクチャ」フォルダ内に撮影日ごとのフォルダに分けられて保存されます。
- 取り込みが完了したら CameraWindow を閉じ、カメラの [▶] ボタンを押して電源を切ってからケーブルを抜きます。
- パソコンに取り込んだ画像を見るときは、カメラで撮影した画像に対応したソフトウェア（パソコンに標準でインストールされているソフトウェアや汎用のソフトウェア）をお使いください。



- Windows 7 で手順 2 の画面が表示されないときは、タスクバーの [i] をクリックします。
- Mac OS で手順 2 の操作をしても CameraWindow が表示されないときは、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の [CameraWindow] アイコンをクリックします。
- ソフトウェアの画像取り込み機能を使わなくても、カメラとパソコンをつなぐだけで画像を取り込むことができますが、次のような制限事項があります。
 - カメラとパソコンをつないでから操作できるようになるまで、数分かかることがあります。
 - 縦位置で撮影した画像が横位置になって取り込まれることがあります。
 - RAW 画像および同時記録された JPEG 画像は、取り込まれないことがあります。
 - 保護した画像が、パソコン側で解除されることがあります。
 - OS のバージョンや使用するソフトウェア、ファイルサイズによっては、画像や画像に付属する情報が正しく取り込まれないことがあります。

PictBridge（ピクトブリッジ）対応プリンターにケーブルでカメラをつなぐと、撮影した画像を印刷したり、プリンターや写真店などで印刷するための各種指定を設定することができます。

なお、PictBridge 対応プリンターについてはキヤノン製コンパクトフォトリンター SELPHY CP シリーズを例に説明していますが、お使いになる PictBridge 対応プリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

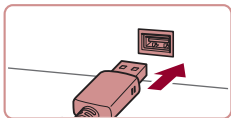
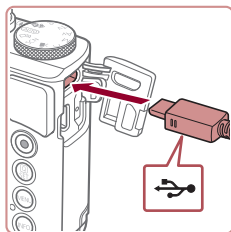
かんたん印刷

PictBridge（ピクトブリッジ）対応プリンターに市販の USB ケーブル（カメラ側端子は Micro-B）でカメラをつなぐと、撮影した画像を印刷することができます。

1 カメラとプリンターの電源を切る

2 カメラとプリンターをつなぐ

- ふたを開き、ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます。
- ケーブルの大きい方のプラグをプリンターに差し込みます。プリンターとのつながりかたについては、プリンターの使用説明書を参照してください。



3 プリンターの電源を入れる

4 画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選びます。



5 印刷画面を表示する

- [SET] ボタンを押したあと、[印刷] を選び、もう一度 [SET] ボタンを押します。



6 印刷する

- [印刷] を選び、[SET] ボタンを押します。
- 印刷がはじまります。
- 別の画像を印刷するときは、印刷が終わったあと、手順 4 からの操作を繰り返します。
- 印刷が終わったらカメラとプリンターの電源を切り、ケーブルを抜きます。



- キヤノン製 PictBridge 対応プリンター（別売）については、「プリンター」（312）を参照してください。
- RAW 画像は印刷できません。

印刷設定をする

▶ 静止画 ▶ 動画



1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」の手順 1 ～ 5 (📖324) の操作でこの画面を表示します。

2 設定する

- 項目をタッチして切り換えた画面で内容を選んだあと、[🔍] ボタンを押して印刷画面に戻ります。

🔍	標準設定	プリンターの設定にしたいがいます。
	日付	日付を入れて印刷します。
	画像番号	画像番号を入れて印刷します。
	両方	日付と画像番号の両方を印刷します。
	切	－
📷	標準設定	プリンターの設定にしたいがいます。
	切	－
	入	撮影時の情報を使って最適な設定で印刷します。
	赤目 1	赤く写った目を補正します。
🔍	印刷枚数	印刷枚数を指定します。
トリミング	－	印刷する範囲を指定します (📖327)。
用紙設定	－	用紙サイズやレイアウトなどを指定します (📖328)。

画像を切り抜いて印刷する（トリミング）

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の一部を切り抜いて印刷することができます。



1 「トリミング」を選ぶ

- 「印刷設定をする」の手順 1 (📖 326) の操作で印刷画面を表示したあと、[トリミング] をタッチします。
- 切り抜く範囲を示す枠が表示されます。



2 切り抜く範囲を指定する

- ズームレバーを動かして枠の大きさを変えます。
- 画面をドラッグして枠の位置を変えます。
- [INFO.] ボタンを押すと枠が回転します。
- [🔍] ボタンを押して設定します。

3 印刷する

- 「かんたん印刷」の手順 6 (📖 324) の操作で印刷します。



- 画像が小さすぎたり、縦横比によっては、トリミングできないことがあります。

用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 「用紙設定」を選ぶ

- 「印刷設定をする」の手順 1 (📖 326) の操作で印刷画面を表示したあと、[用紙設定] をタッチします。



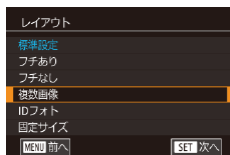
2 用紙サイズを選ぶ

- 内容を選び、[SET] ボタンを押します。



3 用紙タイプを選ぶ

- 内容を選び、[SET] ボタンを押します。



4 レイアウトを選ぶ

- 画面を上下方向にドラッグして内容を選びます。
- [複数画像] を選んだときは、印刷枚数を選びます。
- [SET] ボタンを押します。

5 印刷する

- 「かんたん印刷」の手順 6 (📖 324) の操作で印刷します。

レイアウトで設定できる項目

標準設定	プリンターの設定にしています。
フチあり	フチをつけて印刷します。
フチなし	フチなしで印刷します。
複数画像	1 枚の用紙に印刷する画像の枚数を選びます。
ID フォト	証明写真用の画像を印刷します。 記録画素数が L で、縦横比が 3:2 の画像にのみ指定できます。
固定サイズ	印刷する大きさを指定します。 L 判、はがき、ワイドサイズでのみ指定できます。

証明写真を印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画

1 [ID フォト] を選ぶ

- 「用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する」の手順 1 ~ 4 (328) の操作で [ID フォト] を選び、**[SET]** ボタンを押します。



2 長辺と短辺の長さを選ぶ

- 項目を選び、**[SET]** ボタンを押して切り換えた画面で長さを選んだあと、**[SET]** ボタンを押します。



3 印刷する範囲を選ぶ

- 「画像を切り抜いて印刷する (トリミング)」の手順 2 (327) の操作で印刷する範囲を選びます。

4 印刷する

- 「かんたん印刷」の手順 6 (324) の操作で印刷します。

動画を印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」の手順 1 ～ 5 (324) の操作で動画を選び、左の画面を表示します。

2 印刷方法を選ぶ

- [] を選び [] ボタンを押して切り換えた画面で内容を選んだあと、[] ボタンを押して印刷画面に戻ります。

3 印刷する

- 「かんたん印刷」の手順 6 (324) の操作で印刷します。

動画の印刷方法

1 コマ	表示されているシーンを静止画として印刷します。
連続コマ	動画から一定の間隔で抜き出したシーンを、1 枚の用紙に並べて印刷します。[キャプション] を [入] にすると、フォルダ番号、画像番号、コマの経過時間を同時に印刷できます。



- 印刷中に [] ボタンを押したあと、[OK] をタッチすると印刷が中止されます。
- 「見る」の手順 2 ～ 5 (184) の操作で印刷したい動画のシーンを表示したあと、動画操作パネルの [] をタッチしても、手順 1 の画面が表示できます。

印刷指定 (DPOF)

▶ 静止画 ▶ 動画

カード内の画像から印刷したい画像や印刷枚数などを指定して、一括印刷 (P.334) や写真店への印刷注文をすることができます (最大 998 画像)。なお、この指定方法は、DPOF (Digital Print Order Format) 規格に準拠しています。

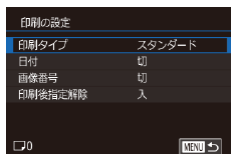


- RAW 画像は指定できません。

印刷内容を指定する

▶ 静止画 ▶ 動画

印刷タイプや日付、画像番号といった印刷内容を設定できます。この設定は、印刷指定したすべての画像に共通して適用されます。



- [MENU] ボタンを押して、[▶ 4] タブの [印刷設定] を選び、[P] ボタンを押します。
- [印刷の設定] を選び、[P] ボタンを押して表示された画面で項目を選び設定します。

印刷タイプ	スタンダード	1 枚の用紙に 1 枚の画像を印刷
	インデックス	1 枚の用紙に縮小画像を複数印刷
	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷
日付	入	撮影日を入れて印刷
	切	—
画像番号	入	画像番号を入れて印刷
	切	—
印刷後 指定解除	入	印刷後、画像の印刷指定をすべて解除
	切	—



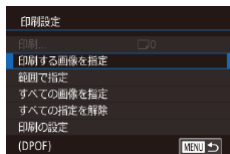
- プリンターまたは写真店によっては、設定した内容が反映されないことがあります。
- 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、[!] が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。



- [インデックス] に設定したときは、[日付] と [画像番号] の両方を [入] にはできません。
- 一部のキヤノン製 PictBridge 対応プリンター（別売）では、インデックス印刷ができないことがあります。
- 日付の並びは、[🔧 2] タブの [日付 / 時刻] で設定した内容で印刷されます (📖 23)。

1 枚ずつ枚数を指定する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 [印刷する画像を指定] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶ 4] タブの [印刷設定] を選び、[SET] ボタンを押します。
- [印刷する画像を指定] を選び [SET] ボタンを押します。

2 画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選びます。
- [インデックス] では、指定されると [0] が表示されます。



3 枚数を設定する

- [▲] か [▼] をタッチして枚数を指定します（最大 99 枚）。
- 手順 2 ～ 3 の操作を繰り返して、画像と枚数を指定します。
- [MENU] ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

範囲で指定する

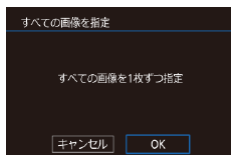
▶ 静止画 ▶ 動画



- 「1 枚ずつ枚数を指定する」の手順 1 (📖 332) の操作で [範囲で指定] を選び、[SET] ボタンを押します。
- 「範囲で指定する」の手順 2 ～ 3 (📖 205) の操作で指定します。
- [画像指定] をタッチします。

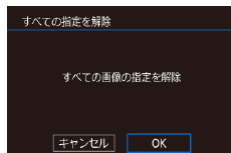
すべての画像を指定する

▶ 静止画 ▶ 動画



- 「1 枚ずつ枚数を指定する」の手順 1 (📖 332) の操作で [すべての画像を指定] を選び、[SET] ボタンを押します。
- [OK] をタッチします。

すべての指定を解除する



- 「1枚ずつ枚数を指定する」の手順1 (📖 332) の操作で「すべての指定を解除」を選び、[SET] ボタンを押します。
- [OK] をタッチします。

印刷指定 (DPOF) した画像を印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画



- 印刷指定した画像 (📖 331 ~ 📖 333) があるときは、カメラと PictBridge 対応プリンターをつなぐとこの画面が表示されます。[すぐに印刷] を選び、[SET] ボタンを押すと、印刷指定した画像をかたんに印刷できます。
- 印刷を中断して再開したときは、続きの画像から印刷されます。

■ フォトブック指定

▶ 静止画 ▶ 動画

カード内の画像からフォトブックに使いたい画像を指定(最大 998 画像)し、ソフトウェア「CameraWindow」(📖 320)を使ってパソコンに取り込むと、指定した画像が専用のフォルダにコピーされます。インターネットでフォトブック注文するときや、お使いのプリンターで印刷するときに便利です。

指定方法を選ぶ



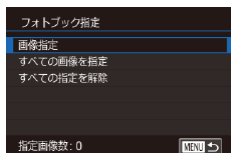
- [MENU] ボタンを押して、[▶ 4] タブの「フォトブック指定」を選んだあと、指定方法を選びます。



- 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、[!] が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。

1 枚ずつ指定する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 「画像指定」を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」(📖 335) の操作で「画像指定」を選び、[Q SET] ボタンを押します。

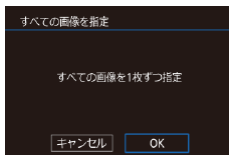


2 画像を選ぶ

- 画面を左右方向にドラッグして画像を選び、**[SET]** ボタンを押します。
- **[✓]** が表示されます。
- もう一度**[SET]** ボタンを押すと解除され、**[✓]**が消えます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。
- **[MENU]** ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

すべての画像を指定する

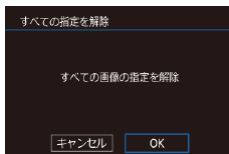
▶ 静止画 ▶ 動画



- 「指定方法を選ぶ」(335) の操作で「すべての画像を指定」を選び、**[SET]** ボタンを押します。
- **[OK]** をタッチします。

すべての指定を解除する

▶ 静止画 ▶ 動画



- 「指定方法を選ぶ」(335) の操作で「すべての指定を解除」を選び、**[SET]** ボタンを押します。
- **[OK]** をタッチします。

付録

カメラを使うときに役立つ情報

故障かな？と思ったら

「カメラが故障したのかな？」と考える前に、次の例を参考に確認してください。ただし、問題が解決しないときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

電源

電源ボタンを押してもカメラが動作しない

- バッテリーを充電してください (P20)。
- バッテリーが正しい向きに入っているか確認してください (P21)。
- カード／バッテリー収納部ふたが閉じているか確認してください (P21)。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。

バッテリーの消耗が早い

- 低温下ではバッテリー性能が低下します。バッテリーの端子部が他の金属にふれないようにして、ポケットなどで温めてからお使いください。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。
- 上記を確認しても、充電したのにすぐ使えなくなるときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

レンズが出たままで収納されない

- 電源を入れたまま、カード／バッテリー収納部ふたを開けないでください。ふたを閉じたあと、電源を入れてからもう一度切ってください (P21)。

バッテリーがふくらむ

- バッテリー特性のため安全上は問題ありません。ただし、バッテリーがふくらむことでカメラに入らなくなったときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

テレビ表示

テレビに表示できない／画面が乱れる (P313)

撮影

撮影できない

- 再生モードのとき (P183) は、シャッターボタンを半押ししてください (P36)。

暗い場所での画面表示がおかしい (📖 38)

撮影中の画面表示がおかしい

- 次のときは、静止画には記録されませんが、動画には記録されます。注意してください。
 - 蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、画面がちらついたり横帯が表示されたりすることがあります。

画面いっぱいに表示して撮影できない (📖 158)

シャッターボタンを押したら、画面に [⚡] が点滅表示されて撮影できない (📖 55)

シャッターボタンを半押ししたときに、[📷] が表示される (📖 55)

- [手ブレ補正] を [入] にしてください (📖 85)。
- ストロボを上げて、ストロボモードを [⚡] にしてください (📖 153)。
- ISO 感度を高くしてください (📖 129)。
- 三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします (📖 85)。

画像がボケて撮影される

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、撮影してください (📖 36)。
- 撮影距離範囲内に被写体をおさめて撮影してください (📖 389)。
- [AF 補助光] を [入] にしてください (📖 87)。
- 意図しない機能（マクロ撮影など）が設定されていないか確認してください。
- フォーカスロック、AF ロックで撮影してください (📖 145、📖 152)。

画像がブレて撮影される

- タッチシャッター機能を使って撮影するときは、撮影シーンによっては、画像がブレやすくなることがあります。カメラをしっかりと持って撮影してください。

連続撮影が途中でとまる

- 1 回の連続撮影が 2000 枚程度になると撮影が止まります。一度シャッターボタンから指を放してから撮影しなおしてください。

シャッターボタンを半押ししても、AF フレームが表示されずピントが合わない

- 被写体の明暗差がある部分を画面中央にしてシャッターボタンを半押しするか、半押しを何度か繰り返すと AF フレームが表示され、ピントが合うことがあります。

被写体が暗すぎる

- ストロボを上げて、ストロボモードを [⚡] にしてください (📖153)。
- 露出補正で明るさを補正してください (📖127)。
- AE ロックまたはスポット測光で撮影してください (📖127、📖128)。

被写体が明るすぎる (白トビする)

- ストロボを下げて、ストロボモードを [☀] にしてください (📖50)。
- 露出補正で明るさを補正してください (📖127)。
- AE ロックまたはスポット測光で撮影してください (📖127、📖128)。
- 被写体に当たっている照明を弱めてください。

ストロボが光ったのに暗い画像になる (📖55)

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください (📖386)。
- 調光補正量や発光量で明るさを補正してください (📖155、📖167)。
- ISO 感度を高くしてください (📖129)。

ストロボ撮影した画像の被写体が明るすぎる (白トビする)

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください (📖386)。
- ストロボを下げて、ストロボモードを [☀] にしてください (📖50)。
- 調光補正量や発光量で明るさを補正してください (📖155、📖167)。

ストロボ撮影時、画像に白い点などが写る

- 空気中のちりなどにストロボ光が反射しました。

画像が粗い感じになる

- ISO 感度を低くして撮影してください (📖129)。
- 撮影モードによっては ISO 感度が高くなるため、粗い感じの画像になることがあります (📖95)。

目が赤く写る

- [赤目緩和ランプ] を [入] に設定してください (📖87)。ストロボ撮影のときは、ランプ (前面) (📖6) が点灯します。また、写される人がランプを見ているときに効果があります。「室内を明るくする」、「写したい人に近づく」と効果が上がります。
- 赤目補正で補正してください (📖223)。

カードへの画像の記録時間が長い、または連続撮影速度が遅くなった

- カードをこのカメラで物理フォーマットしてください (📖294)。

撮影機能やクイック設定メニューの設定ができない

- 設定できる項目は撮影モードによって変わります。「撮影機能一覧」、「クイック設定メニュー 一覧」、「撮影タブメニュー 一覧」(📖 353 ~ 📖 365) で確認してください。

赤ちゃんやこどものシーンアイコンが表示されない

- 赤ちゃんやこどものアイコンは、個人認証機能 (📖 70) で誕生日を登録しないと表示されません。誕生日を入力しても表示されないときは、顔情報を登録しなおす (📖 70) か、日付 / 時刻を正しく設定してください (📖 299)。

タッチ AF できない / タッチシャッターできない

- 画面の周辺部分をタッチしてもタッチ AF やタッチシャッターはできません。中央よりの位置をタッチしなおしてください。
- [タッチロック設定] を [する] に設定しているときは、ロックを解除してください (📖 303)。

動画撮影

正しい撮影時間が表示されない、または中断される

- カードをこのカメラで初期化するか、書き込み速度の速いカードを使ってください。撮影時間が正しく表示されないときも、カードには実際に撮影した時間の動画が記録されています (📖 293、📖 390)。

画面に [🔴] が表示され、撮影が自動的に終わった

- カメラの内部メモリーが少なくなりました。次の方法を試してください。
 - カードをこのカメラで物理フォーマットする (📖 294)。
 - 画質を変える (📖 80)。
 - 書き込み速度の速いカードを使う (📖 390)。

ズームできない

- [📷] モード (📖 107) では、ズームできません。
- [📹] モード (📖 101)、[📺] モード、[📷] モードでは、動画撮影中にズームできません。

被写体がゆがんで見える

- 撮影中に被写体がカメラの前を素早く横切ったときは、ゆがんで見えることがあります。これは故障ではありません。

線状のノイズが記録される

- 暗い場所で照明などの強い光源が画面内にある被写体を撮影したときに、線状のノイズが記録されることがあります。撮影画面内や撮影画面の近くに強い光源が入らないように構図を変えて撮影してください。

再生

再生できない

- パソコンでファイル名やフォルダ構造を変えると再生できないことがあります。

再生が中断する、または音声途切れる

- このカメラで物理フォーマットしたカードを使ってください (P294)。
- 動画を、読み込み速度の遅いカードにコピーして再生すると、再生が一瞬中断することがあります。
- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム（コマ）落ちしたり、音声途切れたりすることがあります。

動画を再生したときに音声が聞こえない

- [消音] を [する] に設定 (P300) しているときや、音声小さいときは、音量を調整してください (P30)。
- [鳥] モード (P101)、[魚] モード (P113)、クリエイティブショット動画では音声録音されていないため、音は出ません。

[P] をタッチしてもストーリーハイライトのホーム画面を表示できない

- プリンターと接続しているときは、ホーム画面を表示できません。接続を解除してください。
- Wi-Fi 接続中は、ホーム画面を表示できません。接続を解除してください。

ストーリーハイライトのホーム画面でアルバムにしたい人物のアイコンが表示されない

- 簡易情報表示 (P186) にしているときに人物の名前が表示される静止画を選んでからストーリーハイライトのホーム画面を表示してください (P229)。

カード

カードが認識されない

- カードを入れたままで、もう一度電源を入れなおしてください (P34)。

パソコン

画像をパソコンに取り込めない

- カメラとパソコンをケーブルでつないで取り込むときは、次の操作で画像の取り込み速度を遅くすることで、問題が解決できることがあります。
 - シャッターボタンとズームレバーの  側を同時に押したまま、 ボタンを押します。再生モードの状態ではズームレバーを  側に押したあと、表示された画面で [B] を選び、 ボタンを押します。

Wi-Fi

Wi-Fi メニューを表示できない

- 撮影モードからは Wi-Fi メニューを利用できません。再生モードに切り換えてください。
- 再生モードでも、拡大表示、一覧表示（インデックス表示）のとき、Wi-Fi メニューは表示できません。1 枚表示に切り換えてください。また、検索条件を指定して画像を表示しているときやグループ再生中は Wi-Fi メニューは表示できません。検索した画像の再生状態やグループ再生を解除してください。
- カメラをプリンター、パソコンまたはテレビとケーブルでつないでいるときは Wi-Fi メニューは表示できません。ケーブルを外してください。

カメラに接続先を登録できない

- カメラに登録できる接続情報は、あわせて 20 件までです。不要な接続情報を削除してから新しい接続先を登録してください（[287](#)）。
- Web サービスの登録は、パソコンまたはスマートフォンを使って設定してください（[263](#)）。
- スマートフォンの登録は、スマートフォンに専用アプリケーション「Camera Connect」をインストールしてから行ってください（[244](#)）。
- パソコンの登録は、ソフトウェア「CameraWindow」をパソコンにインストールしてから行ってください。また、パソコンや Wi-Fi の環境や設定を確認してください（[252](#)、[255](#)）。
- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。

アクセスポイントに接続できない

- アクセスポイントが、カメラの対応チャンネル(📖386)で通信していることを確認してください。また、アクセスポイントのチャンネル選択が自動のときは、カメラが対応するチャンネルのいずれかに手動で固定することをおすすめします。

画像を送信できない

- 接続先の空き容量が不足しています。接続先の空き容量を増やしてから再度送信してください。
- 接続先のカメラに入れているカードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えてください。
- RAW 画像は送信できません。RAW 画像を同時記録した画像では JPEG 画像だけが送信されます。ただし、クラウドシンクロでは RAW 画像も送信されます。
- クラウドシンクロでアクセスポイントを経由して画像が送信されたとき(📖279)は、パソコンで画像のファイル名やフォルダ名を変えたり移動したりすると、CANON iMAGE GATEWAY や Web サービスに送信されません。パソコンに送信された画像のファイル名やフォルダ名を変えたり移動したりする前に、CANON iMAGE GATEWAY や Web サービスに画像が送信されていることを確認してください。

画像をリサイズして送信できない

- もとの画像より大きい記録画素数にはリサイズできません。
- 動画はリサイズできません。

画像の送信に時間がかかる／無線接続が切断されてしまう

- 複数の画像を送信すると時間がかかることがあります。送信時にリサイズすると、送信時間を短くできます(📖278)。
- 動画を送信すると非常に時間がかかることがあります。
- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。なお、📶が表示されていても、画像の送信に時間がかかることがあります。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。

カメラに CANON iMAGE GATEWAY を登録するときに、パソコンやスマートフォンに通知メールが届かない

- 入力するメールアドレスに誤りがないか確認し、登録をやり直してください。
- パソコンまたはスマートフォンのメール設定を確認してください。特定ドメインのメールを受信拒否にしていると受信できないことがあります。

カメラを譲渡または廃棄するので、Wi-Fi の接続情報を消したい

- Wi-Fi の設定を初期化してください(📖290)。

画面に表示されるメッセージ一覧

画面にメッセージが表示されたときは、次のように対応してください。

撮影、再生中

カードがありません

- カードが正しい向きで入っていません。カードを正しい向きに入れます (📖21)。

カードがロックされています

- カードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えます (📖21)。

記録できません

- カードが入っていない状態で撮影しました。撮影するときは、カードを正しい向きで入れます (📖21)。

カードが異常です (📖294)

- 使えるカード (📖3) を初期化して正しい向きに入れても (📖21) 同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

カード残量が足りません

- カードの空き容量がないため、撮影 (📖50、📖91、📖125、📖161) や編集 (📖217) はできません。画像を消して (📖207) 空き容量を作るか、空き容量のあるカードに交換します (📖21)。

タッチ AF できません

- タッチ AF ができない撮影モードです (📖353)。

タッチ AF 解除されました

- タッチ AF で選んだ被写体が認識できなくなりました (📖151)。

バッテリーを充電してください (📖20)

画像がありません

- カードに表示できる画像が入っていません。

保護されています (📖203)

認識できない画像です／互換性のない JPEG です／画像が大きすぎます／再生できません (MOV)／再生できません (MP4)

- 非対応の画像やデータが壊れている画像は表示できません。
- パソコンで加工したり、ファイル名を変えたりした画像や、このカメラ以外で撮影した画像は、表示できないことがあります。

拡大できない画像です／回転できない画像です／処理できない画像です
／処理できません／指定できない画像です／認証情報がありません

- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、以下の機能が使えないことがあります。また、動画では、*の機能が使えません。

認証情報の編集 (📖198)*、拡大 (📖200)*、回転 (📖211)*、お気に入り (📖213)、編集 (📖217)*、印刷指定 (📖331)*、フォトブック指定 (📖335)*

指定範囲が正しくありません

- 画像を範囲指定 (📖205、📖210、📖333) するとき、始点に終点より遅い番号の画像、または終点に始点より早い番号の画像を指定しようとした。

指定枚数の上限を超えています

- 印刷指定 (📖331) やフォトブック指定 (📖335) の画像を 998 枚より多く指定しました。指定する画像を 998 枚以下にします。
- 印刷指定 (📖331) やフォトブック指定 (📖335) を正しく保存できませんでした。指定枚数を減らして、もう一度指定します。
- 保護 (📖203)、消去 (📖207)、お気に入り (📖213)、印刷指定 (📖331)、フォトブック指定 (📖335) で、501 枚以上の画像を指定しようとした。

ファイル名が作成できません

- カード内の画像を保存するフォルダの番号が最大 (999) になっていて、各フォルダに保存されている画像の番号も最大 (9999) になっているため、フォルダの作成や撮影した画像の記録ができません。[🔧1] タブで [画像番号] を [オートリセット] に変えるか (📖292)、カードを初期化します (📖293)。

レンズエラーを検知しました

- レンズ動作中にレンズを押さえたり、ホコリや砂ボコリの立つ場所などでカメラを使うと表示されることがあります。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、別紙の修理受付センターへご相談ください。

カメラがエラーを検知しました (エラー番号)

- 撮影直後に表示されたときは、撮影されていないことがあります。再生して画像を確認してください。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、エラー番号 (Exx) を控えて、別紙の修理受付センターへご相談ください。

ファイルエラー

- パソコンで加工したり、このカメラ以外で撮影した画像は、プリンターにつないでも正しく印刷 (324) できないことがあります。

印刷エラー

- 用紙サイズの設定を確認してください (328)。正しく設定されていてもこのエラーが表示されるときは、プリンターの電源を入れなおして、もう一度設定してください。

インク吸収体が満杯です

- お使いのキヤノン製インクジェットプリンターに付属のパーソナル機器修理受付センター、またはお近くの修理受付窓口インク吸収体の交換を依頼してください。

Wi-Fi

接続に失敗しました

- アクセスポイントを認識できませんでした。アクセスポイントの設定を確認してください (255)。
- 接続先が見つかりませんでした。カメラの電源を入れ直し、接続をやり直してください。
- 接続先の機器が、接続できる状態になっているか確認してください。

アクセスポイントが特定できません

- 複数のアクセスポイントの WPS ボタンが同時に押されました。接続をやり直してください。

アクセスポイントが見つかりませんでした

- アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。
- アクセスポイントを手動で指定している場合は、入力した SSID が正しいか確認してください。

パスワードが正しくありません / Wi-Fi のセキュリティ設定が正しくありません

- アクセスポイントのセキュリティ設定を確認してください (255)。

IP アドレスが重複しています

- 他の機器と IP アドレスが重複しないように、IP アドレスを設定し直してください。

接続が切断されました / 受信に失敗しました / 送信に失敗しました

- Wi-Fi の環境が悪い可能性があります。
- 電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。
- 接続先の機器でエラーが発生していないか確認してください。

送信に失敗しました

カードが異常です

- 初期化したカードを正しい向きで入れても同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

受信に失敗しました

カード残量が足りません

- 画像を受信するカメラに入っているカードに空き容量がないため、画像を受信できません。画像を消して空き容量を増やすか、空き容量のあるカードに交換してください。

受信に失敗しました

カードがロックされています

- 画像を受信するカメラに入っているカードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えてください。

受信に失敗しました

ファイル名が作成できません

- 画像を受信するカメラのフォルダ番号が最大値（999）で、かつ画像番号も最大値（9999）のときは受信できません。

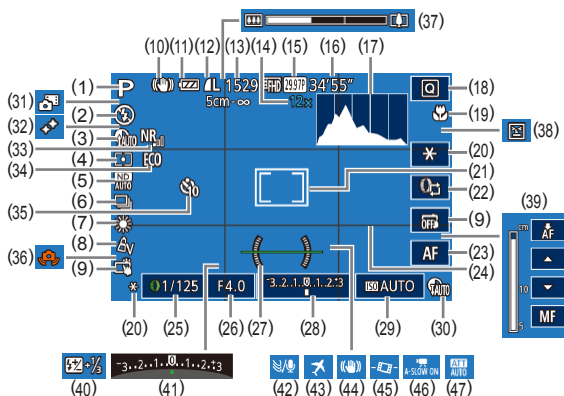
サーバーの空き容量が不足しています

- CANON iMAGE GATEWAY にアップロードされている画像を削除して、空き容量を増やしてください。
- クラウドシンクロ（ 279）で送信した画像をパソコンに保存してください。

ネットワーク設定を確認してください

- お使いのネットワーク回線を使ってインターネットに接続できるか確認してください。

撮影時（情報表示あり）



- | | |
|---|---|
| (1) 撮影モード (📖353)、シーンアイコン (📖57) | (12) 静止画の圧縮率 (📖158)、記録画素数 (📖158) |
| (2) スロボモード (📖153) | (13) 撮影可能枚数 (📖389) * |
| (3) 暗部補正 (📖133) | (14) ズーム倍率 (📖62)、デジタルテレコンバーター (📖144) |
| (4) 測光方式 (📖128) | (15) 動画の画質 (📖80) |
| (5) ND フィルター (📖134) | (16) 撮影可能時間 (📖390) |
| (6) ドライブモード (📖68)、AEB 撮影 (📖131)、フォーカスブラケット撮影 (📖143) | (17) ヒストグラム (📖187) |
| (7) ホワイトバランス (📖135)、水銀灯自動補正 (📖79) | (18) クイック設定メニュー (📖39) |
| (8) マイカラー (📖138) | (19) フォーカスゾーン (📖140、📖141)、AF ロック (📖152) |
| (9) タッチシャッター (📖67) | (20) AE ロック (📖127)、FE ロック (📖156) |
| (10) 手ブレ補正アイコン (📖60) | (21) AF フレーム (📖144)、スポット測光枠 (📖128) |
| (11) バッテリー残量表示 (📖350) | |

- (22) コントローリングの機能の切り換え (📖170)
- (23) マニュアルフォーカスの切り換え (📖141)
- (24) グリッドライン (📖174)
- (25) シャッタースピード (📖162、📖164)
- (26) 絞り数値 (📖163、📖164)
- (27) 水準器 (📖82)
- (28) 露出レベル (📖164)
- (29) ISO 感度 (📖129)
- (30) D レンジ補正 (📖132)
- (31) プラスムービーオートモード (📖53)
- (32) 星の強調 (📖110)
- (33) 高感度時 NR (📖131)
- (34) エコモード (📖296)
- (35) セルフタイマー (📖64)
- (36) 手ブレ警告 (📖55)
- (37) ズームバー (📖50)
- (38) 目つむり検出 (📖84)
- (39) マニュアルフォーカス (📖141)
- (40) ストロボ調光補正／発光量 (📖155、📖167)
- (41) 露出補正 (📖127)
- (42) ウィンドカット (📖56、📖122)
- (43) エリア設定 (📖298)
- (44) 手ブレ補正 (📖85)
- (45) 📷 自動水平補正 (📖85)
- (46) 📷 オートスローシャッター (📖120)
- (47) アッテネーター (📖122)

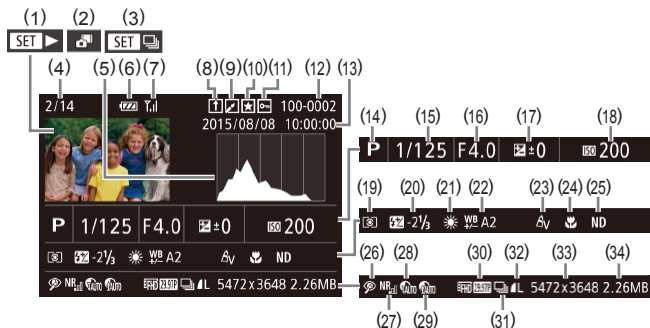
* [📷] モードでは、撮影できる回数が表示されます。

バッテリーの残量表示

バッテリーの状態は、画面にマークやメッセージで表示されます。

画面表示	内容
	十分です。
	少し減っていますが、まだ使えます。
 (赤く点滅)	残量が少なくなってきました。充電してください。
[バッテリーを充電してください]	残量がありません。すぐに充電してください。

再生時（詳細情報表示）



- (1) 動画 (50、 184)
- (2) ダイジェスト動画 (189)
- (3) グループ再生 (196)
- (4) 再生画像番号／総画像数
- (5) ヒストグラム (187)
- (6) バッテリー残量表示 (350)
- (7) Wi-Fi 電波の状態 (277)
- (8) クラウドシンクロ (279)
- (9) 画像編集 (217)、動画圧縮 (227)
- (10) お気に入り (213)
- (11) 保護 (203)
- (12) フォルダ番号－画像番号 (292)
- (13) 撮影日時 (23)
- (14) 撮影モード (353)
- (15) シャッタースピード (162、 164)
- (16) 絞り数値 (163、 164)
- (17) 露出補正量 (127)
- (18) ISO 感度 (129)
- (19) 測光方式 (128)
- (20) ストロボ発光 (153)、ストロボ調光補正量 (155)
- (21) ホワイトバランス (135)
- (22) ホワイトバランス補正 (136)、水銀灯自動補正 (79)、クリエイティブショット効果 (93)
- (23) マイカラー (138、 221)
- (24) フォーカスゾーン (140、 141)
- (25) ND フィルター (134)
- (26) 赤目補正 (223)、ショートクリップの再生効果 (123)
- (27) 高感度時 NR (131)
- (28) D レンズ補正 (132)
- (29) 暗部補正 (133)
- (30) 画質 / フレーム数 (動画) (80)

- (31) グループ再生 (📖196)
- (32) 圧縮率 (画質) (📖158) / 記録画素数 (📖80)、ダイジェスト動画 (📖53)、RAW (📖159)、MP4 (動画)、アルバム (📖229)
- (33) 静止画：記録画素数 (📖389)
動画：再生時間 (📖390)
- (34) ファイルサイズ



- テレビに表示しているときは、一部の情報が表示されないことがあります (📖313)。

動画操作パネル一覧

「見る」(📖184) で表示される動画操作パネルでは、次の操作ができます。

🔊	タッチすると音量パネルが表示され、[▲] か [▼] をタッチすると音量を変えられます。音量が0のときは[🔊]が表示されます。
▶	再生
⏮	スロー再生 ([⏮] か [⏭] をタッチして再生速度を変更) (音声は再生されません)
⏪	前スキップ*または前のチャプター (📖228) ([⏮] ボタンを押したままにすると連続戻し)
⏩	フレーム戻し ([⏮] ボタンを押したままにすると早戻し)
⏭	フレーム送り ([⏮] ボタンを押したままにすると早送り)
⏭	次スキップ*または次のチャプター (📖228) ([⏮] ボタンを押したままにすると連続送り)
🗑	チャプター消去 (ダイジェスト動画 (📖189)、クリエイティブショット動画 (📖188)、BGM をつけていないアルバム (📖231) を選んでいるときに表示)
✂	編集 (📖225)
🖨	PictBridge 対応プリンターとつないだとき (📖324) に表示

* 約4秒前または後のフレームを表示

撮影機能一覧

Cなどの黒のアイコンは、そのモードで機能を選択できるか自動設定されることを示します。

Cなどの灰色のアイコンは、そのモードで機能を選択できないことを示します。

露出補正 (p127)

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

ISO 感度 (p129)

オート

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

125 ~ 12800

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

AF 動作 (p148)

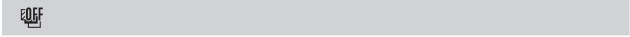
ONE SHOT

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO***2 /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

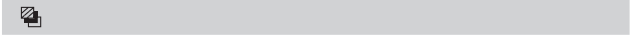
SERVO

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

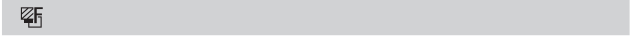
ブラケット (📖131、📖143)



C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /

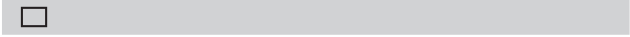


C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

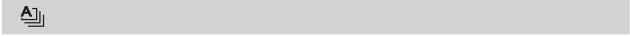


C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

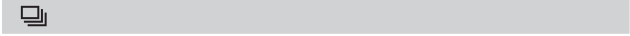
ドライブモード (📖68)



C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  /  /  /



C / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /



C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  /  / /

AvTv 設定 (162、 163)

絞り数値

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

シャッタースピード

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

バルブ設定

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

プログラムシフト (127)

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

撮影待機中 AE / FE ロック (127、 156)*4

C*1 / **M***6 / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

動画記録中 AE ロック / 露出補正 (120)

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

AF ロック (動画ボタン登録時 (152))

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

顔セレクト (📖150)

C^{*1} / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / HDR / / / / / / /
 / / / / /

タッチシャッター (📖67)

C^{*1} / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / / HDR / / / / / / /
 / / / / /

情報表示切り換え (📖38)

C^{*1} / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / / HDR / / / / / / /
 / / / / /

*1 設定できる内容は登録されている撮影モードにしたがう

*2 動きを検出したときは [SERVO]

*3 選択不可。ただし状況に応じて

*4 FE ロックは では不可

*5 [MF] 時のみ

*6 顔が検出されたときのみ可

*7 撮影のみ可。被写体の指定は不可

AF 方式 (144)

☺ + 追尾優先 AF

C*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /

一点 AF

C*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /

記録画質

「撮影タブメニュー 一覧」(📖365)を参照してください。

動画の画質 (📖80、📖81)

[NTSC] 設定時

FHD 59.94P

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /

FHD 29.97P

C*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  / /

FHD 23.98P

C*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

HD 29.97P

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / HDR / / / *2 / / / / /
 / / / / /

VGA 29.97P

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / HDR / / / *2 / / / / /
 / / / / /

[PAL] 設定時

HD 50.00P

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / HDR / / / / / / /
 / / / / /

HD 25.00P

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / HDR / / / / / / /
 / / / / /

HD 25.00P

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / HDR / / / *2 / / / / /
 / / / / /

VGA 25.00P

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / HDR / / / *2 / / / / /
 / / / / /

セルフタイマー (📖64)

Off

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / HDR / / / / / / /
 / / / / /

C10 / C2 / C3

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / HDR / / / / / / / / / / / /

セルフタイマー設定 (書 66)

時間 *3

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / HDR / / / / / / / / / / / /

枚数 *4

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / HDR / / / / / / / / / / / /

ND フィルター (書 134)

ND
ON

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / HDR / / / / / / / / / / / /

ND
OFF

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / HDR / / / / / / / / / / / /

ND
AUTO

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / HDR / / / / / / / / / / / /

静止画アスペクト比 (📖 77)

16:9

C*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

3:2

C*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /

4:3

[illegible]

1:1

C*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

ホワイトバランス (📖 135)



C*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

☀ / 🏠 / 🐼 / 💧 / ☀ / ☀ / ☀

C*1 / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

C*1 / M / Av / Tv / P /  **AUTO**              



ホワイトバランス補正 (📖 136)



色あい調整 (📖 117)



マイカラー (📖 138)



C*1 / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  /  / /

D レンジ補正 (132)





C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** / / **AUTO** / / / / /
 / / / / **HDR** / / / / / / /
 / / / /

暗部補正 (📖 133)



C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** / / **AUTO** / / / / /
 / / / / **HDR** / / / / / / /
 / / / /



C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** / / **AUTO** / / / / /
 / / / / **HDR** / / / / / / /
 / / / /

測光方式 (📖 128)



C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** / / **AUTO** / / / / /
 / / / / **HDR** / / / / / / /
 / / / /



C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** / / **AUTO** / / / / /
 / / / / **HDR** / / / / / / /
 / / / /

- *1 設定できる内容は登録されている撮影モードにしたがう
- *2 縦横比の設定に連動して自動設定 (📖 102)
- *3 枚数設定不可のモードでは 0 秒設定不可
- *4 枚数設定不可のモードでは 1 枚固定
- *5 設定している [動画記録サイズ] の縦横比と同じになるように自動設定されます。
- *6 ホワイトバランスは選択不可
- *7 コントラスト、シャープネス、色の濃さ、赤・緑・青・肌色を 5 段設定

[

撮影モード (📖 95、📖 97、📖 119)

C / M / Av / Tv / P /  AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

記録画質 (78、158)

JPEG 画像設定

RAW

C*1 / M / Av / Tv / P /  **AUTO**                  

C*1 / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

C*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  / HDR /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /



C*1 / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /



C*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  / /

M2

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / / / / / / / / /
 / / / /

M2

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / / / / / / / / /
 / / / /

S

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / / / / / / / / /
 / / / /

S

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / / / / / / / / /
 / / / /

RAW 画像設定

-

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / / / / / / / / /
 / / / /

RAW

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / / / / / / / / /
 / / / /

静止画アスペクト比 (77)

「クイック設定メニュー 一覧」(359) を参照してください。

撮影情報表示設定 (📖174)

モニター情報表示カスタマイズ

C*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / / / / / / / / / / / / / / /

グリッド

グリッド1 / グリッド2

C*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / / / / / / / / / / / / / / /

ヒストグラム

輝度 / RGB

C*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / / / / / / / / / / / / / / /

撮影直後のレビュー表示 (📖88)

表示時間

切 / クイック

C*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / / / / / / / / / / / / / / /

2秒 / 4秒 / 8秒

C*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / / / / / / / / / / / / / / /

ホールド

C*¹ / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / / / / / / / / / / / / / / /

表示情報

非表示

C*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /
 /  /  /  / HDR /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

詳細表示

C*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /
 /  /  /  / HDR /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

[カメラ 2] タブ

タッチシャッター (書 67)

タッチシャッター

する

C*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /
 /  /  /  / HDR /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

しない

C*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /
 /  /  /  / HDR /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

タッチシャッターボタン

表示

C*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /
 /  /  /  / HDR /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

非表示

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / HDR / / / / / / /
 / / / /

個人認証設定 (📖 70)

入 / 切

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / HDR / / / / / / /
 / / / /

ボタン機能登録 (📖 175)

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / HDR / / / / / / /
 / / / /

コントローラーリング設定 (📖 171)

で切り換え

する / しない

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / HDR / / / / / / /
 / / / /

機能の登録

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / HDR / / / / / / /
 / / / /

クイック設定カスタマイズ (📖 177)

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /
 / / / / HDR / / / / / / /
 / / / /

カスタム登録 (📖179)

C*¹ / M / Av / Tv / P /  **AUTO** /     /
    **HDR** /        /
    

デジタルズーム (📖62)

入

C*¹ / M / Av / Tv / P /  **AUTO** /     /
    **HDR** /        /
    

切

C*¹ / M / Av / Tv / P /  **AUTO** /     /
    **HDR** /        /
    

固定

C / M / Av / Tv / P /  **AUTO** /      /
    **HDR** /        /
    

テレコン 1.6x / テレコン 2.0x

C*¹ / M / Av / Tv / P /  **AUTO** /     /
    **HDR** /        /
    

[📷3] タブ

ピント位置拡大 (📖83)

入

C*¹ / M / Av / Tv / P /  **AUTO** /     /
    **HDR** /        /
    

AF 補助光 (📖 87)

入

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

切

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

[📷 4] タブ

MF 拡大表示 (📖 141)

切

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

2x / 4x

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

セーフティ MF (📖 141)

入

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

切

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

ダイナミック IS

弱

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

標準

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

強

C / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

 自動水平補正

する

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

しない

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

ブラケット (📖 131、📖 143)

「撮影機能一覧」(📖 353) を参照してください。

ISO 感度設定 (📖 130)

上限 ISO 感度

C*1 / M / Av / Tv / P /  / AUTO /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

感度の上がりかた

C*1 / M / Av / Tv / P /  **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  /  / /

Dレンジ補正 (📖 132)

「クイック設定メニュー 一覧」(359)を参照してください。

暗部補正 (📖 133)

「クイック設定メニュー一覧」(359)を参照してください。

測光方式 (📖 128)

「クイック設定メニュー 一覧」(359)を参照してください。

ND フィルター (📖 134)

「クイック設定メニュー一覧」(359)を参照してください。

ストロボ設定 (📖 87、📖 155、📖 157、📖 167)

発光モード

オート

C *1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / /

/ / / / HDR / / / / / / / /

/ / / /

マニュアル

C* / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

調光補正

「撮影機能一覧」(📖353) を参照してください。

発光量

「撮影機能一覧」(📖353) を参照してください。

シンクロ設定

先幕

C*¹ / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

後幕

C*¹ / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

赤目緩和ランプ

入 / 切

C*¹ / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

セーフティ FE

入

C*¹ / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

切

C*¹ / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

入 / 切

C / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / <

星

シャープ / 切 / ソフト

C / M / Av / Tv / P /  **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

星

効:



C / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

撮

15 秒 / 30 秒 / 1 分

C / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

フ

¥14.99 / ¥29.97 (NTSC 時)、¥12.50 / ¥25.00 (PAL 時)

C / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

撮影時間

60 分 / 90 分 / 120 分 / 制限なし

C / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

【📷 6】 タブ

ホワイトバランス (📖 135)

「クイック設定メニュー 一覧」(359) を参照してください。

WB 補正 (📖 136)

「クイック設定メニュー 一覧」( 359) を参照してください。

マイカラー (📖221)

「クイック設定メニュー 一覧」( 359) を参照してください。

高感度時 NR (📖 131)

弱 / 標準 / 強

C*1 / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

水銀灯自動補正 (📖 79)

入 / 切

C / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / /

スポット測光枠 (📖 128)

中央固定 / AF 枠連動

C*1 / M / Av / Tv / P /  **AUTO** /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  /  / <

セーフティシフト (📖163)

入

C^{*1} / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

切

C^{*1} / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

[📷7] タブ

目つむり検出 (📖84)

入

C^{*1} / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

切

C^{*1} / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

ダイジェスト形式 (📖53)

静止画入り / 静止画なし

C / M / Av / Tv / P /  / **AUTO** /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  / 

[📷 8] タブ

動画の画質 (📖 80)

「クイック設定メニュー 一覧」(📖 359) を参照してください。

ウィンドカット (📖 122)

オート

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** / 📷 / **AUTO** / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 /
 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / **HDR** / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 /
 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷

切

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** / 📷 / **AUTO** / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 /
 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / **HDR** / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 /
 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷

アッテネーター (📖 122)

入 / 切

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** / 📷 / **AUTO** / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 /
 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / **HDR** / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 /
 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷

オート

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** / 📷 / **AUTO** / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 /
 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / **HDR** / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 /
 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷

📷 オートスローシャッター (📖 120)

する

C / **M** / **Av** / **Tv** / **P** / 📷 / **AUTO** / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 /
 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / **HDR** / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷 /
 📷 / 📷 / 📷 / 📷 / 📷

しない

C*1 / **M** / **Av** / **Tv** / **P** /  / **AUTO** /  /  /  /  /
 /  /  /  / **HDR** /  /  /  /  /  /  /  /  /
 /  /  /  / 

*1 設定できる内容は登録されている撮影モードにしたがう

*2 AF フレームで [一点] 選択時に可

*3 クリエイティブゾーン、動画以外では [する]

設定タブメニュー 一覧

タブ	項目	参照ページ
 1	フォルダ作成	 292
	画像番号	 292
	カードの初期化	 293
	ビデオ方式	 294
	水準器	 82
	起動画面	 301
 2	エコモード	 296
	節電	 35
	画面の明るさ	 297
	暗所表示	 296
	エリア設定	 298
	日付 / 時刻	 299
	レンズ収納時間	 299

タブ	項目	参照ページ
🔧 3	日本語入力設定	📖 44
	言語🗨	📖 300
	消音	📖 300
	音量	📖 301
	音の選択	📖 301
	機能ガイド	📖 302
	撮影モード選択画面	📖 302
🔧 4	タッチ操作	📖 302
	タッチロック設定	📖 303
	単位	📖 303
	Wi-Fi 設定	📖 237
	ワンタッチスマホボタン設定	📖 244
	認証マーク表示	📖 304
	著作権情報	📖 304
🔧 5	カメラ設定初期化	📖 306

■ マイメニュータブメニュー一覧

タブ	項目	参照ページ
★ 1	マイメニューの設定	📖 180

再生タブメニュー一覧

タブ	項目	参照ページ
▶ 1	保護	📖 203
	回転	📖 211
	消去	📖 207
	お気に入り	📖 213
	スライドショー	📖 202
▶ 2	📖 ストーリーハイライト	📖 229
	ダイジェスト動画の一覧 / 再生	📖 189
	クリエイティブショット動画再生	📖 188
	ショートクリップミックス	📖 235
	画像の検索	📖 192
▶ 3	i- コントラスト	📖 222
	リサイズ	📖 217
	トリミング	📖 219
	赤目補正	📖 223
	レタッチマイカラー	📖 221
	認証情報	📖 190
▶ 4	印刷設定	📖 326
	フォトブック指定	📖 335

タブ	項目	参照ページ
▶ 5	画像切り換え効果	📖 184
	一覧表示の効果	📖 191
	スクロール再生	📖 184
	グループ表示	📖 196
	縦横自動回転	📖 212
	再生開始位置	📖 184
	🔊 での画像送り	📖 195
▶ 6	タッチアクション設定	📖 215

日ごろの取り扱いについて

- カメラは精密機器です。落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- カメラを磁石やモーターなどの、強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像が消えたりすることがあります。
- カメラや画面に水滴や汚れがついたときは、眼鏡拭きなどのやわらかい布で拭き取ってください。ただし、強くこすったり、押したりしないでください。
- 有機溶剤を含むクリーナーなどでは、絶対にカメラや画面を拭かないでください。
- レンズにゴミがついているときは、市販のブロアーで吹き飛ばすだけにしてください。汚れがひどいときは、別紙の修理受付センターにご相談ください。
- カメラを寒いところから急に暑いところへ移すと、カメラに結露（水滴）が発生することがあります。カメラを寒いところから暑いところへ移すときは結露の発生を防ぐため、カメラをビニール袋に入れて袋の口を閉じ、周囲の温度になじませてから取り出してください。
- 結露が発生したときは、故障の原因となりますのでカメラを使わないでください。バッテリー、カードをカメラから取り出し、水滴が消えてから、カメラを使ってください。
- バッテリーはビニール袋などに入れて保管してください。また、バッテリーの性能を維持するために、長期間使わないときは1年に1回程度充電し、使い切ってから保管してください。

■ カメラ

撮像素子

カメラ部有効画素数

(画像処理により画素数が減少する

ことがある。) 約 2020 万画素

総画素数 約 2090 万画素

イメージサイズ 1.0 型

レンズ

焦点距離

(35mm フィルム換算値) 10.2 - 30.6 mm

(28 - 84 mm)

ズーム倍率 3 倍

デジタルズーム

光学ズームと合わせた最大倍率 約 12 倍

焦点距離

(Tele 端、35mm フィルム換算値) 約 336 mm 相当

プログレッシブファインズーム

(記録画素数 L) 約 6.0 倍

画面 (モニター)

形式 TFT カラー液晶

画面サイズ 3.0 型

有効画素数 約 104 万ドット

連続撮影

撮影速度

(被写体、ズーム位置などの撮影条件、

カードの銘柄などにより変わる。) ONE SHOT : 約 6.0 枚 / 秒

SERVO : 約 4.3 枚 / 秒

内蔵ストロボ

調光範囲 (Wide 端) 50 cm - 6.0 m

調光範囲 (Tele 端) 50 cm - 2.4 m

シャッタースピード

撮影モード「オート」時

(自動設定) 1 - 1/2000 秒

全撮影モードをあわせた範囲 30 - 1/2000 秒、バルブ撮影可能

絞り

F 値 2.0 - 11 (W)

4.9 - 11 (T)

AF 方式 1 点 AF、顔+追尾優先 AF
(AF フレーム数：最大 31)ファイルフォーマット DCF 準拠、DPOF 対応
(Version 1.1)

データタイプ (静止画)

画像ファイルフォーマット Exif 2.3 (DCF 2.0)

画像タイプ JPEG、RAW (キヤノン独自：
14 ビット、CR2)

データタイプ (動画)

記録形式 MP4

映像 MPEG-4 AVC/H.264

音声 MPEG-4 AAC-LC (ステレオ)

電源

バッテリーパック NB-13L

USB ケーブルを利用した

本体充電 AC アダプター CA-DC30 使用

AC アダプターキット ACK-DC110

インターフェース

有線 USB (Micro-B)、HDMI (タイプ D)

無線 規格：IEEE 802.11b/g/n

周波数帯：2.4 GHz 帯

チャンネル：1-11 ch

セキュリティ：WEP、

WPA-PSK (AES/TKIP)、

WPA2-PSK (AES/TKIP)

動作環境

温度.....0 - 40 °C

大きさ (WxHxD)98.0 x 57.9 x 30.8 mm

質量

バッテリーパック・

メモリーカード含む.....約 209 g

本体のみ.....約 185 g

撮影できる枚数・時間、再生できる時間

撮影枚数	約 220 枚
エコモード時撮影枚数	約 335 枚
動画撮影時間（実使用时间）*1	約 55 分
動画撮影時間（連続撮影時）*2	約 1 時間 30 分
再生時間 *3	約 5 時間

*1 以下の条件にて繰り返し撮影したときの合計時間

- [AUTO] モードにし、それ以外は初期状態
- 撮影 / 停止、ズーム、電源の入 / 切

*2 以下の条件にて繰り返し撮影したときの合計時間

- [AUTO] モードにし、それ以外は初期状態
- 一度に撮影できる時間が容量に達して自動停止 / 再開

*3 静止画をスライドショーで再生したときの時間です。

撮影距離

撮影モード	フォーカスゾーン	もっとも広角側 (📷) にしたとき	もっとも望遠側 (🔍) にしたとき
AUTO	—	5 cm - ∞	35 cm - ∞
上記以外	📷	5 cm - ∞	35 cm - ∞
	🔍*	5 - 50 cm	—
	MF*	5 cm - ∞	35 cm - ∞

* 撮影モードによっては、選択できません。

1枚のカードに撮影できる枚数

縦横比 (📖77) が 3:2 のときに、1枚のカードに撮影できる枚数は次のとおりです。なお、縦横比によって撮影できる枚数は変わります。

16 GB のカードに記録できる枚数 (約・枚)

L	📷	1786
	🔍	2999
M1	📷	2857
	🔍	4810
M2	📷	8377
	🔍	14724
S	📷	48592
	🔍	69418
RAW		610

- 当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。

1 枚のカードに撮影できる時間

画素数	フレームレート (ビデオ方式)	16 GB のカード に記録できる時間 (約)	1 回の記録 時間 (約)
$\overline{\text{FHD}}$ (1920 x 1080)	$\overline{\text{FHD}} 59.94\text{P}$ (NTSC) $\overline{\text{FHD}} 50.00\text{P}$ (PAL)	59 分 30 秒	10 分
	$\overline{\text{FHD}} 29.97\text{P}$ 、 $\overline{\text{FHD}} 23.98\text{P}$ (NTSC) $\overline{\text{FHD}} 25.00\text{P}$ (PAL)	1 時間 26 分 05 秒	29 分 59 秒
$\overline{\text{HD}}$ (1280 x 720)	$\overline{\text{HD}} 29.97\text{P}$ (NTSC) $\overline{\text{HD}} 25.00\text{P}$ (PAL)	4 時間 05 分 15 秒	29 分 59 秒
$\overline{\text{VGA}}$ (640 x 480)	$\overline{\text{VGA}} 29.97\text{P}$ (NTSC) $\overline{\text{VGA}} 25.00\text{P}$ (PAL)	10 時間 22 分 35 秒	1 時間

- 当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。
- 1 回の記録時間は、SD スピードクラス 10 のカード使用時の値です。スピードクラスが低い場合は撮影中に停止することがあります。また、ファイル容量が 4 GB またはメモリーカードの容量いっぱいのいずれかになると撮影が自動で停止します。

■ バッテリーパック NB-13L

形式： リチウムイオン充電池
公称電圧： DC 3.6 V
公称容量： 1250 mAh
充放電回数： 約 300 回
使用温度： 0 - 40 °C

■ バッテリーチャージャー CB-2LH

定格入力： AC 100 V - 240 V (50/60 Hz)
0.09 A (100 V) - 0.06 A (240 V)
定格出力： DC 4.2 V、0.7 A
充電時間： 約 2 時間 10 分 (NB-13L 充電時)
使用温度： 5 - 40 °C

■ コンパクトパワーアダプター CA-DC30

定格入力： AC 100 V - 240 V (50/60 Hz)
0.07 A (100 V) - 0.045 A (240 V)
定格出力： DC 5.0 V、0.55 A
充電時間： 約 5 時間 * (NB-13L をカメラ内に入れての充電時)
* バッテリーの残量により、充電時間は大きく変わります。
使用温度： 5 - 40 °C

- 大きさ、質量、撮影枚数は、CIPA（カメラ映像機器工業会）の試験基準によります。
- 撮影枚数・時間は、撮影条件により少なくなることがあります。
- フル充電状態での枚数・時間です。

アルファベット

A

AC アダプターキット 310, 315
AEB 撮影 131
AE ロック 127
AF フレーム 144
AF 方式 144
AF ロック 152
Av (撮影モード) 163

C

C (撮影モード) 173
Camera Connect 239
CameraWindow 320
CANON iIMAGE GATEWAY 263

D

DC カプラー 315
DPOF 331

F

FE ロック 156

G

GPS 情報記録 284
GPS 情報表示 187

H

HDMI ケーブル 313

I

iFrame 動画 (動画モード) 124
ISO 感度 129
i-コントラスト 222

M

M (撮影モード) 164

N

ND フィルター 134

P

P (撮影モード) 126
PictBridge
(ピクトブリッジ) 312, 324

R

RAW 159

S

SD/SDHC/SDXC カード → カード

T

Tv (撮影モード) 162

W

Web サービスへの送信 263
Wi-Fi 機能 237
Wi-Fi メニュー 247

かな

あ

赤目補正 223
アクセサリ 310
アクセスポイントを使って接続する
255
圧縮率 158
暗部補正 133

い

色あい（ホワイトバランス） 135
印刷 324

う

ウィンドカット 56
打上げ花火（撮影モード） 96

え

エコモード 296
エラー表示 345

お

オートモード（撮影モード） 27, 50
オールドポスター（撮影モード） 97
お気に入り設定 213
音 300

か

カード 3
 撮影できる時間 390
海外で使う 298
回転 211
顔セレクト 150
拡大表示 200
画質 → 圧縮率（画質）
画像
 消す 207
 再生 → 見る
 表示時間 88
 保護 203
画像番号 292
画像を送る 272
画像をパソコンに取り込む 321
家庭用電源 315
カメラ
 設定初期化 306

カメラアクセスポイントモード 251
カメラへの送信 272
画面

表示一覧 349, 351
表示言語 26
メニュー → クイック設定メ
 ニュー、メニュー

き

魚眼風（撮影モード） 100
記録画素数
 （画像の大きさ） 78, 158

く

クイック設定メニュー
 一覧 359
クラウドシンクロ 279
クリエイティブショット 92
グリッドライン 174

け

消す 207
検索 192

こ

高感度時 NR 131
極彩色（撮影モード） 97
故障 338
個人認証 70
コントローラーリング 171
コントローラーリング機能切り換えボ
 タン 171

さ

サーボ AF 148
再生 → 見る

撮影

撮影情報 174, 349

撮影日時 → 日付／時刻

し

ジオラマ風（撮影モード） 101

ジャンプ表示 195

消去 → 消す

ショートクリップ（動画モード）
123

初期状態 → 設定初期化

白黒画像 138

す

水銀灯自動補正 79

水準器 82

ズーム 27, 50, 62, 63

スタンダード（動画モード） 119

ストーリーハイライト 229

ストラップ 2, 19

ストロボ

常時発光 153

スローシンクロ 154

調光補正 155

発光禁止 154

スマートフォンへの送信 239

スライドショー 202

せ

世界時計 298

接続情報の編集／消去 287

設定初期化 306

節電 35

セピア調画像 138

セルフタイマー 64

2秒セルフタイマー 65

タイマー時間と撮影枚数を変え
る 66

全消去 208

そ

測光方式 128

ソフトウェア

インストール 252, 321

パソコンへの取り込み 321

ソフトフォーカス（撮影モード）
105

た

ダイナミックレンジ補正 132

タッチ 18

タッチ AF 151

タッチアクション設定 215

タッチシャッター 67

タッチパネル 18

縦横比を変える 77

端子 314, 324

て

デジタルズーム 62

デジタルテレコンバーター 144

手ブレ補正 85, 160

手持ち夜景（撮影モード） 96

テレビで見る 313

電源 310 → ACアダプターキッ
ト、→ バッテリー、→ バッテリー
チャージャー
（充電器）電池 → 日付／時刻（日付／時刻用電
池）

と

トイカメラ風（撮影モード） 103

動画

画質（記録画素数／
フレーム数） 80

撮影時間 390
 編集 225
 時計機能 48
 ドラッグ 18
 トリミング
 (画像の切り抜き) 219, 327

に

日時 → 日付/時刻

の

ノスタルジック (撮影モード) 99

は

背景ぼかし (撮影モード) 104
 ハイダイナミックレンジ (撮影モード)
 98

バッテリー

エコモード 296

残量表示 350

充電 20

節電 35

バッテリーチャージャー

(充電器) 2, 310

花火 → 打上げ花火 (撮影モード)

ひ

ピクトブリッジ

(PictBridge) 312, 324

日付/時刻

世界時計 298

設定 23

日付/時刻用電池 25

変更 25

表示言語 26

ピント合わせ

AF フレーム 144

AF ロック 152
 MF ピーキング 142
 サーボ AF 148
 タッチ AF 151
 ピント位置拡大 83

ふ

フォーカスゾーン

マクロ 140

マニュアルフォーカス 141

フォーカスチェッカー 200

フォーカスブラケット撮影 143

フォーカスロック 145

フォトブック指定 335

付属品 2

プラスムービーオート

(撮影モード) 53

プリント → 印刷

プログラム AE 126

へ

編集

i-コントラスト 222

赤目補正 223

トリミング

(画像の切り抜き) 219

リサイズ

(画像を小さくする) 217

レタッチマイカラー 221

ほ

ポートレート (撮影モード) 95

保護 203

星空 (撮影モード) 107

星空インターバル動画

(撮影モード) 113

星空軌跡（撮影モード） 111
 星空ポートレート
 （撮影モード） 107
 星空夜景（撮影モード） 110
 ホワイトバランス（色あい） 135

ま

マイカラー 138
 マクロ（フォーカスゾーン） 140
 マニュアル（動画モード） 168
 マニュアルフォーカス
 （フォーカスゾーン） 141
 マニュアルホワイトバランス 136
 マルチエリアホワイトバランス 79

み

見る 30
 1 枚表示 30
 インデックス表示 191
 拡大表示 200
 画像の検索 192
 ジャンプ表示 195
 スライドショー 202
 テレビで見る 313

め

目つむり検出 84
 メニュー
 一覧 353
 基本操作 41
 メモリーカード → カード

も

モノクロ（撮影モード） 106

ら

ランブ 47, 87

り

リサイズ（画像を小さくする） 217
 リストストラップ → ストラップ
 リモート撮影 285

れ

レタッチマイカラー 221
 連続撮影 59, 68

ろ

露出
 AE ロック 127
 FE ロック 156
 補正 127

わ

ワンタッチスマホボタン 244

Wi-Fi（無線 LAN）について

- 本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線設備に添付されています。モデルナンバーは、PC2262です。
- 無線 LAN が使える国や地域について
 - 無線 LAN 機能の使用は、国や地域ごとの法令等により規制されていることがあるため、違反すると罰せられることがあります。そのため、無線 LAN 機能が使用できる国や地域については、キヤノンの Web サイトで確認してください。
なお、それ以外の国や地域で無線 LAN 機能を使用した際のトラブル等については、弊社は一切責任を負いかねます。
- 次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解、または改造すること
 - 本製品上の証明ラベルをはがすこと
- 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により、戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
- 本製品には、米国製暗号化ソフトウェアが搭載されているため、米国輸出管理規制（EAR）の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しはできません。
- ご使用になる無線 LAN の設定については、必ず控えを取ってください。本製品に登録した無線 LAN の設定は、誤操作、電波や静電気の影響、事故、故障などによって変質したり消失したりする場合があります。万一に備え、無線 LAN の設定は控えを取っておいてください。弊社の責によらずに内容の変質や消失が生じた結果による、直接または間接の損害および逸失利益について、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品を譲渡、廃棄、または修理の依頼をするときは、必要に応じて無線 LAN の設定の控えを取った上で、無線 LAN の設定を初期化（消去）してください。
- 紛失や盗難などによる損害の補償はいたしかねます。
紛失や盗難などによって、本製品に登録されている接続先への不正アクセス・利用がされるなどの結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

- 本書に記載している使用方法をお守りください。
本製品の無線 LAN 機能は、この使用説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途や用法で使用した結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 医療機器や電子機器の近くでは、本製品の無線 LAN 機能は使用しないでください。
無線 LAN 機能が医療機器や電子機器の動作に影響を及ぼす恐れがあります。

■ 電波干渉について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、およびアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局、およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センターへお問い合わせください。

2.4 DS/OF 4



この表示は 2.4 GHz 帯を使用している無線機器であることを意味します。

- 本製品は、他の電波を発する機器から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして、電波干渉を避けて使用してください。

■ セキュリティについて

Wi-Fi は電波を使って通信するため、LAN ケーブルを使う有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。

Wi-Fi をお使いになるときは、次の点に注意してください。

- 使用権限があるネットワークだけを使う

本製品は、周辺の Wi-Fi ネットワークを検索して画面に表示します。そのため、使用する権限がない（知らない）ネットワーク名も表示されることがあります。しかし、それらのネットワークに接続しようとしたり接続して利用したりすると、不正アクセスと見なされる恐れがあります。使用する権限があるネットワークだけを利用し、それ以外のネットワークには接続しないように注意してください。

また、セキュリティに関する設定が適切に行われていないときは、次のような問題が発生する恐れがありますので注意してください。

- 通信の傍受

悪意ある第三者によって Wi-Fi の電波を傍受され、通信内容を盗み見られる恐れがあります。

- ネットワークへの不正アクセス

悪意ある第三者によって、お使いのネットワークに不正に侵入され、情報の盗難・改ざん・破壊をされるといった被害に遭う恐れがあります。また、別の人物を装ってネットワークに不正な情報を流す「なりすまし」通信がされたり、「踏み台」と呼ばれる別の不正アクセスへの中継地点にされたりする恐れもあります。

こうした問題が発生する可能性を少なくするため、Wi-Fi のセキュリティを確保するための仕組みや機能を必ず使ってください。

Wi-Fi のセキュリティについて理解し、利便性とリスクのバランスをよく考えたセキュリティに関する設定を行った上で、本製品の Wi-Fi 機能をお使いいただくことをおすすめします。

注意

指定外のバッテリーを使うと、爆発などの危険があります。使用済みのバッテリーは、各自治体のルールにしたがって処分してください。

アクセサリはキャノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キャノン純正の専用アクセサリと組みあわせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キャノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキャノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。



Li-ion

- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

ホームページ：<http://www.jbrc.com>

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

MENU の [📷4] タブにある [認証マーク表示] で、このカメラが対応している認証マークの一部を、画面に表示して確認できます。

妨害電波自主規制について

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイドにしたがって正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

適正な動作のために、キヤノン純正の専用アクセサリと組みあわせてお使いいただくことを推奨いたします。

- インターフェースケーブル IFC-600PCU

HDMI ケーブル（カメラ側端子はタイプ D）については、長さ 2.5m 以下の市販品をお使いください。

Complies with IDA Standards DB00671

修理対応期間について

本製品の修理対応期間は、製品の製造打ち切り後 5 年間です。

なお、弊社の判断により修理対応として同一機種または同程度の仕様の製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応 OS が変更になることがあります。

商標、ライセンスについて

- Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- App Store、iPhone、iPad は、Apple Inc. の商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC. の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- iFrame ロゴおよび iFrame シンボルは Apple Inc. の商標です。
- Wi-Fi[®]、Wi-Fi Alliance[®]、WPA[™]、WPA2[™] および Wi-Fi Protected Setup[™] は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- N-Mark は米国およびその他の国における NFC Forum, Inc. の商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。
- 本機器は、Microsoft からライセンスされた exFAT 技術を搭載しています。
- This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

このガイドについて

- 内容を無断で転載することは、禁止されています。
- 記載されている数値はすべて当社試験基準によります。
- 内容および製品の仕様や外観を将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- 本製品を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。



キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6

製品情報や取り扱い方法に関するご相談窓口

製品に関する情報や、よくある問合せなどのサポート情報を掲載しています。インターネットをご利用の方は、お気軽にお立ち寄りください。

キヤノンデジタルカメラ製品情報
canon.jp/cdc

PowerShot/IXY・サポートナビページ
canon.jp/camera-navi

CANON iMAGE GATEWAY
ptl.imagegateway.net

※お電話でのお問合せの場合

お客様相談センター 050-555-90005

受付時間：9：00～18：00

(1月1日～1月3日は休ませていただきます)

- ※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9630をご利用ください。
- ※ IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
- ※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

別紙でご確認ください。

リチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」にご注意下さい

国内・国外を問わず、ネットオークションでリチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」が頻繁に出回っておりますので十分にご注意ください。詳細は以下のURL よりご覧ください。

<http://cweb.canon.jp/e-support/info/battery-anno.html>



Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。